少女時代

見聞録

Girls' Generation MEMOIRS

소녀시대



KBSの人気深夜番組『スケッチブック』にゲスト出演した少女時代。

Let's Dancing!



少女時代

©KBS

Girls' Generation Introduction

Member **Dance** **入門** **Fashion** **Goods**



©MBC

MBCの番組『SHOW！音楽中心』の正月特番に出演し、「Genie-願いを言ってみて」を披露。



トップガールズグループのラブリー脚線美！

Member

テヨン

ソロ活動も行っているグループの“姉貴”。少女時代のメインボーカルであり、頼れるリーダー的な存在として奮闘中。

サニー

メンバーの中で一番背が低いが、その分、一番元気で明るい。バラエティ番組などで、その明るさをいかんなく発揮する。

ソヒョン

メンバー最年少ながらリードボーカルを務める。非常に清純かつ真面目な性格で、他のメンバーには敬語を使う。

ジェシカ

サンフランシスコ出身の韓国系アメリカ人。強気の発言が多く、毒舌キャラとして人気。妹はf(x)のクリスタル。

KBSの『スケッチブック』で元気よく歌う少女時代。

練習生時代からメンバー同士は深い絆で結ばれていた

今や名実ともに韓国でトップのガールズグループとして、K-POP界に君臨する少女時代。メンバーは20代前半の9人の女の子たちだ。

練習生時代から一緒のメンバーも多く、あるインタビューでは「チームワークがよくて、瞳を見るだけでお互いの気持ちがわかるんです。争いごとがないのがかえって心配です」と語ったこともあった。

練習生時代は別々に住んでいたこともあったが、現在はソウル市内の高級マンションで9人は共同生活をしている。



スヨン

少女時代のメンバーになる前に日本でroute0という河村隆一がプロデュースしたグループでデビューをしている。

ティファニー

ロサンゼルス出身の韓国系アメリカ人。アメリカのイベントで歌っていたところをスカウトされる。その歌声は折り紙付き。

ヒョヨン

リードダンサー。パワフルで華麗なダンスは練習生時代から注目の的。ダンシングクィーンと呼ばれている。

ユリ

ティファニーと共に『SHOW!音楽中心』のMCを務めるなど、タレントとしても活躍。体を鍛えることが趣味。

ユナ

ドラマ『君は僕の運命』や『シンデレラマン』に出演するなど、女優としても活躍。いたずら好きとして知られている。



9人の息がピタリと合った パーフェクトダンスに夢中!

Dance

Gee in ダンス

① 2009年始めにリリースした「Gee」は、そのダンスが話題になった。



③ 最後のキメポーズはできるだけセクシーに、そして動かないことが重要。



② 重要なのは腰の動きと、メンバーとの一体感。メリハリのある動きで魅了する。



Genie in ダンス

「Genie-願いを言ってみて」でも美しい脚を強調したダンスを踊る少女時代。

Photo：Kwon Heagyo

①



② ダンスはチェギチャギダンスと呼ばれる。脚を強調するパートでは、軽やかなステップを踏む。



③ 最後は正面を向いて、腕を胸の手前で一度交差させた後、動きを止めてポーズをキメる。



2009年のKBS歌謡大祝祭に参加した少女時代。

©KBS

スーパーダンス集団が魅せる最高のステージ

少女時代のダンスは見ていて楽しい。軽快で一糸乱れないそのダンスパフォーマンスは、レッスンに明け暮れた練習生時代につちかわれたものだ。

みなトップクラスのダンスの実力を持っているが、中でも特にダンスが上手いのがヒョヨンだ。彼女はかつてBoAのステージダンサーを務めたこともあるほどの実力の持ち主。パワフルで力強いダンスでメンバーを引っ張っていく。

ダンスを練習する時には…

少女時代のダンスを広めたいという一心で、「Gee」を踊るための教本をイラスト入りで作り、ネットで発表した熱烈なファンがいる。しかし、他のダンスの教本は出ていない。少女時代のダンスを覚えたいと思ったら、動画を何度も見ながら少しずつ覚えていくしかないのだ。

Fashion

ヘソ出しからパジャマまでSNSDの今日の衣裳は!?

CUTE



2009年の年末の『SBS歌謡大祭典』になんとパジャマ姿で登場し注目を集めた。

キュートすぎるパジャマ姿で舞台に登場！

©SBS



©MBC

黒と白のコントラストが舞台に映える！

COOL



カラフルなパジャマから白と黒を基調にしたクールな衣裳に着替えて登場。

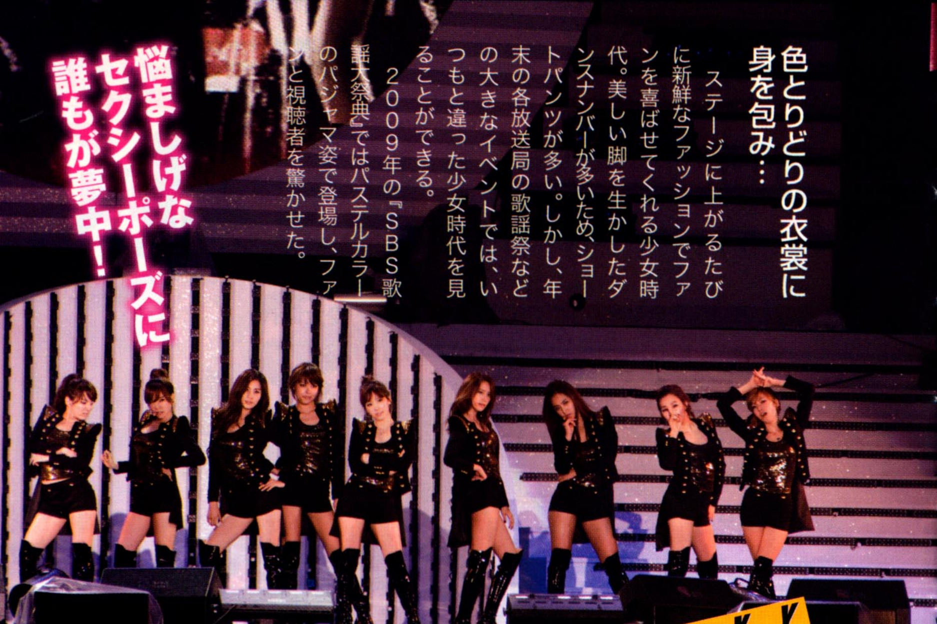
©SBS

色とりどりの衣裳に身を包み…

ステージに上がるたびに新鮮なファッションでファンを喜ばせてくれる少女時代。美しい脚を生かしたダンスナンバーが多いため、ショートパンツが多い。しかし、年末の各放送局の歌謡祭などの大きなイベントでは、いつもと違った少女時代を見ることができる。

２００９年の『ＳＢＳ歌謡大祭典』ではパステルカラーのパジャマ姿で登場し、ファンと視聴者を驚かせた。

悩ましげなセクシーポーズに誰もが夢中！



ミニアルバムの『Run Devil Run』の発売に合わせた小悪魔的な衣裳でキメた9人。

Photo：Kang Songi

SEXY



©MBC

ほんわかナチュラルスタイル！

CASUAL



SBSの『人気歌謡』に出演した少女時代。私服風の衣裳でレコーディング。

SBS

絶対に欲しい!

少女時代☆公式 ワクワクアイテム&韓国版ALBUM

手に入りづらいレアな少女時代のアイテムと韓国版のALBUMを紹介します。



ランダムに75枚！

少女時代スターコレクションカードセット

【価格：3900円(税込)】

全153枚のカードの中から、75枚をランダムで封入。未公開写真カードやホログラムカードなど、レアカードがいっぱい！

354ページ
全て少女時代

少女時代の初の写真集は東京が舞台。様々な表情を見せる彼女たちに会えるファン必見の1冊。



Girls' Generation First Photo Book+DVD

【価格：7500円(税込)】

Album

セカンドアルバムをリパッケージ

『Run Devil Run』

【価格：1900円(税込)】



少女時代をブレイクに導いたセカンドアルバムの『Oh!』に、表題曲の「Run Devil Run」など、新たに3曲を加えたリパッケージアルバム。

Album

スペシャルカード付き

『Oh!』(初回限定版)

【価格：1900円(税込)】



「Gee」や「Genie-願いを言ってみて」など、2009年の少女時代の代表曲を収録したセカンドアルバム。タイトル曲の「Oh!」もリズミカルなテンポの良い曲だ。

SHOP GUIDE

韓流ショップ モイザ

少女時代グッズを手に入れるなら大久保の韓流ショップ『モイザ』へ！ なんと90種類以上の少女時代グッズが揃っている。

【1号店】
東京都新宿区大久保1-12-4
ASS第二ビル1階
営業時間：午前10時30分～午後8時
＜年中無休＞

【2号店】
東京都新宿区歌舞伎町2-42-13
アゼリアビル1F
営業時間：午前10時30分～午後8時
＜年中無休＞

●電話でのお問い合わせ：
03-5287-6318
● インターネットでの注文はこちら
【URL】http://www.hanryu-strap.jp/



Album

メンバーが選んだ洋楽集

『heart 2 heart with 少女時代』

【価格：1900円(税込)】

少女時代のメンバーがセレクトした洋楽コンピレーションアルバム。メンバー9人の写真とブックレットが付いてくる。

Mini Album

ファーストミニアルバム

『Gee』

【価格：1500円(税込)】



ソロ活動を行っていた9人が8ヵ月ぶりに集結して作り上げた。キャッチーなメロディラインで大ヒット。

Mini Album

日本でもお馴染み

『Genie-願いを言ってみて』

【価格：1500円(税込)】



ダンスチューンのノリのいい楽曲。「Gee」に引き続き、この曲も大ヒット。ダンスを真似る少女たちが続出した。

少女時代

Girls' Generation MEMOIRS 見聞録



はじめに

若さあふれるボディ。天使のような歌声。パーフェクトなダンス。全てを兼ね備えた9人の少女たちは2010年の8月に日本へやってきました。そして、韓国はもちろん、アジア各国で人気を集めた少女たちは、たちまち日本でも人気者になりました。

身近で等身大のアイドルではなく、憧れの対象としてのアイドル。今までの日本のアイドルと少女時代が違うのは、そこでした。

激しいダンスレッスンを受けた者だけが立てるステージ。厳しい歌唱レッスンを乗り越えた者だけが歌える歌。練習生制度という実力主義の世界を生き抜いてきた彼女たちは、強い意志を武器に、栄冠を手に入れました。選ばれるべくして選ばれた9人は、まさにプロフェッショナルです。

2010年8月25日に行われた有明コロシアムでの日本

neration

デビュー前のショーケースを訪れたのは、8割が女性ファンでした。その実力と美貌が日本でも受け入れられ、女性を中心に大きな支持を得たのです。

少女時代というグループ名には、「少女たちの時代が来た」という意味が含まれています。韓国では、すでにトップガールズグループとして、その地位を不動のものにし、日本でもファンの数を増やし続けています。彼女たちは周囲を巻き込みながら、その名の通り、大きな〝時代〟を作っています。

これから彼女たちはどんな時代を見せてくれるのでしょうか。どんな場所へ私たちを連れていってくれるのでしょうか。

願わくば、少女時代と共に過ごせる幸せな時代がいつまでも続きますように。そして、この本が少女時代のことを知る手助けとなりますように。

少女時代研究会

Girls' Ge

少女時代見聞録

目次

CONTENTS

第4章 少女時代キューティー発言録



第1章

少女時代

少女時代誕生秘話



少女時代の誕生

ホームページに登場した新人グループ

洗練されたダンスに伸びのある歌声。ただのアイドルではない国民的人気を持つガールズグループとして、その地位を確立している少女時代。彼女たちが初めてその姿を見せたのは、２００７年７月16日のことだった。所属事務所であるＳＭエンターテインメントの公式ホームページに、８月にデビューする新人ガールズグループとして、９人の画像が公開されたのだ。

すでにモデルとして活躍していたユリや、歌手経験のあるスヨンなど、実力派揃いのガールズグループの登場に期待が集まった。

さらに18日には、公式ホームページやコミュニティサイトのダウムなどで、デビュー前のドキュメンタリー映像が公開され、29日にはＭｎｅｔで９人のオーディション当時の映像や、デビューまでの過程を追ったドキュメンタリー番組『少女、学校へ行く』が放送された。少女時代がデビュー前から注目されていたことが分かる。

合宿所を飛び出した練習生時代

デビュー前の7月19日に、Mnetの『Mカウントダウン』に出演し、始めて観客の前で、デビュー曲の「また巡り逢えた世界」を歌った少女時代はその約2週間後の8月2日に公式デビューする。続いて11月にリリースしたファーストアルバム『少女時代』がヒットし、『SBS人気歌謡』のチャートで1位を獲得した。これにより、人気アイドルグループの仲間入りを果たした彼女たちは、以後、着実にスターへの階段を登っていく。そして、その成功は、数年にも及ぶ厳しい練習生時代につちかった実力に裏打ちされていた。

少女時代のメンバーは、それぞれが長い期間、SMエンターテインメントの練習生として、レッスンに励んでいた。

ジェシカ、ヒョヨン、スヨンがそれぞれ6～7年間。一番短いティファニーでも3年間。サニーは以前に所属していた事務所と合わせると実に9年間もの練習生活を送った。

それぞれが合宿所で共同生活をしながら、歌やダンスの練習に明け暮れた。レッスンは非常に厳しいもので、毎日12時間を超えることも当たり前だった。あまりに厳しすぎて、テヨンはソウル市内の合宿所から逃亡し、実家に帰ってしまったこともあったとバラエティ番組『スターゴールデンベル』で告白した。テヨンとルームメイトだったティファニーは、「練習から戻るとテヨンの荷物がなくてビックリした」と当時を振り返っている。

スーパーガールズと幻のメンバーたち

練習生時代は、合宿所で暮らしながら、ダンスや歌唱力を磨き、そして海外で活躍するために必要な語学を学んだ。

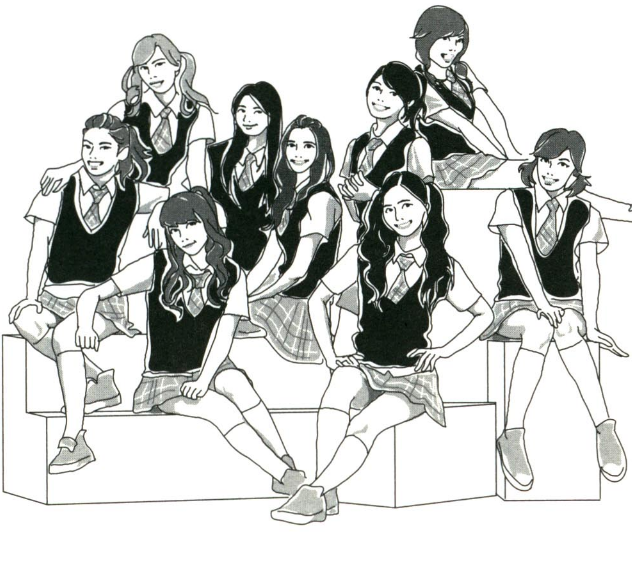
また、練習生時代は年の近い者同士、歌の上手い者同士などで仮のグループを組み、そのメンバーと行動を共にする。少女時代のメンバーも「スーパーガールズ」という仮のグループを組み、レッスンに励んでいた。

しかし、このスーパーガールズ、当時は9人ではなく14人編成だった。2005年に結成されたスーパーガールズは、その後、メンバーの入れ替えなど、紆余曲折を経て2007年に少女時代としてデビューすることになる。

それでは少女時代としてデビューしなかったスーパーガールズのメンバーたちはどうなったのだろうか。SMエンターテインメントの練習生として、少女時代のメンバーと苦楽をともにした少女の1人に、現在、7人組ボーカルグループ・T-araのメンバーとして活躍しているソヨンがいる。ソヨンは韓国のケーブルチャンネルNtvのタクシーに乗りながら運転手に自らのことを語る番組『Taxi』に出演し、自分が元SMエンターテインメントの練習生であったこと、そして、少女時代の前身のスーパーガールズのメンバーだったことを告白した。また、自分の意志が弱く、スーパーガールズから脱退してしまったこと、T-araよりも

先にデビューし成功した少女時代が本当はとてもうらやましかったことなどを赤裸々に語った。

そして、「もしかしたら少女時代だったかもしれない」のはソヨンだけではない。2003年のSMエンターテインメントのオーディションで歌手部門の1位になり、練習生になったイ・ワンヒという少女や、SMエンターテインメントの創設者であるイ・スマンが直接スカウトしたというステラという少女もスーパーガールズのメンバーだった。彼女たちはけっして実力がなく、練習生を辞めたのではなかった。ソヨン同様に、実力を持ちながらもそれぞれの理由からグループを離脱していったのだ。



名門大学に入学したメンバー候補

少女時代のメンバーの有力候補になりながら、自らの意志で練習生を辞めたジャン・ハジンという女性がいる。歌と踊りが好きだった彼女は、小学校6年生の時にＳＭエンターテインメントのオーディションに合格し、練習生となった。3年間、学校に通学しながら自宅のある京畿道一山（イルサン）からソウル市内の練習場まで通い、厳しいレッスンをこなしてきた。練習生になっても学校の成績を落とすなと両親に言われていた彼女は、移動の時間も参考書を手放さなかった。そして、中学校でのテストの平均点は95点だったという。

少女時代がデビューした後、ＫＢＳのトーク番組『想像対決』に出演したハジンは、少女時代のメンバーたちと一緒に写っている写真を公開した。辛いレッスンを一緒に乗り越えたメンバーたちには友情以上の絆を感じていたという。

練習生を続けていれば、自分も少女時代のメンバーとしてデビューしていたかもしれない。しかし、厳しいレッスンと勉強は次第に両立することが難しくなっていった。そんな中、ハジンはエリート養成のための特別目的高校への進学に失敗してしまう。これをきっかけに練習生を辞め、勉強に打ち込むことになる。今、ハジンは超エリート大学の韓国科学技術院（カイスト）で学んでいる。あの時、練習生を辞めたことを後悔はしていない。そして、苦楽を共にしたメンバーの活躍に心からエールを送っているという。

話題の新人グループのメンバーも候補だった!?

男女共学という女性４人、男性６人の10人組のグループが２０１０年９月に韓国でデビューした。所属はＴ－ａｒａや超新星も在籍するコアーコンテンツだ。

この男女共学のメンバーのひとりで、ソロパートを担当し圧倒的な歌唱力を持つチャンミは、実は少女時代のメンバー候補だった。男女共学のデビューと同時に、ネットにチャンミのＳＭエンターテインメントの練習生時代の写真が出回った。

チャンミは写真の中で、まだ初々しいほかの少女時代のメンバーたちとお揃いのベージュのドレスを着ていた。

チャンミの実力は相当なもので、少女時代のほかのメンバーも、チャンミの歌唱力やダンスには一目置いていたという。その実力とキュートなルックスで、練習生にもかかわらず、ホ・チャンミ公式ファンカフェ1号というファンクラブまで作られたほどだ。しかし、理由は不明だが、ある時期、チャンミはＳＭエンターテインメントの練習生を辞め、コアーコンテンツに移籍。そして、男女共学というグループでデビューすることになる。

Ｔ－ａｒａのソヨン同様、かつて深い絆で結ばれた仲間とライバルになったチャンミ。韓国では、男女共学がどこまで少女時代に迫れるのか、そして今後どんな活動をしていくのかに注目が集まっている。

10代の少女をターゲットにした戦略

伝説的なアイドルグループH・O・T・の大成功により、SMエンターテインメントがアイドル育成に力を入れ始めたのが1997年のことだった。男性アイドルはもちろん、ガールズグループにも力を入れ、2000年までの間に約40組のガールズグループがデビューした。しかし、男性アイドルグループはそれなりの成果をみせたが、ガールズグループはどのグループも大成功したとはいえなかった。

同時期、SMエンターテインメント所属のBoAが大ブレイク。本格派アーティストが支持される時代だった。これを受けて、SMエンターテインメントは歌とダンスの実力を兼ね備えた女性アイドルグループを企画する。それが少女時代だ。今までの女性アイドルグループと少女時代の最大の違いは、ターゲットのファン層だった。今までの女性アイドルグループが男性をターゲットにしていたのに対し、少女時代のターゲットは女性。しかもメンバーと同世代の10代の若い女の子だった。

SMエンターテインメントに所属する作曲家のKenzieは、エネルギッシュでありつつも、繊細で純粋な10代の女の子の心情をメロディで表現した名作「また巡り逢えた世界」を作り上げ、これを少女時代のデビュー曲に選ぶ。また、ファーストアルバムの『少女時代』には、ライブの帝王と呼ばれているイ・スンチョルの1989年のヒット曲「少女時代」のカバーを



収録した。Kenzieはイ・スンチョルの「少女時代」を大胆に編曲。10代の女の子たちにも受け入れられるポップな曲調に作り変えた。このターゲッティングが見事当たり、少女時代は一気にブレイクする。

厳しいレッスンを経て、歌とダンスの実力を身につけた少女たちが、同世代の少女たちが共感する曲を歌い踊る。このコンセプトはデビュー以来、変わることはなく、少女時代は2009年のガールズグループブームの先がけとなった。「少女たちの時代が来た」という意味を持つ"少女時代"というグループ名。現在のK-POP界は、まさにその名前通りの状況になっている。



事務所主催の選抜大会を経て練習生に

子供の頃からアイドルを志していた少女時代のメンバーたち。定期的に行われる公開オーディションを経て練習生になった者や、スカウトされて練習生になった者など、その経歴は様々だ。

その中で、SMエンターテインメントが主催するSMエンターテインメント青少年ベスト選抜大会に出場、入賞し、練習生への切符をつかんだ者もいる。この大会はいくつかの部門に分かれていて、その部門で本章（大賞）か1位を獲得すれば、デビューへの第一歩を踏み出すことができるというわけだ。リーダーのテヨンは2004年、15歳の時に第8回大会の歌唱部門で本章を受賞し練習生に。ユリは2001年、12歳の時に第1回大会のダンス部門で本章を獲得して練習生になった。

この大会は数多くのスターを輩出した大会としても知られている。ユリが本章を獲得した第1回大会のダンス部門で、ユリに次ぐ1位を獲得したのが東方神起のユンホだった。また、同大会の歌唱部門で1位に輝いたのがSUPER JUNIORのイェソンだった。

第9回大会のギャグ部門で1位に選ばれたSUPER JUNIORのシンドンや、第2回大会のスタイルトップ部門で1位に輝いた東方神起のジェジュンなど、そうそうたるメンバーがこの大会に参加している。

日本デビューの裏話

少女時代が日本で成功した理由

なぜ、少女時代は日本でブレイクしたのか。それには2つの理由がある。まずひとつは、ここ数年のネットの普及や日韓の交流によって、日韓の女性たちのメイクやファッションに対する価値観に差がなくなってきたということがあげられる。これによって、韓国の「キレイ」は日本の「キレイ」になり、日本の「カワイイ」は韓国の「カワイイ」になったのだ。日本のアイドル以上に、歌って踊れて、しかもカワイイ韓国のガールズグループ。その中でも実力、ルックスともに韓国芸能界トップクラスの9人が集まった少女時代は、日本でのデビュー前の注目度の高さからも、事務所側がブレイクの確証を得るには十分だった。

そしてもうひとつはＢｏＡや東方神起など、先輩たちの存在だ。２００１年に日本デビューしたＢｏＡと２００５年にデビューした東方神起が大ブレイクしたことで、日本での韓国人アーティストに対する関心は高まった。これらが少女時代のブレイクする下地になっていることは間違いない。

事務所の思惑が絡み合う日本デビュー

2010年8月25日に東京の有明コロシアムで初来日公演プレミアムショーケースライブを行った少女時代。全3回公演で約2万2000人のファンを動員し、1000人以上のマスコミが詰めかけた。そして、翌月の9月8日に「GENIE」をリリースし、ついに日本デビューを果たした。「GENIE」はオリコンデイリーチャートで初登場5位を記録。海外アーティストの日本デビューとしては異例のことだった。

しかし、少女時代よりも1ヵ月先に日本デビューをしていたガールズグループがいた。それが、5人組のKARAだった。KARAは2010年2月に赤坂BLITZで無料ライブを行い、早くも注目を集めていた。そして5月にユニバーサルシグマからのデビューが決定すると、日本の公式ファンクラブが発足。さらに日本限定のスペシャルCDの発売記念イベントを行うなど、デビュー前から精力的な活動を行っていた。そして、8月に「ミスター」をリリースし、日本デビューを果たす。

そのKARAを追う形で日本デビューした少女時代。いったいなぜ、このような図式になってしまったのだろうか。それには2つのグループがそれぞれ所属する韓国の事務所の思惑があった。

少女時代が所属するSMエンターテインメントに対して、KARAが所属するのはDSP



メディア。この2つの事務所はライバル関係にある。例えば、SMエンターテインメントがH・O・T・をデビューさせると、それに対抗するようにDSPメディアはジャクスキスというアイドルグループをデビューさせ、また、最近では東方神起に対して、SS501をデビューさせたりといった具合だ。

今までSMエンターテインメントの後を追うことが多かったDSPメディアだったが、ガールズグループの日本デビューというビッグプロジェクトについては、どうしてもSMエンターテインメントよりも一歩先行したいという思惑があった。ダウンロード販売が主流になった韓国よりも、まだまだCDが売れる日本という市場で、DSPメディアはどこよりも先にKARAを売り出したかったのだ。

一方、DSPメディアの猛攻勢とは逆に、SMエンターテインメントは日本での少女時代の展開について、慎重になっていた。それというのも、過去の苦い経験があったからだった。

SMエンターテインメントは1997年にS・E・Sという3人組のガールズグループを日本デビューさせた。しかし、結果は惨敗。日本でブレイクしなかったどころか、韓国で人気絶頂の時に活動の場を日本に移したため、その間に韓国のファンの熱が冷めてしまったのだ。その失敗を繰り返さないために、SMエンターテインメントは曲選びから、デビューイベントの内容、そしてなにより、日本デビューの時期を慎重に吟味した上で、少女時代を送り出したのだ。

少女時代に染まった8月の日本

少女時代がデビューをした2010年8月、日本は少女時代一色に染まった。銀座、六本木にはデビュー曲「GENIE」の巨大ポスターが貼られ、各レコード店には等身大の9人のパネルが置かれた。夏休みだったこともあってか、学生たちはパネルやポスターの前で思い思いに写真を撮っていた。

ただのアイドルではない、10代の少女たちの憧れの存在として、その地位を確立しつつある少女時代。日本では少女時代に憧れ、コピーダンスチームを結成する少女たちも少なくない。



第2章

少女時代

もっと知りたい9人のキュートの秘密



少女時代
ユナ
YoonA

イタズラ好きで
可憐な天然系美少女



PROFILE

★本名　イム・ユナ
★1990年5月30日生まれ
★166cm／B型

趣味●映画鑑賞
学歴●東国大学校演劇映画科在学中
特技●演技、ダンス
長所●周囲を和ます
　　　天然さと明るさ
短所●人見知りすること

男性人気ＮＯ・１？ 業界人にもユナペン急増中！

絶好調の彼女たちの中でも、２００８年に視聴率41・5％を記録したＫＢＳの大ヒット連続ドラマ『君は僕の運命』に主演したユナは、ＫＢＳ演技大賞の女性新人賞とネチズン賞を受賞し、知名度も一気に上がった。ステージでもセンターで歌うことの多い彼女の人気が高いのは、当然ともいえる。人気者が多い少女時代だが、ひょっとしたらグループＮｏ・１の人気者はユナかもしれない。

そして、そう言えるのは、彼女のことを好きだという男性が一般のファンの間だけでなく、なんと韓国男性タレントの間にも続出しているからだ。

歌手のイ・スンギ、アイドルグループ２ＡＭのチョグォン、バトミントンのスター選手のイ・ヨンデなど本当にたくさんの男性が好みの女性としてユナの名前を上げており、いかに彼女が魅力的な女性だと思われているかがわかる。

もちろん、例にあげた男性以外にも彼女が自分と同じ番組にゲストで出演するといえば、大喜びする男性タレントは後を断たないのだという。芸能人および業界関係者の間でも「ユナペン（ユナファン）」の輪は確実に広がっているようである。

ちなみに、そんな多くの人に支持されているユナが、最近、特定の恋人はいないと宣言。芸能人を含めた多くのユナペンをほっとさせた。

キムタクのドラマを観て号泣! その涙の理由

女優としても活躍し、少女時代の中でもセンターを任されることが多いユナ。そんな多くの人を魅了している彼女を虜にしている日本人男性がいる。それは、韓国でも絶大な人気がある、イケメンの代名詞とされているSMAPの木村拓哉だ。

ユナは木村拓哉が今までに出演したドラマを全て観ているだけでなく、あるテレビ番組では「理想の男性です」と告白! とにかく、彼女はキムタクの魅力にメロメロなのだ。こういうと「別にキムタクファンっていうだけでしょう」と思う方もいるだろうが、ユナの彼への思いの深さはハンパではない。

来日した際、ユリとホテルで同室だったユナは深夜3時まで帰って来なかった。そして、部屋に戻ってきたときには涙を流していたという。ユリは不思議に思い、「何をしていたの?」と聞くと、彼女は「木村拓哉に会っていた」と答えたそうだ。詳しく聞くと、テレビで彼の出演しているバラエティを観ていたのだが、観ているうちに悲しくなり涙を止めることができなかったというのだ。しかも、「(日本語が分からないので)こんなに私は好きなのに彼が何を言っているのが分からなくて悲しい」というのだ。

ユナの純情ぶりとキムタクへの愛情の強さが分かる可愛らしくも、男性から見ればなんともうらやましい話である。

責任を負うことができる人になりたい

厳しいレッスンを積んでからデビューしたグループだからか、メンバーは全員が勤勉で、目標をしっかりと持った努力家ばかりだ。

そして、ユナも常に上を目指すたくましさを持っている。彼女の座右の銘は「責任を負うことができる人になろう」。華やかな舞台でスポットライトに当たる彼女には似つかわしくない、なかなか渋い回答だが、よく考えてみると彼女の仕事に対する考えがよく滲み出ている素晴らしい言葉だ。

ユナは日本という新天地で活動するのに当たってもインタビュアーに対し「ＢｏＡ先輩も東方神起先輩も日本デビューした頃から日本語で話されていた。でも、私はまだ日本語が上手くないのが悔しい」と唇を噛み、「少女時代をもっと多くの人に知ってもらいたいのでそのためには、もっと日本語を身につけなければいけないと思います」と、これから始まる日本での活動に対する覚悟とプロ意識を垣間見せ、「いつかは、東京ドームで公演したい」と目標を語った。



か弱いイメージとは真逆なユナの隠された一面

少女時代のメンバーのプロポーションが理想の体型だというファンは多い。スタイリッシュなダンスをよりスタイリッシュに見せ、男性なら守ってあげたくなり、女性なら「あんな風になりたい」とうらやましく思うようなスリムな体型は見事だ。

そんな磨き抜かれたスレンダーなボディの持ち主である彼女たちの中で一番か弱いイメージを漂わせているのがユナだ。しかし、実は彼女は少女時代Ｎｏ．１の力持ちなのだ。

彼女がその外見に反した怪力の持ち主だということが有名になったのは、とあるテレビ番組。そこでなんと共演していた男性タレントと腕相撲をして驚くべきことに、圧勝してしまったのだ。そして、その番組がオンエアーされると、その豪腕ぶりはたちまち多くの人に知れ渡ることになった。

そして、そんな男性以上のパワーを持っているためか、移動時に重い荷物を運ぶという本来男性が担当しそうな役割がユナに割り当てられてしまったのだ。だから、重い荷物を運ぶユナの姿を見ても別にいじめられている訳でないので、少女時代のファンはどうか安心してほしい。

しかし、そんな話を聞いた後でも彼女のスリムな身体を見れば「いったいどこにそんな力が秘められているのか」と、とても不思議な気分になってしまう。

美しすぎる彼女の密かなコンプレックス

ステージで一際大きく輝きを放ち、スターダムを駆け上り続けているユナ。容姿端麗、才色兼備とほめ言葉を重ねに重ねたとしても、多くの人が否定の言葉を飲み込まざるを得ない。しかし、やはり年頃の女の子。人と比べてちょっと気後れしてしまうコンプレックスが2つあるのだという。

それは「首が長いこと」と「手足がとても大きいこと」。多くの人からすれば「なんだ、その程度のことか」と思ってしまうようなことだ。女性ファンたちの間では逆に「顔が小さく見えるから長い首がうらやましい」という意見も上がっているのだが、当の本人は長い首がすごく嫌いなのだという。

足の大きさについても、小さくてきれいではないからと、めったに裸足にならないほど気にしているという。

しかし、自分の嫌いな部分があるという年頃の少女らしいナイーブな一面があることで、逆にユナを愛するファンがまた増えそうではある。

ちなみに、そんな愛らしいコンプレックスとは逆の彼女自身が自分の外見で一番気に入っているところは、あの大きな「目」だ。たしかに、あんなつぶらでキラキラした瞳で見つめられたら、男性だけでなく女性でも彼女のことを好きになってしまうかも！

少女時代のセンターは本当は歌が苦手？

グループ内でセンターを任されることも多い、リードダンサー兼ボーカルのユナだが、実は彼女、本当は歌が苦手だという。プロフィールの特技の覧にはダンスと入っているが、歌は入っていない。そのあたりにもその自信のなさがうかがえる。

「歌が苦手」というのは、ある意味、問題発言だ。そして、そんな発言をしてしまったため音痴とまで言う人はいないが、「たまに音が外れる」、「声が不安定」などとファンが指摘することがある。しかし、「高くて個性的な可愛い歌声」だと大多数のファンは彼女の可憐な歌声を支持している。

ちなみに、好きな歌は事務所の先輩でもあり、日本デビューの先輩である東方神起の「魔法の城」で、J-POPアーティストでは宇多田ヒカルが好きだという。また、最近ではEXILEが特にお気に入りで、スヨンからEXILEのDVDを借りて観ているらしい。



話すのが苦手な彼女の本当の姿は幼い少年!?

女性をほめるいろんな表現が存在するが、そのひとつにこんな言葉がある。「君はまるで花のように美しい」。もしこの言葉を好きな女性の前で口にしてしまった日には、日本人男性は恥ずかしくて夜も眠れないはずだ。しかし、ユナを目の前にしたら誰でも自然にそんなほめ言葉を口にしてしまうかもしれない。

そんな可憐なユナは人見知りが激しい。知り合いとそうでない人の前では全くキャラが違うのだ。そして、親しい人の前で見せる姿は、誰が呼んだか「小学生の男の子」。

本当の彼女はイタズラが大好きで、気が強くサバサバした性格の持ち主。口を大きく開けて笑うなど、おしとやかな見た目とまるで違う。元気いっぱいに校庭を走り回る少年のように明るい女の子なのである。

ちなみに、独特の大口を開けた笑い方以外にも、彼女の「口」には色々なエピソードがある。「口を大きく開けて寝る」、「何を食べてるかと聞くと、食べている口を開けて中を見せてくる」、「食事の時も豪快に口を開ける」などだ。

そういった訳でファンたちはそのアイドルらしからぬ、幼い男子がやりそうなことをしでかしてしまう性格を評し「小学生」、大きく広がる口を見て「ワニ」と愛情をもって呼び、茶目っ気たっぷりのユナのことをますます好きになってしまうのだ。

少女時代
スヨン
Soo Young

思わず見とれる脚線美
日本語ペラペラの頼れるお姉さん



PROFILE

★本名　チェ・スヨン
★1990年2月10日生まれ
★170cm / O型
趣味●映画・音楽鑑賞
学歴●中央大学校
　　演劇映画学部在学中
特技●日本語、ダンス、演技
長所●さばさばした姉御肌
短所●大ざっぱなところ

実は『ASAYAN』で日本デビューしていた

2007年に韓国でデビュー、2010年に満を持して日本でデビューをした少女時代。その一員のスヨンをよ〜く見てほしい。かつて彼女に似た少女を見た覚えはないだろうか。「どこかで見たような？」と思い当たるのも当然、なんと彼女、約9年も前に日本でデビューしているのだ。

2001年12月当時、11歳だった彼女はあのモーニング娘。を生んだテレビ東京系で放送されていた人気番組『ASAYAN』で、日本人8698人、韓国人71194人の応募者の中から日韓ウルトラアイドルデュオの候補に選ばれ、河村隆一のもと『route 0（ルートヨン）』というグループ名でデビューしているのだ。ユニット名には日韓の架け橋になるという願いが込められていたが活動自体は、残念ながら短期間で終了。CDは3枚リリースした。当時を思い返し、「また日本に来られるなんてなんだか不思議」とうれしそうなスヨン。

少女時代で日本再デビューを果たした、何事も中途半端が嫌いだという彼女はドラマ、映画、バラエティなどに出演するため、日本語を完璧にマスターしようとメンバーと共に日々勉強をしているという。

彼女をもっと知りたいなら、route 0のCDやDVDを見つけて今の彼女と比較してみるのもおもしろいかも！

日本だけでなくアメリカでも成功したい！

特技に日本語をあげ、アジアソングフェスティバルでは日本語で挨拶をし、インタビューにも日本語で答えることができる。また、クイズ番組『幻想の相棒』のMCを務めるなどトーク力もあり、少女時代が日本で活躍する際には、メンバーを引っ張っていくであろうスヨン。日本デビューに当たってメンバーに日本のことを教える先生役を務めている。

「スヨンが日本のいろいろなエンターテイメントを教えてくれるの。それがきっかけで私たちはもっと日本語に興味を持つことができるの」と話すティファニー。他のメンバーが好きなものとして日本のドラマや漫画をあげているのも彼女の影響なのかもしれない。

しかし、そんな状況の中、当の本人は最近英語の勉強も始めた。スヨンは「今は日本語の勉強を頑張らなきゃいけない時期なのに」と笑う。「しかし、いつか、少女時代としてアメリカでも活動するのが夢」と話す彼女の目は、すでに日本だけでなく世界に向けられているのだ。



少女時代の大食い女王、ファンは「食神」と呼ぶ

モデル顔負けのスタイリッシュなボディがウリの彼女たちの中でも、スヨンは身長170センチ、体重48キロとメンバーでもトップクラスのスタイルの持ち主である。そんな抜群のプロポーションを持つ彼女は、その体つきからは想像もつかない大食いだという。

韓国ではやせ型の体型にも関わらず男性並に食べる女性に親しみを込めて「食神」というあだ名をつけることがある。テヨンもかなり食べるらしく「食神」といわれても不思議ではないが、スヨンはもっと食べるのだ。だから、彼女たちの中で「食神」といえばスヨンということになっている。

そんな大食いの彼女は1人で焼肉屋に行き、数人前をペロリと食べるという。また、食べ物を見つけたスヨンが食べ物に近づこうとする時、メンバーたちが映画『ジョーズ』でジョーズが獲物に迫るときに流れる有名なBGMを合唱するというのがお約束というお茶目なエピソードがある。日本でも人気がもっと出てきたなら、もしかしたら大食いの特技を生かしてグルメ番組でその食べっぷりが見られるようになるかもしれない。

日ごろの厳しいレッスンで大量のカロリーを消費しているのだろうが、そんなに食べていたらいつか贅肉もつくはずだが…。それとも彼女はどんなに食べても太らないという世の女性たちの夢の体質の持ち主なのだろうか。



心優しい姉御肌。気が強くて皆を仕切ることも

少女時代は9人組のグループである。9人の仲は良く、一緒に共同生活をしている。しかし、年の近い女の子たちばかりだから意見をまとめるのもなかなか大変だ。

しかし、そんな大所帯の少女時代には意外や意外、リーダー役は存在しないという。かつて、テヨンがリーダーだったが今はその役割から降りている。そんな中で気が強く、MCやラジオのDJをしていた経験があり、話すことが得意なスヨンはまとめ役に回ることが多い。

外交的で活発な性格だがガサツで大ざっぱな面もあるといわれるスヨン。神経質で臆病なところもあり心優しい一面もある。テヨンがメンバーと口げんかをして部屋に閉じこもってしまった際、真っ先にテヨンの部屋を訪れたのがスヨンだった。

そんなエピソードのせいか、スヨンはファンの間では実質的なリーダーとして見られることもある。リーダーかどうかはともかく、姉御肌でいつもバラエティやインタビューで率先して話をし、ティファニーに「あんな面白い人になりたい」と憧れられているスヨンだ。



お姉さんは女優のスジン。美しすぎる、と評判

スヨンにはお姉さんがいる。しかも、その姉は韓国では知る人ぞ知る芸能界で活躍中の有名人だ。そのお姉さんの名前はスジン。大きな瞳に白い肌、ストレートのロングヘアーが魅力的な女優だ。4人組ガールズグループFin.K.L.のメンバー、ソン・ユリ似の美女で話題になった。

スジンがスヨンの姉として脚光を浴びたのは2007年。スヨンと一緒に撮った写真がインターネット上で公開され、彼女は「スヨンにも劣らないかわいらしさだ」と大きな話題を呼んだ。

そして去年『スターの友人を紹介します』という番組でスヨンと一緒に登場したのだが、かつて公開された写真よりさらに美しくなった姿に一同びっくり。共演したタレントも、驚きを隠せなかった。そして、「歴代の女性出演者の中で最も美しいと言っても過言ではない」と評判になった。

その半年後、ミュージカル『切り裂きジャック』のグロリア役の最終オーディションに合格し、出演が決定。またまた韓国メディアは色めきたった。

姉妹はとても仲が良いのでスヨンのことが気になっている方は、スジンの活躍もぜひ追いかけてみてはいかがだろうか。

ファンからのビックリバースデープレゼント

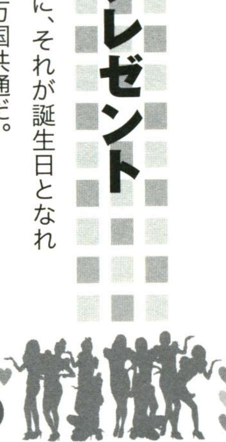
日本と韓国、国は違うがファンはアイドルを喜ばせたいものだ。特に、それが誕生日となれば所属事務所にも大量のプレゼントが届くというのは、両国に限らず万国共通だ。

もちろん、少女時代のファンも彼女達にプレゼントを贈るのだが、彼らの行動力はすさまじく、各メンバーの誕生日ごとに素晴らしいプレゼントを贈ることで知られている。

2010年の誕生日には、スヨンにも本人だけではなく周りの人間もビックリするようなバースデープレゼントが贈られてきたことがある。

まず、スヨンに似せて作られたキャラクター人形を乗せた特注のケーキを皮切りに、スヨンが在学する中央大学に"チェ・スヨン奨学金"という名前で100万ウォン（約7万2000円）の寄付をした。それだけではなく、ファンが集めた献血証214枚を韓国白血病換羽会に寄付し、少女時代がCMに出演しているラーメン32箱を韓国の仁川の福祉施設に贈呈、その上スヨンの故郷にある障害乳幼児院に200万ウォン（約14万4000円）の寄付をし直接訪問してボランティア活動を行ったのだ。

他にも、新聞に「スヨンさん！ 19回目の誕生日、心よりおめでとう！ 乱れて慌しくて暗鬱なこの世の中、それでも少女時代がいるので楽しく過ごします」というファンのメッセージ付きの広告を出したこともある。



スヨンはベトナム系？ 美脚が原因でウワサが！

歌やダンス、ルックスなど人によって少女時代に魅力を感じる点は違うが、日本では彼女たちのことを「美脚ガールズグループ」と呼ぶことが多い。

そんなほれぼれするような足で多くの人の目を引いてきたグループの中でスヨンは「足長担当」といわれている。そして、スラリと伸びた脚で男性ファンを魅了しているのだ。

そんな抜群のスタイルの持ち主だから、「ジーンズモデルとして最も似合う歌手は？」というテーマでアンケートをとったところ、スヨンは50%を越える投票率で堂々の1位に輝いた。「背が高く爽やかで長くてすらりとした脚はジーンズモデルにピッタリ」との意見が多かったそうだ。

ところが、この脚が少し困った問題を引き起こした。「スヨンはベトナム系である」というウワサが流れたのである。

これは所属事務所SMエンターテインメントが「事実でない」とはっきりと否定しているのだが、スヨンの細くて長い脚とはっきりとした顔立ち、そして小麦色の肌から「本当は東南アジア系ではないか」というウワサが流れたのだ。しかも、「外祖母がベトナム2世」、「母親の親族に東南アジア系がいる」という具体的な情報まで浮上する過熱ぶりで、多くのファンたちを混乱させた。





少女時代
ユリ
YuRi

健康的なお色気をふりまく色黒美人

PROFILE

★本名　クォン・ユリ
★1989年12月5日生まれ
★167cm / AB型
趣味●音楽鑑賞、読書
学歴●中央大学校演劇映画学部在学中
特技●中国語、水泳、スポーツ
長所●よくしゃべる
運動神経も抜群
短所●実は気が小さい

茶目っ気たっぷり、人騒がせなイタズラっ娘

バラエティ番組にも全力で取り組み、音楽番組のＭＣも務めるユリはアイドルとしてもサービス精神が旺盛だ。

しかし、「人を楽しませよう」と気持ちが強いせいか、珍行動をすることが一番多く、またいたずらが大好きということでも有名だ。では、そんなユリがメンバーにしでかした有名なイタズラを２つ紹介しよう。

ひとつ目は、メンバー内でいじられキャラであるティファニーのベッドにゴキブリのおもちゃを置いたこと。それを見たティファニーは思わず泣き出してしまった。もちろん、ネタがばれた後、ティファニーは激怒したことは言うまでもない。

２つ目は、メンバーの靴紐を全て結んで靴をつなぎあわせてしまったこと。そして、結んだ本人であるユリは特にフォローを入れるでもなく、その場から逃げて出してしまった。メンバーはもちろん激怒した。

そして、こんな珍行動をとることもある。まずメンバーに対し腹の立つことがあると、一度それをメモに書きとめる。そして、それを見ながら相手に文句をつけるのだが、そのメモには文句を言われた相手の反応も予想して書かれているという。

彼女のユニークなアクションは本当に想像を絶している。

毎日長イモジュースを飲む健康マニア

美しいルックスを維持するためにも、芸能活動をするためにも健康であることはとても大切なことだ。抜群のプロポーションを誇る少女時代はさぞしっかり健康管理を行なっているだろうと思うと、普段は特に食事制限などはせず週3回も宅配ピザを頼んでいるという。

そんな健康的とはいえない食事をしている少女時代だが、ユリだけはかなりの健康マニアだ。健康食品が大好きなだけでなく、毎朝長イモをすり下ろして、牛乳・ハチミツ・りんごなどを混ぜたジュースを飲んでいるという。これは幼い時からずっと続けている彼女の美容法なのだそうだ。

そして、健康のために大切なのがやっぱり運動。レッスン以外にも趣味で身体を動かし、特にヨガにはまっているという。K-POP界を代表するガールグループのメンバーが集まってアイドルの限界に挑戦するバラエティ番組『青春不敗』では「ユリのヨガ教室」というコーナーまでもっていたほどだ。

ちなみに、この企画は大好評。ユリは目と口を思い切り開け、舌をできるだけ出して目を上に向けるという、変てこなライオンのポーズをとるなど、アイドルらしくないパフォーマンスでバカ受けした。

しかし、こんなに気を遣っているからこそあのセクシーなボディを維持できるのだろう。

ファンもうらやむ「真珠肌」

アイドルの人気のバロメーターのひとつにニックネームの浸透度がある。例えば、人気絶頂時のモーニング娘。には一人ひとりにユニークなあだ名がつけられていた。

当然、少女時代のメンバーにもそれぞれの個性にぴったりのユニークなニックネームがつけられ、ファンに親しまれている。

その中でユリのニックネームも日本人の感覚でいえば、かなり変わっている。彼女のニックネーム、それはズバリ「黒真珠」。その由来は、色黒で肌がつるつるしているからだという。肌が美しいとほめられるのは女性としてやはりうれしいのだろう、ユリ本人もこのニックネームをとても気に入っているそうだ。

その自慢の肌でユリは、スヨンとティファニーとともにスキンケア商品の広告モデルを務めている。グループきっての素肌美人だ。。



男性の前ではおしとやかな小悪魔少女

「少女時代のセクシー担当」ともいわれるユリ。しかし、そんな役割とは裏腹に、最近ではバラエティでよくギャグを飛ばしたり体を張って笑いをとったりして、「ノリが良くておもしろい」と男性女性双方から人気がある。

ところが、ファンから愛されているユリだが、男性の前と女性の前ではキャラが大分違うという。

そんな様変わりしてしまう態度が不自然だと、少女時代のメンバー全員で出演したトーク番組『シン・ドンヨプ、シン・ボンソンのシャンパン』でメンバーから指摘されたことがあった。「男の前では180度変わるメンバー」という項目でユリが1位になってしまったのだ。それに対して、ユリは「私も少しは認める」と率直に答えた。ジェシカには「ユリは少女時代メンバーたちの前ではつらつとしているのに、男性がいると声のトーンも女らしく変わって笑い声も高くなる」としっかり暴露されてしまった。

こういったタイプの女性は「嫌な女」と同性からは嫌われるものだが、ユリはさっぱりとした性格で自分が男性の前で態度が変わることを認めているために、メンバーからは少しも嫌われてはいないようだ。

そして、彼女の男性ファンの多くはそんな態度もかわいらしいと思っているのだ。

元気いっぱいな彼女は実は内向的だった？

「ユナとテヨンのおかげで少女時代は有名になりました。2人に感謝しています」と、自身も女優やソロで大活躍しながらも謙虚さを忘れないユリ。手足の長さを活かしたしなやかなダンスを見せ、テレビ番組では元気いっぱいの姿でファンからの好感度はグループでもトップを争う。

しかし、そんな誰からも好かれるような活発な少女のイメージからは想像しにくいが、実はユリはあまり強くものを言えないタイプだという。嫌なことがあっても、なかなか不満が言えずにため込んでしまうことも多く、メンバーがユリと口げんかするときには「今さらそのこと!?」と思うほど古いことをまとめて言ってくるらしい。

そんな彼女だが、家族を相手にするとガラリと変わるという。お兄さんとはしょっちゅうけんかをしていると、バラエティ番組『ハハ・モンショー』で一緒に撮ったポラロイド写真とともに明かした。また、そのお兄さんは見た目がまるで、双子のようにユリとそっくりで「お兄ちゃんにますます似てきているので将来が心配だ」とユリは笑う。

ズバっと自分の意見を言いそうな彼女だが、実は周りに必要以上に気を遣ってしまうタイプ。テレビでもし彼女が話す時に変な間があったりしたら、「ユリ頑張れ！」と応援してあげよう。

日本ではたこ焼きが食べたいです！

海外旅行では食事が最大の楽しみのひとつだが、少女時代も日本で活動するにあたって食事を楽しみにしていた。フジテレビの音楽番組『魁！音楽番付Ｅｉｇｈｔ』で「日本で興味があることは？」と質問され、メンバーの半数以上がラーメン、寿司、親子丼などを食べたい料理名として挙げた。その中でユリだけがちょっと変わった食べ物の名前をあげた。「韓国でもたこ焼きが一番好きですが、日本でもたこ焼きをいっぱい食べたいです」。

実は、何度も日本に来たことがあるユリ。日本の料理にも詳しく、好みもマニアックだ。

有明コロシアムでのライブ後の目標についても、他のメンバーが東京ドームなどの大きな会場でのコンサートを目標に掲げる中、ユリだけは「首都圏以外の各地域も回り、小規模でもいいからライブがしたい」と少し変わっている。

ちなみ、彼女の趣味は大衆文化に接すること。少女時代が全国ツアーを行うようになったら、日本の文化を満喫するユリの姿を見ることができるかもしれない。



韓国で最も、マウンドが似合う女性歌手

少女時代のセカンドメインダンサーを任され、デビューのきっかけにもなった第1回SM青少年ベスト選抜大会ダンス部門（2001年）で本章（大賞）を受賞するなど、「アクション女優に転向してもいいのでは？」とファンから言われるほど高い運動能力を持っているのがユリだ。本人も運動が大好きなようで、プロフィールの特技の覧にしっかり、スポーツや水泳と書いている。

そして、音楽ポータルサイトバックスが行った「ピッチャーが似合う女性スター」というアンケートでは堂々の1位に選ばれたこともある。

それに関係しているのかしていないのかは分からないが、彼女は2007年に蚕室スタジアムでは行われたKIAタイガーズVS斗山ベアースの試合の始球式で見事なアンダーハンドで投球を披露。元メジャーリーガーのアンダーハンド投手キム・ビョンヒョン選手に因んで「BKユリ」のニックネームをつけられたこともある。

さらに、音楽サイトモンキー3のアンケート「フィギュアスケーターが一番似合う女性スター」でも1位に選ばれており、しばらく「芸能界のキム・ヨナ」と呼ばれた。

野球とフィギュアという双方が「似合う！」と思われているユリ。彼女のスポーツ万能キャラは韓国の人たちの心にしっかりと根付いているようだ。

少女時代
ソヒョン
SeoHyum

誰もが守ってあげたくなる
癒し系清純派



PROFILE

★本名　ソ・ジュヒョン
★1991年6月28日生まれ
★168cm / A型
趣味●音楽鑑賞、読書
学歴●東国大学校演劇映画科在学中
特技●中国語、英語、
日本語、ピアノ演奏
長所●謙虚でおしとやか
短所●真面目すぎる

徹底した自己管理！ 真面目でキレイな「模範生」

女性であれば誰でも美容に興味を持っているはず。それが"キレイ"がポイントになるアイドルともなれば、なおさらだ。

そして、ソヒョンほどキレイになるために真面目に取り組んでいる女の子はいない。その真面目な姿からメンバーからも「模範生」と呼ばれているほどだ。

ではどのあたりが模範生なのだろうか。まず0時に寝る。ソヒョンいわく「夜は皮膚細胞の再生時間」、だから0時までには眠るよう心がけているそうだ。しかし、メンバーからは「徹底しすぎている」と不評らしい。

また、食事もインスタント食品やファストフードは食べないようにしているという。そもそも気をつかっているというよりも健康的な食事が好きなようだ。

ただ、ハンバーガーと炭酸は本当に苦手らしく、ハンバーガーにいたってはサニーが食べているのをみて「そんなもの食べたら死んでしまいますよ」と思わず口走ったことがあるらしい。これに対してサニーは「毒薬じゃあるまいし、何でも食べた方がいいんじゃない」と反論したという。

真面目なことも自分に厳しく節制することもとても素晴らしい事であり、それが彼女の大きな魅力だ。ただ、彼女の真面目すぎる性格にメンバーも時々困惑してしまうようだ。

勤勉な彼女が好きな本のジャンルは自己啓発

毎年進学シーズンになると芸能人の進学が話題になる。日本の芸能界でもうんちく、雑学ブームが起こり、たとえアイドルといえども一般教養が求められるようになった。様々な分野の知識を持っていた方がテレビ番組に出演しやすく、高学歴をセールスポイントにしたタレントも登場している。

一方、学歴社会韓国では芸能人にも学歴が求められる。そんな中、ソヒョンはインテリとして有名で、かつてポータルサイトＢｕｇｓがおこなった「法律家のイメージが一番似合う芸能人は誰か？」というアンケートでは、見事1位に輝いている。

そのイメージ通り、誰に言われるでもなく進んで勉強をするらしく、現在では大学に進学し、学業と芸能活動を両立している。

趣味は読書。特に朝早く起きて、読書するのが好きなのだという。

どんな本が好きかといえば、なんと若い女の子はなかなか読まない自己啓発ものがお気に入りらしい。なぜと思う方もいるかもしれないが、その理由を聞けば納得。親元を離れて若くして社会に出たので、辛いことがあっても親に相談できず、そんな時は自己啓発本を読んで問題を解決してきたからだ。

こんな理由を聞けばファンでなくとも彼女を応援したくなるというものだ。

人気アイドルもかつては地味だった

華やかな芸能界で活動するアイドルたち。そのファッションは多くの女性の目をひきつけ、ファンは彼女たちの髪型や身に着けている服、バック、靴などを真似ることも多い。

ところが、現在はスタイリッシュでオシャレな存在になった少女時代だが、ソヒョンはほんの少し前まで本当に地味だったという。

当時、ソヒョンは洋服を1枚買うのにも少女時代のメンバーたちにアドバイスを求めていたという。

しかし、最近はようやくひとりでもセンスのあるアイテムを選べるようになり、撮影前日には撮影時の衣裳が気になって仕方がないほど、おしゃれに関心を持つようになった。

優等生キャラの彼女は、最初のうちは真面目すぎて、年頃の女の子が興味のあるオシャレには見向きもせず、一生懸命に歌やダンスのレッスンをしていたのだ。



男性が苦手な正統清純派

「アイドルに男はご法度」というのは芸能界の暗黙のルールだが、最近では多くのアイドルがそのルールを破り、ワイドショーを騒がせている。

しかし、ファンからすれば好きなアイドルはやはり誰とも付き合って欲しくないもの。そんな思いに応えてくれる清純派アイドルがソヒョンだ。

彼女は生真面目な性格で、まだ異性とお付き合いをしたことがないらしい。というよりも、男性が苦手らしいのだ。

これに関して、ソヒョンは「あなたも20歳よ。男を避けすぎじゃない？　興味を持つどころか毛嫌いしているように見える。素直になりなさい」とメンバーにしかられても、「毛嫌いじゃなくて興味がないんです」と耳をかさない。今どき珍しいピュアな少女なのだ。

だが、そうは言っても年頃の女の子。まったく興味がないわけではなく、30歳までには結婚したいと思っているらしい。

しかし、そんな彼女を支持する男性も多い。事務所の先輩であり東方神起のムードメーカーであるジュンスも、彼女のそんな真面目さが気に入っているという。

日本ではもはや絶滅危惧種の"清純派アイドル"。その純情さに心を癒される人が続出するのは当然だ。

カメラの前では見せない意外な一面

仕事中でもプライベートでも真面目で勤勉なことで知られているソヒョンだが、メンバーと共同生活をしている家ではまた違った一面を見せているという。

「いつもはおしとやかなふりしているけれど、合宿所では不満をよく言っている。〝しんどい〟〝腹立つ〟など言いたい放題」とジェシカ。しかし、ソヒョンは「みんなに影響されたからですよ」、と反論している。

テレビでは他のメンバーに遠慮してあまり前に出ない彼女だが、私生活ではズバズバものを言うらしく、ユリに「最初の3ヵ月間いくら話しかけても答えてくれなかった」と言われ、「ユリ姉さんが怖かったんですよ」と逆襲したこともあった。

また、ソヒョンは髪を染めていた時に、仕事でつけているカツラをリビングに干したまま放置し、夜仕事から帰って来たサニーとスヨンをビックリさせたこともあったという。真面目すぎると言われる彼女も時々、こんなうっかりした一面を見せるのだ。

メンバーの中で一番年下なので「マンネ(末っ子)」と呼ばれているソヒョン。メンバー全員に本当の妹のようにかわいがられ、本人も「お姉さんが前から欲しかったので8人もお姉さんができてうれしい」と喜んでいる。だからこそ、ついつい少女時代のお姉さんたちしかいない時は、普段は見せない素顔を見せてしまうのだろう。

秋葉系の理想？ 好きなものはアニメと漫画

『ドラゴンボール』や『セーラームーン』、『新世紀 エヴァンゲリオン』など日本のアニメーションは、国境を越え大人気。世界中の国で大人から子どもまでをテレビの前に釘付けにしている。

それは韓国でも同様だ。日本でも大人気のコミック『ワンピース』が好きだというサニーをはじめ、少女時代のメンバーにも日本のアニメやコミックのファンがいる。

中でもソヒョンは実はアニメが好きなことでも知られているが、特に『ケロロ軍曹』が大好きらしく、『ケロロ軍曹』の韓国語版吹き替えにも挑戦したことがある。また、アメリカのアニメーション映画『怪盗グルーの月泥棒 3D』の次女イディス役で韓国語吹き替えをするなど声優業にも積極的だ。

日本のコミックも大好きな彼女は、『のだめカンタービレ』のファンで、ドラマで主役の野田恵を演じた上野樹里がお気に入りだという。そのため、劇場版の『のだめカンタービレ』を宣伝するために韓国を訪れた上野樹里を、自身が出演するヴァーチャル結婚バラエティ『私たち結婚しました』にゲストとして呼んだこともある。

清純派でアニメとコミックが好きなソヒョンは、少女時代の中でも間違いなく萌え度No.1だ。

彼女の真面目さのルーツはお母さんにあり！

少女時代のメンバーたちにも敬語を使い、人気者になった今も謙虚なソヒョン。いくら多忙でも在学している東国大学にしっかり登校し、学業もおろそかにはしない。

彼女がそんなにも真面目な理由は、彼女の両親にあるのかもしれない。

ソヒョンの家族はご両親と彼女だけ。だから、一人娘として大切に育てられた。彼女の母親はピアノ学院の院長として知られており、ソヒョンがピアノを弾くのが得意なのも、お母さんからしっかりと指導を受けたおかげだ。

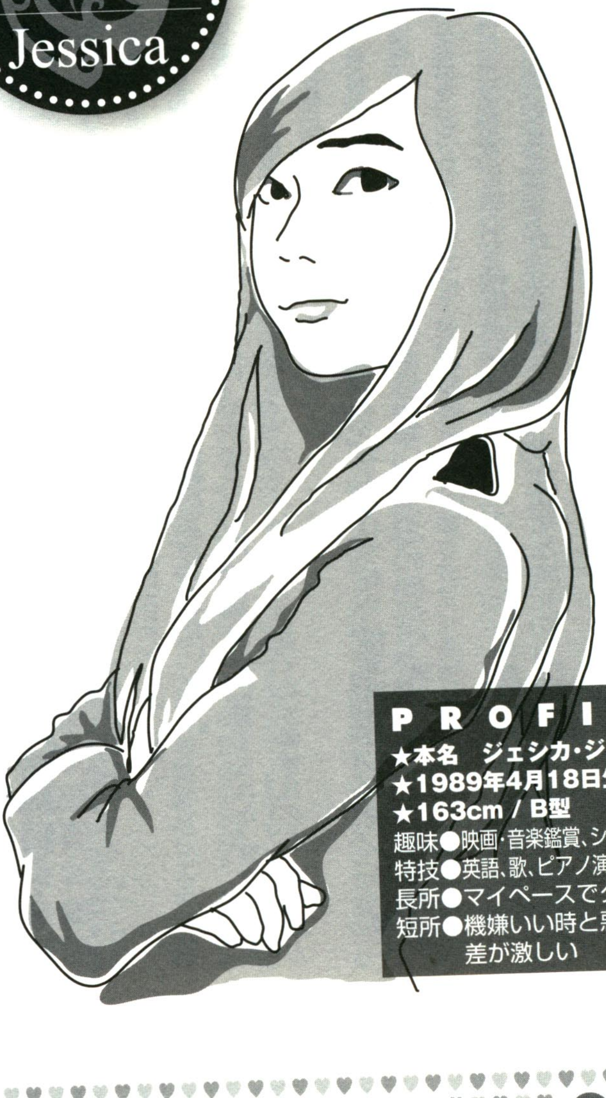
また、食事や金銭面でもきっちりするよう教えられており、練習生時代、ソヒョンは一緒にバスで通っていたユリに、バスの乗車代を貸したことがあるが、後でしっかりと10ウォン単位まで返済を迫ったというエピソードもあるほどだ。

日本以上に教育に熱心な韓国。子どもをしばりつけるような教育には問題があるが、ソヒョンのように真面目で良い子が育つなら、その教育方法を知りたいと思うお母さん方も多いのではなかろうか。



少女時代
ジェシカ
Jessica

草食系男子もノックアウト！
クールで強気な女王様



PROFILE

★本名　ジェシカ・ジョン
★1989年4月18日生まれ
★163cm / B型

趣味●映画・音楽鑑賞、ショッピング
特技●英語、歌、ピアノ演奏、ダンス
長所●マイペースでクール
短所●機嫌いい時と悪い時の差が激しい

彼女の自由奔放さに皆メロメロ！

キュートなパフォーマンスで見るものを圧倒する少女時代。しかし、その調和のとれたダンスと歌と違い、メンバーたちは、それぞれ異なる魅力でファンを魅了しているのだ。

そんなメンバーの中でもトップクラスの人気を誇るのがジェシカで、クールビューティーなそのルックスとざっくばらんな発言で人気を集めている。「アイドルである以上猫をかぶることもあるの」と本音で話し、ユニークな発言でファンたちを爆笑させている。

そして、ジェシカはファンサイトでは数々のシニカルな言葉を残している。「ジェシカお姉さん、遊んでください」というファンに対しては「ひとりで遊ぶ方法を学びなさい」と切り返し、「うちの姉さんがいじめます、しかってください」というファンには「お姉さん、ファイティン」と答える。英語で「英語上手いですね！」と書き込んだファンは、「あなた、死にたい？」と一刀両断。

これを読んだファンたちは「やっぱり少女時代のメンバーの中ではジェシカが最高！」、「私もこんなシニカルな返事をもらいたい！」と喜び、その独特なユーモアセンスでもともと高かった株をさらに上げた。

「自分の心に従う」がモットーのジェシカ。日本でも「美人にきびしくしかられたい」という困った男性だけでなく、我が道を行く彼女に憧れる女性もたくさん現れるに違いない。

妹はクリスタル。妹が打ち明けた姉の優しさ

有名人の家族もまた有名人であるということはよくあり、ジェシカにも芸能界で活躍している妹がいる。

その妹とは、同じ事務所に所属する多国籍メンバー5人で構成されたポップダンスグループf(x)のクリスタルだ。

ジェシカの方が先にデビューしているが、実ははじめにスカウトされたのはクリスタルだった。9年前、ジェシカが12歳、クリスタルが7歳の時、クリスタルがスカウトされ、両親を交えた芸能事務所との会談の席に同席したジェシカもスカウトされたのだという。

そして、姉妹は仲が良いことでも知られている。共演したコンサートの控え室で仲良くイタズラしている2人の姿が目撃されるなど、2人はスキンシップを欠かさない。クリスタルはジェシカについて、「ジェシカが女性的なのに私はおおざっぱと性格が違うけど、離れた場所にいても似ているようなことを考えている。私たちはとっても仲が良いの」と話している。

ジェシカも妹が大好き。きつい発言をよくする彼女も妹のクリスタルには甘い。

クリスタルがデビューした際も、ジェシカは彼女に会いに行って直接お祝いの言葉をかけたという。また仕事が終わった控え室では、クリスタルの汗をぬぐってあげながら「もっと頑張りなさい」と励ましたという。



シカ効果？ ジェシカの持つ謎の能力

ステージで歌を歌い、ダンスを踊ることがアイドルの仕事だが、最近ではそれ以外にもドラマやバラエティ番組で活躍するアイドルが増えている。

少女時代も音楽活動だけでなく、それぞれが様々な分野でその才能を発揮している。

強烈な発言とわが道を行く性格で男性女性ともに人気があるジェシカは、トーク番組などで恐るべき能力を発揮する。

その能力とは、ジェシカが話し出すとどれほど盛り上がっていた場でも急に凍り付くというもの。彼女の話は面白いのだが、なぜか彼女がしゃべると他のメンバーは押し黙ってしまい、その不自然さが視聴者や観客に大ウケ。どうして一斉に黙るのかは分からないが、こんなことが何回か起こるうちに、この特技は「シカ効果」と名づけられ、彼女の持ちネタになってしまった。ちなみに、シカ効果の「シカ」とは彼女のニックネームだ。



毒舌女王様の時々見せる優しさにドキドキ

アイドルがバラエティで身体を張ったり、映画の吹き替えに挑戦したりするのはもう珍しくない。そして、それに合わせていろいろなキャラクターの個性豊かなアイドルたちが活躍している。

韓国芸能界のトップをひた走る少女時代のジェシカは、「氷姫」とも言われ、無表情でばっさり物を言う、いわゆる女王様キャラだ。その強烈なキャラからもうひとつ「包丁」というニックネームも持っている。

そんなとがったキャラクターで知られる彼女だが、根は優しいことでもまた有名で、ユリはジェシカの性格を「温かい氷」に例えている。

そして、本当の彼女は、とても女の子らしいので、普段のキャラからは想像できないが、時には人前で涙を流すこともある。

2009年12月にソウルで行われた少女時代単独での初コンサートのステージでジェシカは涙を流した。「初コンサートなので、色々なことが思い浮かんだ、ずっと涙をこらえていたけど、客席にママが来ていた。ママと目が合い、涙をこらえることができなかったの」。

普段強気な女の子が不意にみせる優しさには誰もがグッとくるはず。そんなドキドキさせるようなギャップを持っているところが、彼女の一番の魅力なのだ。

ジェシカ、ベトナムでファンに襲われる

韓国で爆発的な人気を獲得し2010年に日本でデビューした少女時代だが、彼女たちはタイでも人気がある。セカンドアルバム『Oh!』が、タイ、台湾、フィリピンなどアジアの多くの国でアルバムセールスチャートの1位を記録するなど、アジア各国には少女時代の熱烈なファンが多い。

そんなグローバルな活動をしている少女時代だが、ベトナムを訪れたとき、とんでもないハプニングが起こった。なんとジェシカがステージ上で女性ファンに抱きつかれたのだ。

事件が起こったのは2009年にベトナムで行われた韓国・ベトナム友情コンサート。この韓国とベトナムの国交が17年目を迎えたことを祝った記念コンサートに参加した少女時代は、自らのヒット曲「Gee」と「Genie-願いを言ってみて」を熱唱。

その後に行われた舞台上での写真撮影中に女性ファンが突如舞台の上に乱入し、ジェシカを抱きしめたのだ。この抱きついてきた女性はすぐにガードマンによってステージの上から引きずり下ろされた。

驚いたジェシカだが、しばらくするとハプニングをおもしろがった。

ちなみに、このハプニングは韓国で「ベトナムでも人気がすごい」、「男性だけでなく女性にも人気がある」と好意的に報道された。

遅刻でスタッフ大慌て！ バスタブでぐっすり

ファンからはクールな女性とされているジェシカだが、実は昔から非常に困った癖があるという。それは「一度寝たらなかなか目を覚まさない」ということ。

そんな寝坊癖が原因で、仕事でも問題を起こした。ある番組の収録で集合時間を2時間過ぎてもジェシカが現れなかったのだ。スタッフは軽いパニック状態に！　一時は警察への届出も考えたというのに、ジェシカはなんと家で歯ブラシを片手にバスタブの中で爆睡していたというのだ。

彼女の名誉のために断っておくと、これは特別な例であって彼女の寝坊は普段はここまでひどくない。

しかし、基本的には寝起きは悪く、メンバーの中でいつも一番遅く起きる。共同生活をしている少女時代には、いくつか生活のルールがある。そのひとつが最後まで寝ていた人が朝食の後片付けをするというものだ。だから、いつも食事の片付けは決まってジェシカの仕事なのだとか。

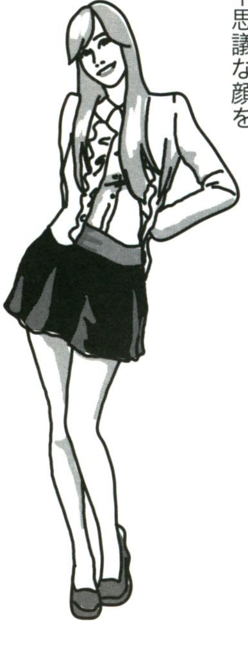
他にも「休日は16時間以上眠る」、「仕事に遅刻しそうな時はメンバーにベッドから投げ落とされる」など多くの睡眠にまつわるエピソードに事欠かない。ステージでは見るものを魅了する彼女だけになんとも意外な一面だ。

お酒を飲むとやってしまうジェシカの困った癖

日本でも韓国でもアイドルにはかわいらしいルックスの他にも清純さを求められることが多い。しかし、少女時代のメンバーはプライベートではお酒を飲むと公言しているのだ。

韓国では飲酒は19歳から許されるなど基本的には飲酒に寛容だが、この飲酒発言にはファンたちもビックリ。中でも、ジェシカの酔っ払ったときの迷惑な癖を知ってファンたちは驚いた。

酒癖が悪いといっても様々で気が強くなったり、泣き上戸になったりといろいろなタイプがあるが、ジェシカの場合、酔うと電話魔に変わってしまう。いろんな人に電話をかけまくるようになるのだという。しかも、そのことをジェシカ当人は覚えていないこともあるという。お酒を飲んで完全に酔っ払ってしまったジェシカは、その日はお母さんに電話。「明日会おうね」とお母さんと約束したが、翌日、ジェシカはすっかり約束を忘れており、合宿所を訪ねて来た母親に「ママ、何で来たの？」と不思議な顔をしたという。



少女時代
テヨン
TaeYeon

ソロでも活躍 少女時代のリーダー的存在



PROFILE

★本名　キム・テヨン
★1989年3月9日生まれ
★身長162cm／O型
趣味●映画鑑賞、音楽鑑賞
学歴●全州芸術高等学校放送文化芸術科
特技●歌
長所●真面目で責任感がある
短所●気が小さい

「ＢｏＡさんのようになりたい！」きっかけは憧れ！

日本でのデビューを夢見てきたテヨンに大きな影響を与えたのは、日本でも数々のヒット曲を飛ばしたアーティストＢｏＡだ。ＢｏＡはテヨンの所属するＳＭエンターテインメントの先輩で、２０００年に韓国でデビューし、翌２００１年には日本デビューも果たした。

その２００１年、ＢｏＡの日本デビューを知り、「良い意味で大きな衝撃を受けた」とテヨンは言う。テヨンがまだ小学生の頃のことだった。

「ＢｏＡさんは、ダンスも歌もとても上手だから、ずっと憧れていました。日本語も流ちょうに話していました。私もいつか芸能界にデビューし、日本や世界で活躍しているＢｏＡさんのようになりたいと思いました」とテヨン。

その時見たＢｏＡの姿は、現在ダンスや歌、ラジオにバラエティと、少女時代だけでなくソロでも大活躍しているテヨンの大きな目標となったのだ。

韓国でのデビューに続き、日本でのデビューも果たした少女時代。日本でのデビューについて「いよいよこのときが来た」と意気込んでいたテヨンは、小学生から憧れていた先輩ＢｏＡに一歩近づくことができた。

ソロになっても成功する⁉

２００８年に「ソロで活動すれば成功する女性アイドルグループメンバーは誰？」というテーマで実施されたアンケート調査で、数ある女性アイドルグループのメンバーを押しのけて、堂々1位に輝いたのはテヨンだった。

そして２００９年の「今年成人を迎える芸能人で最も期待されるスターは誰？」というアンケート調査でも、テヨンは1位に選ばれた。

テヨンの歌唱力は抜群で、ソロで歌った２００８年にＫＢＳで放送されたドラマ『快刀ホン・ギルドン』の「もしも」、同じく２００８年にＭＢＣで放送されたドラマ『ベートーベン・ウィルス 愛と情熱のシンフォニー』の「聞こえますか」が大ヒットし、オリジナルサウンドトラック界の新星として注目された。

またラジオ番組にも出演、２００８年４月から始まったＭＢＣの『カンイン、テヨンの親しい友達』や、２００９年４月から開始した『テヨンの親しい友達』のＤＪも務めていた。

チャレンジ精神も旺盛だ。ソヒョンも出演している人気バラエティ番組『私たち結婚しました』にも出演した。「相手はほとんど知らない方だったので、はじめはすごく緊張しましたが、メンバーが一緒だったので、少しは楽でした」と話していたものの、新しいことに挑戦する意欲は人一倍だ。

メンバーも認める透き通った歌声

テヨンといえば「歌」。と言っていいほどテヨンは歌の実力がある。少女時代ではメインボーカルを努め、ソロでも大活躍している。

あるコミュニティサイトが行った「もっとも歌唱力のあるガールズグループの歌手は誰？」というアンケートでも、多くの女性グループのボーカリストたちを押さえてテヨンが第1位に選ばれた。

選ばれた理由は歌の上手さ。「安定した音程と豊かな感情表現が強み」、「ソロでデビューしても十分な歌唱力の持ち主」と誰もがテヨンの歌唱力を絶賛している。

ヒョヨンも「テヨンのボーカルはすごい。とても透き通った声で、彼女が歌っていると私たちもすっきりした気持ちになるの」とテヨンの歌を認めている。

その歌唱力を生かし、ミュージカル『タイヨウのうた』に挑戦したこともある。



練習が辛くて…実家に逃げ帰る

日本の芸能界では、多くのアイドルやお笑い芸人などがデビューしてはいつの間にか消えていく。そして韓国ではさらに日本とは比べものにならないくらい厳しい競争が繰り広げられている。

韓国ではアイドルたちがデビューするまでに練習生期間があり、その途中で脱落してしまうアイドル候補生も多い。少女時代のメンバーたちも、それぞれ数年間をかけ厳しいレッスンを積んできた。テヨンも5年3ヵ月という練習生期間を経て少女時代のメンバーとしてデビューすることができた。

テヨンが事務所の練習生だった頃は、実家から事務所が遠かったためにメンバーのティファニー、f(x)のソルリと寮の同じ部屋で合宿していた。テヨンは、真面目な性格で厳しい練習もきちんとこなしていたが、実は練習が辛すぎてがまんできずに実家へ勝手に帰ってしまった事もあったという。

ラジオ、コンサートと大活躍中の今の彼女からは、実家に逃げるように帰る姿は想像しにくい。しかし、その後、すぐに寮に戻ってきたという。やはりスターになってステージに立ちたいという夢や苦楽を共にした仲間を放ってはおけなかったのだろう。そんな苦労をしてきたからこそ今の輝くテヨンがあるのだ。

テヨンが流した涙の理由

テヨンがリーダーに選ばれたのは「メンバーの中で一番早く生まれた」からという理由からだった。責任感の強いテヨンは自分がリーダーになったことでリーダーらしくならなければならない、グループをまとめていかなければいけないとプレッシャーを感じ、一時期夢遊病に悩まされたことがあるという。

あるバラエティ番組の中でテヨンは、うっすらと瞳に涙を浮かべながらこんな告白をしたことがある。

「9人のうち7人が同い年でみんなの意見をまとめるのが大変だったし、同い年なのにメンバーに向って何か指示するのが申し訳なかった。私はもともと気が小さいのにみんなからはリーダーシップがあるように思われていたんです。メンバーで5分間反省会をした時、みんなの批難がリーダーの私に集中した。みんなから本音を言えとか表情が暗いと言われ、耐えきれなくなって部屋に飛び込んだの」

部屋に飛び込んだテヨンは泣いていたという。そんなテヨンの部屋に、しばらくするとスヨンが入って来た。

「私が勇気を出して提案するよ。リーダーという役割はなくそう」というスヨンの提案をメンバーも承諾。この時から少女時代にリーダーはいなくなった。

特技は「寝言」と「夢遊病」!?

小学校の頃、夢遊病で夜中にフラフラと歩き出し父親を驚かせたことがあるテヨン。しかし、周囲をびっくりさせたのは夢遊病だけではない。テヨンは特技といってもいいほど寝言が多いという。

「テヨンは寝ながら数学の問題を解いたり、ひとりで誰かに挨拶をしたりしていました」と打ち明けてくれたのは、スヨンだ。さらに「夜中に寝ながら電話をしていることもあって怖かった」とテヨンの寝言の多さにあきれた様子。

ラジオ番組のDJとして活躍していたテヨンだが、ラジオ番組でDJとして働いている夢を見て寝言でDJをしていたこともあるという。

テヨンの寝言の凄さを知っているのは、スヨンだけではない。ユナには「また目を開けたまま寝ているよ…」としょっちゅう呆れられている。

なんとテヨンには、ヨガのポーズをしながら、目を開けたまま寝ていたという怖い噂や証言もあるのだ。

もっともテヨンはそんなことを覚えているはずはない。夢遊病に悩まされていたというテヨンだが、むしろ彼女の夢遊病や寝言に悩まされたのはテヨン以外の少女時代のメンバーたちだったかも?

本当はやっぱり恥ずかしがり屋さん

当初少女時代のリーダーに抜擢されたが、メンバーをまとめる自信がないと辞退。自ら「気が小さい」と打ち明けるテヨン。彼女は本当に気が小さいのか？

「ナチュラルで自然体なイメージで、小学生からお年寄りまで、男女を問わず愛していただける存在になりたい」と少女時代のコンセプトを語るテヨン。「チーム一丸となってなにかを成し遂げようとする時には、1番前に出て行くことが多い」とも話す。とても気が小さいとは思えないのだが…。

しかし「おとなしい性格で、引っ込み思案なところもあり、秘密が多い」と他のメンバーは言う。

テレビではファンのために体を張ったギャグを披露したり、メンバーにちょっかいを出したりと明るく元気だ。しかし、ギャグをやった後は恥ずかしそうにうつむくこともある。やっぱり恥ずかしがり屋なのか!?



少女時代
サニー
Sunny

小さいけれど少女時代で一番の努力家



PROFILE

★本名　イ・スンギュ
★1989年5月15日生まれ
★身長155cm／B型
趣味●読書
学歴●培花女子高等学校
特技●運動
長所●努力家、しっかり者さ
短所●外見が子供っぽいと
よく言われている

コンプレックスは155センチの身長！

ＫＢＳの人気バラエティ番組『青春不敗』で、サニーは「私の身長は155センチしかないです」と公式発表と違う自分の身長を明らかにした。

これまでサニーの身長は157センチとされていた。サニーは発言後「あ…2センチ低く言ってしまった」と笑いながらごまかしている。その告白から、サニーは少女時代のメンバーの中で1番背が低いということがわかった。

ダンスができて歌も上手い！　少女時代の人気はそれだけが原因ではない。

細いウエストに、スラリと伸びた脚、スタイルの良さも彼女たちの大きな魅力だ。

しかし、誰もがうらやむ外見を持つ少女時代のメンバーだが、サニーは自身の身長の低さにコンプレックスをもっていたという。

リードボーカルとしてパワフルな歌声で多くの人を魅了しているサニー。身長が155センチと言っても、他のメンバーよりも身長が低いとは少しも感じさせないほど、サニーの存在感は大きい。

しかし、コンサートやテレビで大活躍中のサニーも、普通の女の子と同じような悩みを抱えていたのだ。そんなエピソードを知り、もっとサニーが愛しくなったファンもいるに違いない。

七光りなんかじゃない！

ＳＭエンターテインメントは少女時代をはじめたくさんの歌手やタレントが所属している大手芸能事務所だ。

そんなＳＭエンターテインメントを実質的に動かしているのは韓国芸能界を代表する大物といわれるイ・スマン理事だ。

実は、サニーはイ・スマン理事の姪なのだ。イ・スマン理事の実の兄イ・スヨンの娘がサニーだ。

サニーは芸能一家に生まれた。サニーの父イ・スヨンは、かつてロックバンド滑走路のボーカルとして活動。大人気だった女性グループ・Ｓｕｇａｒの所属事務所代表をしていたこともある。また、姉はＳＭエンターテインメントでマネージャーをしている。そんな芸能一家に生まれたサニーには、周囲からの様々なプレッシャーがあった。何千倍もの競争率を突破して少女時代のメンバーになったが、コネがあったから今の少女時代に入れたのではないかと言う者もいた。

そんな声に対して「父親と叔父さんの七光りではなく、自分の実力と努力だけで認められたい。そのためにはずっと努力していきます」と語るサニーは、ただの七光りアイドルではないのだ。

本名が嫌い！

サニーは韓国語の発音に近いソニと呼ばれることも多い。韓国系アメリカ人のティファニーやジェシカは例外だが少女時代では、サニー以外のメンバーは本名で活動している。

なぜサニーは本名で活動しないのだろう？

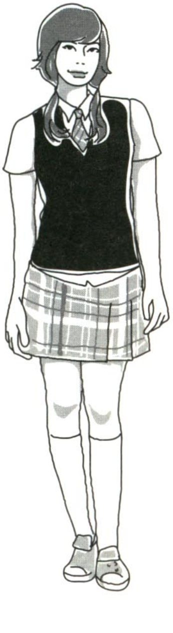
サニーの本名はイ・スンギュ。KBSのある番組の中でサニー自身が告白した。

「私の本名はイ・スンギュといいます。お祖父さんがつけてくれた名前だけど、古い感じなので本当は気に入らないんです」とサニーと名乗っている理由を打ち明けた。

また、SBSのバラエティ番組『強心臓』に出演した際は、番組製作陣が前もってサニーの中学時代の写真を準備していたのだが、サニーは他の人に見られないように写真の貼られたパネルを折って、めちゃくちゃに壊してしまったのだ。

サニーは、イ・スンギュという名前が書かれた写真を誰にも見せたくなかったのだという。他の番組でも、メンバーが冗談でサニーに本名の「スンギュ」と呼びかけると頬をふくらませて不機嫌な顔をしたことがある。

サニーはそれほど本名が嫌いなのだ。



合宿所を脱出して遊園地！　サニーの告白

ある日、少女時代のメンバーたちが合宿所を脱出して遊園地に行ったことがある。参加したのはサニーをはじめ、ジェシカ、ヒョヨン、ティファニーの４人。

４人はマスク、マフラーで完璧に変装していたはずだった。しかし、ジェットコースターに乗りたくて1時間も並んだあげく、あと少しで乗れるというところでマスクやマフラーをつけたままではダメだと言われてしまったのだ。それでもフードをかぶるなどしてごまかし、「誰も私たちに気付いていなかった」と自分たちの存在はばれていないと思っていたサニーだったが…。

翌日、その武勇伝を他のメンバーにも打ち明けたサニー。ところがメンバーに話をしている途中、メンバーの目線がＰＣのモニターに釘付けに。どうしたのかと見るとジェットコースターに乗っている４人の姿がしっかり撮影され、ネット上で公開されていたのだ。

後日、化粧をしないまま遊園地に出かけたことを知った事務所のスタッフから「今度遊びに行く時は化粧をしてから行け！」としかられたという。

休日はメンバー同士で過ごすことが多いという少女時代。遊園地以外にも、買い物や食事、居酒屋へ行くこともあるという。しっかり変装していても気づかれてしまうので今後も外出する時は、しっかり化粧をしなければならない!?

0.1秒もムダにしないサニーの努力

少女時代は全員で9人。少女時代としてだけではなく、自身のキャラクターもアピールしなければならない。メンバーの中で身長が155センチと1番低く目立たないというコンプレックスを抱えるサニーにとっては目立つことが特に重要な問題だった。サニーはどうやってその問題を解決していたのだろうか。

「テレビに出ている時は常にカメラを意識して0.1秒でもムダにしないように心がけているんです」

いつもサニーはカメラの前では気を張りつめているのだ。また、少女時代として歌う時は「たとえ他のメンバーのパートであっても自分をアピールすることを忘れません」とのこと。

ここでもサニーは一瞬たりとも気をゆるめることはないのだ。

また、「他のメンバーより自分が勝ってると思うところは？」と質問され、「カメラに誰よりも映りたい気持ちです」と打ち明けた。

サニーは少女時代に入る前の練習生の期間がメンバーの中で1番長い。その期間は実に9年。決して諦めることなく、努力に努力を重ね、サニーは自身の実力で少女時代のメンバーとしてデビューを果たしたのだ。そんなサニーだけに、いつも努力を続け、プロ意識を忘れないように心がけているのだろう。

デビューまでの期間はグループ最長の9年

韓国でも日本でも多くのファンを持つ少女時代。彼女たちは今、歌いながら素晴らしいダンスを繰り広げるパフォーマンスで人気を集めている。誰もがうらやむ人生だと思われがちだが決してそうではない。

そんな人気アイドルグループの1人として活躍中のサニーだが、そんな彼女にも苦しかった過去がある。

現在は大手芸能事務所ＳＭエンターテインメントに所属しているサニーだが、１９９８年から5年間、スターワールドに所属していたのだ。練習生として5年間活動していたが、なかなか芽が出ない。しかも、練習生として厳しいレッスンを積んだ後、2人組女性グループとしてデビューする予定だったが、所属会社の経営が悪化し、デビューすることができなかった。5年もの期間を費やし、デビューに向けて努力してきたサニーだが、道は閉ざされてしまったのだ。

しかし、サニーは諦めなかった。２００７年にＳＭエンターテインメントの公開オーディションに応募して合格、ＳＭエンターテインメントに移籍した。少女時代には1番最後の9番目に合流した。今の彼女があるのは、少女時代の中でも約9年と最も長い練習期間を乗り越えてきたからだ。

アンケートトップの常連!? その内容とは・・

音楽ポータルサイトBugsが「純真でけがれのない子供のような心を持った歌手は誰?」というテーマで実施したアンケート調査で、サニーが1位に輝いた。

サニーが出演する芸能バラエティ『青春不敗』の共演者からは、「外見が子どももみたい」で「気が強い」と言われるほど、明るくパワフルなサニー。それがこのアンケートの結果に反映したようだ。

そんなサニーだが、この他にも本人が予期しないアンケート調査で1位を獲得したこともある。その質問とは「エイプリル・フールで一番だまされそうな歌手は誰?」というもの。選ばれた理由は「子どものように純粋なので簡単にだまされてしまいそう」

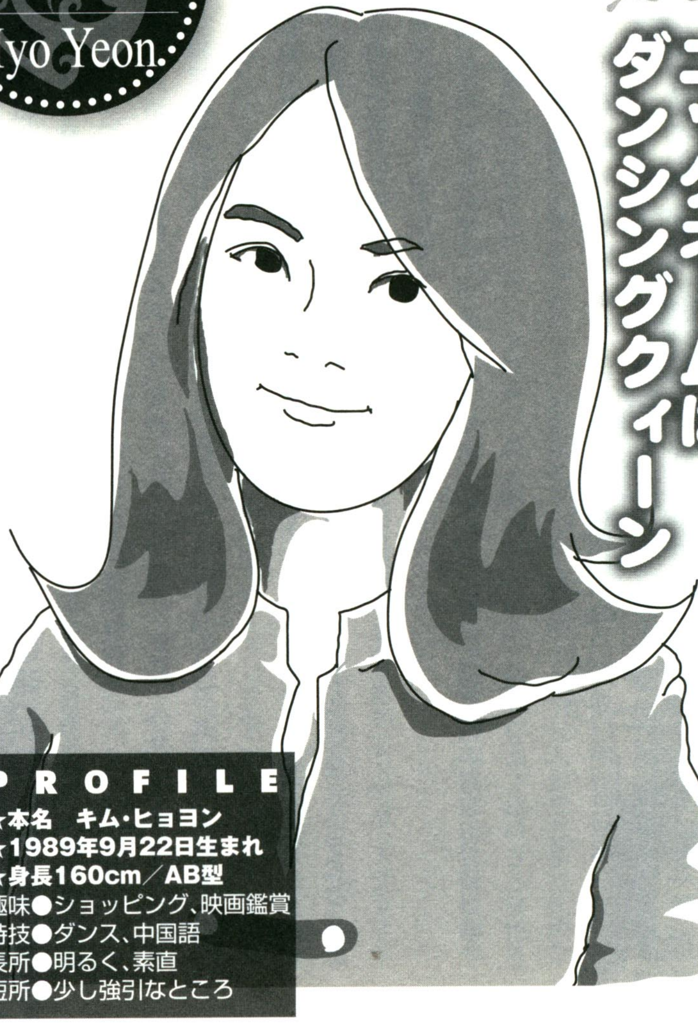
純粋で一途なサニーらしい結果だ。

そんなかわいらしいイメージのサニーだが、メンバーが怖がる蛇を軍手をしただけで手で捕まえたり、バンジージャンプでためらいなく飛んだり、みんながやりたくないことを引き受けるしっかり者の一面もある。



少女時代
ヒョヨン
Hyo Yeon

ニックネームはダンシングクィーン



PROFILE

★本名　キム・ヒョヨン
★1989年9月22日生まれ
★身長160cm／AB型
趣味●ショッピング、映画鑑賞
特技●ダンス、中国語
長所●明るく、素直
短所●少し強引なところ

男子ダンス部で猛特訓

アイドルとは思えない歌唱力と9人の息がぴったり合ったダンス、それが少女時代の特徴だ。ダンスの息がぴったり合う秘訣は毎日5分間、メンバー全員で手をつないでミーティングをすることだという。

そんな少女時代の中でもダンスになると一番張り切るのがヒョヨンだ。

デビュー前からダンスが上手いと有名だったヒョヨン。なんと女子ダンス部ではなく男子ダンス部でトレーニングをしていたという。

事務所の先輩ＢｏＡや安室奈美恵に憧れてダンスを始めたヒョヨンのダンスは、動きが正確で迫力がある。メンバーやファンから「ダンシングクィーン」と呼ばれる実力派だ。

少女時代のダンスには日本にも熱烈なファンが多い。東京でも少女時代のダンスの振り付けを踊るイベントがよく開かれている。そこでもヒョヨンのダンスへの注目度は高い。日本のファンがヒョヨンのダンスに注目していることを知り、ヒョヨンはうれしそうな顔をしたという。

ヒョヨンは、「私のダンスに期待してもらえてすごくうれしい」と語る一方、「日本ではダンスが盛んでファンの見る目も厳しいと思う。そんなファンのために、もっと色んなダンスに挑戦していきたい」と誓うのだった。

少女時代を辞めようと思っていた

ダンスといえばヒョヨン！　ダンシングクィーンと呼ばれ、少女時代のリードダンサーとして大活躍中だ。

ヒョヨンはダンスが上手く、運動神経は抜群だ。しかし、抜群なのは運動だけではない。ヒョヨンは２００４年ＳＵＰＥＲ　ＪＵＮＩＯＲのシウォンと共に中国に語学研修に行っており、中国語も得意なのだ。また、ＳＵＰＥＲ　ＪＵＮＩＯＲは少女時代の事務所の先輩で、少女時代とＳＵＰＥＲ　ＪＵＮＩＯＲはダンス対決をするなどして交流を深めている。

運動も勉強もできるヒョヨンは、裏表のない素直な性格でメンバーからも慕われている。しかし、そんな彼女にも人に言えない悩みがあった。実は、少女時代を辞めようかと悩んでいたことがあるのだ。

「これまで磨いてきたダンスの実力を試したいと思い、少女時代でデビューしました。それでも、色々迷っていた時期があるんです。少女時代を辞めて留学しようかと考えたこともあるんです。でも、もう吹っ切れました。少女時代のメンバーとして頑張っていくって決めたんです」

練習生の時代は男子と一緒に練習をし、さっぱりした性格で誰からも好かれるヒョヨン。そんなヒョヨンにも、人知れず悩んでいた時代があったのだ。

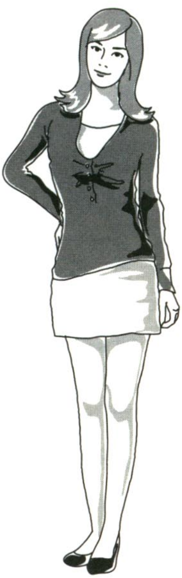
実はオーディションに落ちていた!?

ヒョヨンがこの世界に入ったきっかけは、母親の影響だ。実はヒョヨンの母は1996年のデビューから2001年の解散まで韓国で圧倒的な人気を誇った、男性アイドルグループH・O・T・のファンだった。アイドル好きの母親が娘に「アイドルを目指してみなさい」と背中を押したのだ。その後ヒョヨンは現所属事務所SMエンターテインメントのオーディションを受け合格、6年1ヵ月という練習生期間を経て少女時代の4人目のメンバーとなった。

しかし、ヒョヨンが少女時代としてデビューするまでの道は平坦ではなかった。

まず最初はオーディションの書類審査に落ちてしまったのだ。しかし、落選後のプロフィールを見ていたSMエンターテインメントで名マネージャーとして知られていたキム・スヒョン氏が一枚の写真に目を留めた。「外見は人並みだったが、強烈なインパクトを放っていた」。

キム氏の目に留まったのは当時小学5年生だったヒョヨンの写真だった。彼の目に留まったことによってヒョヨンのアイドルへの道が開かれたのだ。



運動神経抜群！　100メートル走で1位！

2010年1月24日にKBSで放送されたバラエティ番組『出発ドリームチーム-ドリームガールズ最強戦』に少女時代が出演、最高の名勝負を繰り広げた。メンバーは跳び箱、高飛びを始め、ジグザグ競走、旗取りなど様々な種目に挑戦し、普段見ることのできないスポーツに夢中になっている姿を見せてくれた。

その中で100メートル競走に出場したヒョヨンは、出演者中で唯一17秒台の記録を出して1位に輝いた。1位を獲得した後ヒョヨンは、「この番組に出演するという話をしたらママが漢方を作ってくれた。漢方を飲んだ効果が出ました」と母親に感謝した。

また、ヒョヨンに負けじと頑張ったKARAのニコルとは、ジグザグ競走の決勝でぶつかり、2人は名勝負を見せた。

結局ヒョヨンがわずかの差でニコルに勝利し、総合得点で首位を守った。ニコルは「悔しいけど、ヒョヨンさんはやはり凄い！」とヒョヨンの運動神経に感心した。

そして、総合順位でトップに立ち金メダルを獲得したのは、運動神経抜群のヒョヨン。笑顔を見せながら終始元気いっぱいだった。

金メダルを手に「この喜びは少女時代と今日一緒に勝負したドリームガールズチームと一緒に味わいたい」と大喜びしたヒョヨンだった。

デビュー直後は睡眠時間2〜3時間

明るくパワフルなダンスが持ち味のヒョヨンが寝不足に悩まされていたことがある。

2007年にシングル「また巡り逢えた世界」がリリースされ大ヒットした。アルバムの収録やコンサート、テレビ出演とひっぱりだこの少女時代。そんな中ヒョヨンは、「他の歌手たちが毎日大変だ、大変だと言っていたけどよく分からなかった。でも、今はその意味が少しわかるような気がする」ととまどい半分につぶやいた。

そして「1番大変なのは睡眠時間を十分にとれないこと」とこのところずっと寝不足だったことを告白。なんと、毎日平均2時間から3時間の睡眠時間しかとれないと言うのだ。いつも元気なヒョヨンが寝不足になってしまうほど、デビュー直後の少女時代は忙しかったのだ。

近年、韓国ではアイドルが過密スケジュールにより体調を崩したり、倒れたりすることが増えているという。今後の少女時代の活躍により、ヒョヨンがますます寝不足にならないか心配だ…。



決定権はヒョヨンにある？

メンバー全員合わせて9人という大人数の少女時代。細かい点で意見が合わない時もしょっちゅうある。そんな時のために様々な決め事があるのだ。

メンバー全員で共同生活を送っているから、朝のシャワー室は大混乱。シャワーの順番は「じゃんけん」で決定する。「毎朝の食事は1番早く起きたメンバーが作り、最後まで寝ていたメンバーが後片付け」、「下着には必ず名前の頭文字を書く」というルールの他に、交際相手がかぶらないように「好きな人ができたら隠さない」というルールもあるようだ。

その他の決め事は多数決。9人いるので5票獲得した人の意見が採用される。「1番票を集めるのが上手いのはヒョヨン」と断言するのはユナだ。

ヒョヨンは食事の時、何を食べるのかでメンバーの意見が分かれると「私はこれ！　みんなもこれにしなよ」と積極的に発言。また、ダンスや歌の練習の開始時間も「私は○時がいいから、みんなも○時集合ね！」と少し強引に決める。

多数決をとるというより、ほとんどヒョヨンが仕切っているように思えるのは気のせいだろうか。

しかし、そんな強気な意見でみんなを引っ張るヒョヨンに対し、メンバーは「わかりました」と素直に従っているそうだ。

チャレンジ精神旺盛！

ダンシングクィーンと呼ばれるヒョヨンは、パワフルなイメージがあるが実は優しい性格の持ち主。バラエティ番組などでは率先して自分から話す方ではないが、メンバーにとってお姉さん的存在なのだという。

そんな優しい性格のヒョヨンだが、仕事に対しては意欲的だ。

「日本ではできるだけ長く活動したいです」とインタビューでユリは語っていたが、ヒョヨンもまったく同じ意見。日本語も、レッスンを受けたり、日本語の音楽やドラマを観ながらみんなで一生懸命に勉強中だという。

また、韓国でデビューをしてから、少女時代として様々なバラエティ番組に出演してきた。これからの日本での活動内容については、「日本のバラエティ番組は面白いと聞いているので出演してみたい」と日本でも韓国以上に様々なジャンルに挑戦するつもりだ。

また、レコード大賞や紅白歌合戦への出場についても「正直、欲はあります」とまったく考えていないわけではないことを、あるインタビューで告白している。

「これからやってみたいという目標がたくさん出てくるかもしれない。今は色んなことにチャレンジしていきたい」と語るヒョヨンは元気いっぱいだ。そんなヒョヨンは日本でも様々な表情を見せてくれるに違いない。

少女時代
ティファニー
Tiffany



メンバーも認める人気者

PROFILE
★本名　ステファニー・ファン
★1989年8月1日生まれ
★身長162.5cm／O型
趣味●映画鑑賞、音楽鑑賞
学歴●韓国ケント外国人学校
特技●英語、フルート、歌
長所●優しい、がんばり屋
短所●韓国語が苦手

声帯結節に足の負傷。ついてません！

２００９年、ティファニーは喉の異常を訴え、ＭＣを担当している音楽番組『Ｓｈｏｗ！音楽中心』の生放送を休んだ。

所属事務所のＳＭエンターテインメントは、「１週間ほど前から治療を受けていたが完全に治らなかったので、今回だけは休養をとることにした。次回から通常通りＭＣに復帰する」と発表した。

その後、病名は声帯結節だと判明する。声帯結節は声を多く使う職業、とくに歌手に起こりやすい。ティファニーもハードワークがたたり、喉を痛めてしまったのだ。その後治療を終えたティファニーは無事番組に復帰した。

しかしティファニーの災難はこれだけではなかった。百想芸術大賞の授賞式で、歌を歌っている最中に、足を負傷してしまったのだ。ティファニーは翌日の『Ｓｈｏｗ！音楽中心』の収録にギプスをして現れた。ファンが心配する中、所属事務所は、「骨に異常はない。大事をとってギプスをしただけ」と説明した。声帯結節に足の負傷と、ティファニーに立て続けに災難が降り掛かり、ファンを心配させた。

収録を終えたティファニーは、ギプスをした痛々しい姿のまま、仕事のため日本へ飛び立っていった。

少女時代はケーキやデザート

少女時代は9人それぞれに個性があり、グループで活動する以外にもそれぞれが歌やラジオ、ダンスと様々な場で活躍している。

中でもティファニーの活躍ぶりは目立つ。ティファニーは持ち前の歌声を活かしたソロ活動を含め、2007年には『少年少女歌謡白書』、2009年からは『Show! 音楽中心』でMCを務めている。

そしてあるインタビューでティファニーは少女時代についてこう語ったことがある。「少女時代のメンバーはフルーツやお菓子みたいだなと思います。ひとつひとつ味も形も違うんです。それぞれ個人で活躍することもあるので、メンバーがフルーツだとしたら個別に食べてもおいしいと思います」。

個人で活躍するメンバーをフルーツと表現したティファニー。

「そんなメンバーを材料にケーキやデザートを作ったら少女時代になるんです」と全員集まると大きな力を発揮すると笑う。

また、「そんなケーキのような少女時代の甘い魅力を、これからもファンの方々に見せていきたいと思っています」とこれから先もファンに変わらぬパフォーマンスを提供していくことを誓った。

英語は得意だが韓国語は苦手？

韓国系アメリカ人のティファニーとジェシカは英語が得意だ。

「英語を上手に話すティファニーがうらやましい」とスヨンはしょっちゅう漏らしているという。スヨンがうらやむ英語力を持つティファニーだが、逆に韓国語が上手く話せずメンバーにからかわれるという。

同じ韓国系アメリカ人のジェシカは、12歳から韓国語の勉強を開始。一方のティファニーが韓国語の勉強を始めたのは高校生になってからだ。

KBSのバラエティ番組『少女時代のHello Baby』でも、ティファニーの上手とはいえない韓国語をメンバーがからかったりすることがよくある。しかし、ティファニーは必死で韓国語を勉強し、今は最初の頃よりは韓国語が上手になった。頑張り屋さんなのだ。

日本でもデビューした少女時代。今はメンバー全員で日本語の勉強をしている。ティファニーは韓国語だけでなく、日本語も勉強しなければならず、ますます忙しくなりそうだ。



メンバーも認めるティファニーの魅力

誰もがうらやむスタイルでファンを魅了する少女時代。特に、すらりと伸びた美脚で繰り広げるダンスは圧巻だ。

そして、あるコミュニティサイトが実施した「一番魅力的な太ももをもつ女性芸能人は誰？」というアンケートで1位に輝いたのはティファニーだった。11657票中4755票を集め、圧倒的な支持を得た。

「ティファニーは可愛い顔とセクシーなボディで男性ファンの心をしっかりとつかんでいる」と投票したファンの多くがコメントしている。

また、スタイル抜群の少女時代のメンバーも「男性芸能人に1番人気があるのはティファニーだ」と彼女の魅力を認めている。

「ティファニーはメンバーの中で唯一、男性芸能人からサインを頼まれたことがあるから」というのが、その理由。「チョン・ジョンミョンさんからサインの依頼がきたんです。私も最初は信じられなかった」とティファニー自身もその事実を認めている。

ちなみにティファニーがサインを求められたのは、実はチョン・ジョンミョンだけではない。同じ所属事務所のチョ・インソンにもサインを頼まれたことがあるのだ。モテモテNo.1はティファニーで決まり!?

リードボーカルはソロでも大活躍

ティファニーはアメリカのロサンゼルス生まれの韓国系アメリカ人だ。

2004年の10月、ロサンゼルスで行われた韓国人祭りの舞台で歌っているところをSMエンターテイメントのスタッフが偶然目撃し、スカウトされ、この世界に飛び込むことになった。

その後、歌の上手さが認められてスカウトされただけあって、ティファニーはソロでも活躍している。

SBSで放送されたドラマ『幻の女王 チャミョンゴ』のオリジナル・サウンドトラックに参加してソロ曲「私一人で」を歌った。ドラマはヒットしたとはいえなかったが、ティファニーの歌は注目された。

また、「少女、愛に出会う」でK・Wiーーとデュエットをしたこともある。その時は、「デビュー以来初めて少女時代のメンバー以外と歌を歌うことになって不安もありますが、K・Wiーー先輩は歌が上手なので一緒にデュエットをすることになってとてもうれしいです」と喜んだ。また、デュエット曲については、「たくさんの方から長く愛される歌になって欲しいです」と胸を張った。少女時代は一人ひとりがとても歌が上手い。その中でリードボーカルを務めるティファニーの実力は、メンバーも認めている。

勉強法は『となりのトトロ』

日本でデビューした後、彼女たちを悩ませたのは言葉の壁だ。「言葉がもっと通じるようになれば自信もつくし、自分たちをもっとアピールできる」ということで、現在、メンバー全員で日本語の勉強中だ。

米国籍をもつティファニーは英語が上手いが、日本についてはまったく知識がなかった。しかし、スヨンのおかげで日本について興味が湧いてきたのだという。「スヨンが日本のことをたくさん教えてくれるんです。それをきっかけに日本に興味を持てました」と、日本語が上手なスヨンをティファニーは尊敬しているのだ。

「スヨンは日本語が上手。それだけじゃなく、人を笑わせるトーク力も抜群なんです。私もスヨンのような面白い人になりたい」

そんなティファニーの日本語の勉強法は『となりのトトロ』。宮崎駿監督の作品が大好きなティファニーは、「アニメで勉強中です。まだまだ初心者ですけどアニメの中のセリフも少しずつわかるようになってきました。何度もくり返して観ているんです」と言う。スタジオジブリの作品で日本語を勉強しているのだ。

近い将来、日本だけでなく英語圏の国にも進出するだろう少女時代。英語はペラペラなティファニーは勉強しなくてすみそうだ。

ティファニーの弱点は子供？

少女時代が突然、母親になった？

大学生、共働き、芸能人夫婦や多国籍家族など、特別な事情がある家庭を少女時代のメンバーたちが直接訪問し、丸1日、子供の面倒をみるという育児体験バラエティ番組『少女時代のＨｅｌｌｏ Ｂａｂｙ』に少女時代のメンバーはレギュラーで出演している。

この番組では毎回メンバーが母親役として子供とどう接するのか試されるが、ティファニーだけはがどうも様子が変だ。他のメンバーは子供たちと楽しみながらおもちゃで遊んだりしているのだが、ティファニーはメンバーから離れていることが多い。

実はティファニーは子供が苦手だったのだ。明るくてしっかり者のティファニー、メンバーの世話は得意だが、子供の世話は上手くなかったのだ。



少女時代の優しい先輩と仲のいい後輩

少女時代の所属事務所SMエンターテインメントは、韓国最大手の芸能プロダクションで様々なグループやミュージシャンが在籍している。

少女時代にとって、BoAや東方神起やSUPER JUNIORは先輩に当たる。その中でも、東方神起は練習生時代からことあるごとに励ましてくれた大切な先輩で、リーダーのユンホは少女時代のメンバー全員にチームワークの大切さを教えてくれたという。デビュー後も先輩として東方神起を慕っていた少女時代は、ユンホの主演ドラマ『No Limit〜地面にヘディング』で挿入歌を担当。テヨンは「歌でユンホ先輩のドラマを輝かせる手助けができれば」と大喜びした。

また、後輩にはジェシカの妹のクリスタルが在籍するf(x)や5人組の男性グループSHINeeがいる。SHINeeは少女時代のコンサートにゲスト出演するほど親しい関係だ。その中でも同い年のジェシカとSHINeeのオニュは特に仲が良く、ミニアルバム『Genie—願いを言ってみて』にはジェシカとオニュのデュエット曲「1年後」が収録されている。2人とも歌唱力はグループ内でトップクラス。絶妙のハーモニーを聞かせてくれる。オニュはジェシカのことを人前では「ジェシカ先輩」と呼んでいる。しかし、そこは仲の良い同い年。プライベートでは敬語を使わずに話をしているという。

第3章

少女時代

少女時代感動物語



華々しくデビューした9人の少女

SMエンターテインメントの秘蔵っ子として、少女時代は2007年8月2日に鮮烈なデビューを果たした。

デビュー前日に公開されたシングル「また巡り逢えた世界」のミュージックビデオは連日テレビで流れ、彼女たち自身も各局を飛び回った。さらに様々な音楽イベントに出演したり、プロ野球の斗山ベアーズ対KIAタイガーズの試合でユリとスヨンが始球式を行うなど、精力的に活動した。

その甲斐もあって、デビュー曲「また巡り逢えた世界」は8月の5週（8月27日〜9月2日）にはテレビ、ラジオなどで、合計247回もオンエアされ、週間総合チャートで堂々の1位を飾った。また、あるポータルサイトが集計した韓国内の歌手の検索順位では7日連続で1位になるなど、若者を中心に関心は一気に高まった。

注目度だけではない。彼女たちの「また巡り逢えた世界」のCDは8月の1ヵ月間で、新人としては最高の売り上げを記録し、韓国最大のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サー



ビス)『サイワールド』が主催するデジタルミュージックアワードの8月度の新人賞を受賞した。

デビューから2ヵ月経った10月、音楽チャンネルMネットの『Mカウントダウン』100回特集では、とうとう「また巡り逢えた世界」がトップに立った。彼女たちにとってはこれが初めての音楽番組での1位だった。ちなみにこの日、メンバーは合宿所に集まり、スタッフたちと焼肉パーティーを開き、喜びを分かち合ったという。

11月にはアルバム『少女時代』をリリースした。タイトル曲の「少女時代」はイ・スンチョルの名曲のリメイクだ。KBS2テレビ『ミュージックバンク』でイ・スンチョルと共演するなど、少女時代はさらに知名度を上げ、『少女時代』は11月3週(11月12日~11月18日)の週間総合チャートで1位を獲得した。

彼女たちのライバルはJYPエンターテインメント所属の人気ガールズグループ、ワンダーガールズだった。「また巡り逢えた世界」の"こんにちはダンス"で時の人となった少女時代と、「Tell Me」の"くねくねダンス"で爆発的な人気を得たワンダーガールズは、同じガールズグループとして比較されるようになった。そして少女時代が「少女時代」で"人形ダンス"を、ワンダーガールズが「このバカ」で"ファン・ジニ ダンス"を披露した。少女時代はワンダーガールズと並んで、ガールズグループ界を牽引する存在になったのだ。

チャリティー活動への参加

彼女たちが国民に愛されている理由のひとつに、積極的にチャリティー活動に参加していることがあげられる。

少女時代は、2007年12月、恵まれない少年少女だけで暮らす世帯に、1000万ウォン(約73万円)相当の制服を贈ることを発表した。自分たちがモデルを務めるエリート学生服と交渉し、寄付してもらうことになったのだ。

同じく12月、少女時代はキム・ジュンソ、キム・ジャンフン、SUPER JUNIORなど14チームと組み、アルバム『光』を発表。このアルバムの収益金は、恵まれない人々のために全額寄付された。

また、少女時代とファミリーマートがコラボレーションして商品化された"少女時代おむすび"は、売上金の一部を社会福祉共同募金会に寄付をすることになっていた。そして全国3800ヵ所のファミリーマートで、1ヵ月間に200万個が販売され、ミョンジョン児童福祉センターに1000万ウォン(約73万円)が寄付された。「"少女時代おむすび"を通して、

このように意味深いことに参加できてうれしい」と語るメンバーに、ファンは拍手を送った。

２００８年４月には、２００８世界青少年ボランティア週間記念イベントに参加し、約50人の青少年とともにボランティア活動を行った。

ハッピーエネルギーキャンペーンと題し、エチオピアの生活用水の問題改善のために少女時代が募金活動を始めたのは、２００９年６月のことだ。「エチオピアが朝鮮戦争当時、助けてくれたように、今度は私たちがエチオピアのために力になりたい」というのが参加の動機だった。韓国内ではこのキャンペーンをきっかけに、積極的にチャリティーに参加する若者が増えたといわれている。

この年の12月、売上金の寄付を目的としたチャリティーオークションに、メンバーが「Genie－願いを言ってみて」のミュージックビデオで着た衣裳を出品した。ユナの直筆サイン入りのスカートは２０１万ウォン（約14万６０００円）、ティファニーのTシャツが１０１万ウォン（約７万３０００円）、ソヒョンの半ズボンと水泳のベルトが94万５０００ウォン（約６万９０００円）と45万６０００ウォン（約３万３０００円）で落札された。

少女時代がこれだけチャリティー活動に力を入れると、自然に彼女たちのファンもボランティア活動に目覚めてくる。２０１０年には、ティファニーの誕生日の８月１日、少女時代のファンのボランティア団体が、ティファニー名義で多額の寄付を行っている。

少女時代の交遊録

SMエンターテインメントの練習生出身である少女時代は、同じように練習生時代を経てデビューした仲間や先輩たちからかわいがられている。

デビューして間もない頃、練習生時代を一緒に過ごしてきた東方神起のユンホに、「チームワークを大事にすること。問題が発生したら、よく話し合うことだ」とアドバイスされたという。また、メンバーが姉と慕うBoAからは「緊張しないように」と言葉をかけられたという。

その頃女性SUPER JUNIORと呼ばれていた少女時代は、本家のSUPER JUNIORからも、アドバイスをもらっている。ステージやテレビのノウハウだけでなく、メンバー同士が思いやりの心を持つこと、お互いに対話することがいかに重要かということは、SUPER JUNIORから学んだのだそうだ。

ガールズグループのワンダーガールズとは、何かと縁がある。デビューからわずか2ヵ月後には、1万人以上の観客の前で共演したこともある。その後も事あるごとに比較され、2組はライバルという構図ができあがった。



では一体、ワンダーガールズは少女時代のことをどう思っているのか？

2008年6月、ワンダーガールズは『ザ・スターショー』の収録で、司会者のパク・スホンに「少女時代をどう思うか」と質問された。彼女たちは「少女時代はいいライバル。少女時代がニュースになれば、ワンダーガールズの話題にもなるので宣伝になっていると思います」と微笑んだ。中でもソンミは少女時代のことが大好きで、「少女時代はとても爽やかで、愛らしい。特にテヨンお姉さんが好き」と打ち明けた。少女時代はライバルにも愛されているのである。

また、少女時代のファンを公言する芸能人も少なくない。

『朱蒙チュモン』で王子テソ役を熱演したキム・スンスは、MBCの人気バラエティ番組『遊びにおいでよ』で、「少女時代が活動を休止しているので憂鬱」と語った。また、映画『雲から抜けた月のように』や『影の殺人』などで知られる俳優のファン・ジョンミンは、2009年3月、SBSの音楽番組『キム・ジョンウンのチョコレート』で司会のキム・ジョンウンに「女性の芸能人では誰に会ってみたいですか」と聞かれると、「少女時代。特にユナさんです」と答えている。入隊中のアーティスト、キム・ジョンフンは、100日休暇（入隊して100日経つともらえる休暇）直前に「軍隊に入ってから、少女時代のテヨンが好きになった」と友人に告白したことが報道された。

少女時代はこうした多くのアーティストの応援を受けながら、一歩一歩これまでの道のりを歩んできたのだ。

世界へ飛び出した少女時代

2007年にデビューした少女時代は、タイでもたちまち人気者になった。それを象徴するのが動画共有サイトにアップされた映像だ。動画サイトには少女時代のデビュー曲「また巡り会えた世界」のダンスを完全に再現しているタイの少女たちの動画がアップされていた。

タイではすでに東方神起やSUPER JUNIORなどが活躍したこともあり、少女時代は韓国を代表するガールズグループとして人気者になり、彼女たちのパフォーマンスの真似をするファンが続出したのだ。

翌年の4月、タイでファーストアルバム『少女時代』をリリース。6月には『少女時代』の収録曲「Kissing you」が、タイの音楽チャンネルMTVのヒットチャートで3週連続(集計期間5月10日～5月30日)で1位となった。この時、まだ彼女たちは、タイでコンサートを開いたことすらなかった。

2008年9月には、SMタウンライブ2008アジアツアーが開催された。SMタウン

ライブは、SMエンターテインメント所属のアーティストが勢ぞろいする音楽イベントで、この年に初めて海外で公演を行っている。2008年はソウル、上海、バンコクなどで公演があり、少女時代はもちろん、東方神起、SUPER JUNIOR、SHINeeなどが出演した。

2009年は東方神起の解散騒動が巻き起こったため、SMタウンライブは無期限の延期(事実上の中止)となったが、2010年はその間に、ため込んだパワーを発散するかのようにSMタウンライブ2010ワールドツアーが行われた。ソウルを皮切りに、ロサンゼルスや、上海、東京などアジア主要都市で公演が行われ、大成功を収めた。KANGTA、BoA、U-Know、MAX、SUPER JUNIOR、SHINee、f(x)、TRAXらSMエンターテインメントの所属アーティストたちとともに、少女時代はアジアのファンの前で躍動した。

2010年6月、少女時代はついに日本に進出することを発表した。「私たちは9月に日本でデビューシングルを発売します。その後は日本と韓国を行き来しながら活動する予定です」と彼女たちは説明した。

デビュー当初から、「韓国で人気が出たら、次はアジアや全世界に出ていきたい。ダンスや歌はもちろん、演技や司会、DJなど、いろいろな面で認められたい」と目標を掲げていた少女時代。彼女たちの夢が実現しつつある。

少女たちを成長させたこと

少女時代は、数々のステージに立ち、そのステージに立つことで成長してきた。このコーナーではそんな彼女たちのステージを追ってみよう。

最初に話題となったステージは、デビューから4ヵ月後の2007年11月に、ワンダーガールズと共演したイベントだ。フェデラーとサンプラスという新旧のテニスの皇帝が対決したヒュンデカードスーパーマッチに先立って開かれた特別招待公演で、1万人以上のファンを熱狂させた。この共演は「ワンダーガールズVS少女時代のスーパーマッチ」としてK-POP史上のエポックメイキングな出来事になっている。

2008年に入ると、愛の希望コンサート、ホワイトラブコンサート、ドリームコンサート2008など、大型ライブに次々と登場した。8月から始まったSMタウンライブ2008では、地元ソウルを皮切りに、上海やバンコクなど海外でもステージをこなした。

10月に行われたアジアソングフェスティバル2008では、台湾の飛輪海(フェイルンハイ)や日本のBerryz工房など他国のアーティストたちと共演し、視野を広げた。この頃

から彼女たちはより一層、世界を意識するようになったという。
　グループとしての音楽活動をしばらく休止していた2009年は、メンバーが揃って大きな舞台に立つことはなかったが、歌や女優、司会など、それぞれが得意な分野で活躍し、力を蓄えた。
　2010年8月、少女時代はDVD『少女時代到来～日本訪問記念盤～New Beginning of Girl's Generation』で日本に進出。有明コロシアムには約2万2000人ものファンが押し寄せた。
　そして彼女たちは息をつく暇もなく、SMタウンライブ2010ワールドツアーの公演に参加するためアメリカへ飛び立った。ロサンゼルス公演では約1万5000人もの前で、歌とダンスを披露した。70％以上が韓国人以外の観客というプレッシャーがかかるこのステージで、最も大きな拍手を受けたのは、もちろん彼女たちだった。



明かされた涙のエピソード

幼い頃から実力やルックスを買われ、練習生時代にはすでに親元を離れて合宿所で生活をしていた少女時代のメンバー。現在も合宿暮らしを続けているという彼女たちは、家族が恋しくなることはないのだろうか?

それは2009年、SBSの人気音楽番組『キム・ジョンウンのチョコレート』にメンバー全員で出演した時のことだった。

番組の冒頭で歌った「Genie-願いを言ってみて」にかけて、トークコーナーでは観覧者がメンバーにお願いをする企画が行われた。そして依頼主として現れたのは仮面で顔を隠した女性。「私の娘もあなたたちと同じくらいの年齢です。しかし愛想が悪いので、どうか娘のお手本になってください」という彼女のお願いに、サニーとソヒョンが笑顔で応えた。

その女性はもうひとつのお願いとして、自分の娘に手紙を書いたので聞いてほしいと申し出る。司会のキム・ジョンウンが手紙の代読を始めた時、テヨンがとっさに、それに割って入った。

「私たちの間では、"お母さん"という言葉は禁止になっています。どうか読むのを止めてください」

幼い頃から合宿生活をしている彼女たちは、普段から家族や母親について話すことを避けてきたのだという。寂しい気持ち、悲しい気持ちにならないための、少女時代のルールだった。また、代読を止めたのは母親のいないティファニーのことをテヨンが気遣ってのことだったのかもしれない。

しかし、キム・ジョンウンは手紙を読み続けた。そして手紙が終わると同時に、仮面で顔を隠した依頼主は、今にも泣き出しそうなソヒョンを強く抱きしめた。

そう、依頼主の正体は、ソヒョンのお母さんだったのだ。ソヒョンは自分の母親とわかると、泣きながら母親に飛びついた。メンバーも全員その場で泣き崩れ、お互いに抱きしめあった。

最後にソヒョンのお母さんは「たったひとりの私の娘を、いつも妹のように可愛がってくれてありがとう。私はあなたたち全員を娘だと思って応援しています」とメンバーにお礼を言った。

普段は明るく笑顔を絶やさない少女時代の、遠く離れて暮らす家族への想いや、仲間を大切にする気持ちが垣間見えた瞬間だった。

少女時代の魅力とは?

女性ダンスグループのトップに立つ少女時代。ご存知の通り、彼女たちの活躍は歌とダンスだけにとどまらない。持ち前の美しさと明るいキャラで、CMのイメージキャラクターに選ばれたり、イベントのPRを任されたりと、活躍の場はどんどん広がっている。ここではデビューしてからの少女時代が、グループとしてどのような活動を経て、国民的アイドルになったのかをチェックしてみよう。

デビューして2ヵ月後の2007年11月、少女時代はさっそくユニークなヒットを飛ばした。ファミリーマートと共同開発した"少女時代おむすび"が、売り上げの一部が寄付されるということで注目を集め、全国3800ヵ所のファミリーマートで合計200万個も売り上げたのだ。

2008年3月、ユギョンテクノロジーの携帯用マルチメディアプレイヤーブランドVーiーiーvのイメージキャラクターになり話題となった。テレビCMや街頭ポスターはもちろん、バスのラッピング広告などで、韓国の街中が少女時代に染まった。

このＣＭで彼女たちの可愛らしいルックスが若者たちに改めて評価され、それを受けて写真集が発売されることになった。写真集『放課後5：00ＰＭ』は3冊構成になっており、テヨンとヒョヨンとソヒョンが登場する『どきどきデート』を皮切りに、ジェシカとユリとスヨンの『大人気スクールガールズ』、ユナとサニーとティファニーの『我が家に遊びに来て』が続けて発売された。

同年、日本でも知名度が高いオンラインゲーム『マビノギ』のイメージキャラクターに抜擢される。8月には、ティファニーとジェシカとソヒョンが歌ったゲームの主題歌「Ｍａｂｉｎｏｇｉ（Ｉｔ’ｓ Ｆａｎｔａｓｔｉｃ！）」が、ソリハダ、メロン、ジュークオンなど音楽専門ポータルサイトを通じて公開された。その結果、ネチズンと呼ばれるインターネット愛好家たちが彼女たちのファンになった。

また２００９年7月には、メンバー全員でファッション誌『ＣｅＣｉ』の表紙を飾った。女性グループのメンバー全員がファッション誌の表紙を飾るのは韓国では初めてのことで、ファッション界でも注目されていることを立証したのだ。

２００９年12月、少女時代はＭＢＣ芸能大賞で演技大賞を獲得。歌ではなく、テレビドラマやラジオなどでの活躍が認められたのだ。

２００９年から２０１０年にかけては、ＳＵＰＥＲ ＪＵＮＩＯＲとともにソウルの観光大使として大活躍。世界中から韓国を訪れる観光客に大好評だった。

少女時代のあしあと

年	月	出来事
2007年	8月	シングル「また巡り逢えた世界」でデビュー
	11月	ファーストアルバム『少女時代』発売
	12月	第21回ゴールデンディスク賞新人賞と人気賞を受賞
2008年	2月	J-POPのカバーアルバム『スイートメモリー・ウイズ・少女時代』発売
	2月	写真集『放課後5：00PM』シリーズ第1弾『どきどきデート』が発売
	3月	リパッケージアルバム『Baby Baby』発売
	3月	携帯用マルチナビゲーションブランドVi-livが少女時代と初のモデル契約を結ぶ
	3月	写真集『放課後5：00PM』シリーズ第2弾『人気一番スクールガールズ』を発売
	4月	ジェシカ、ティファニー、ソヒョンの3人が「ルー

もっと知りたい！思い出ピックアップ

少女たちの時代がやって来た

２００７年８月２日に発売された少女時代のデビューシングル「また巡り逢えた世界」は27日から9月2日にかけてテレビ、ラジオなどで合計２４７回もオンエアされ、週間総合チャート1位に。

彼女たちの趣味が満載 J-POPカバーアルバム

メンバーが好きなJ-POPのカバーアルバム『スイートメモリー・ウイズ・少女時代』。韓国でも人気の浜崎あゆみやYUI、中島美嘉や日本でも活躍しているBoA、東方神起の歌などを中心にメンバー9人が好きなJ-POPを各2曲ずつ、全18曲をカバー。



ムメイト」という音楽プロジェクトで『オッパ ナッパ』という曲を発表

4月 「少女の日」制定宣言式に出席

4月 写真集『放課後5:00PM』シリーズ第3弾『我家に遊びに来て』を発売

4月 イタリアのスポーツブランドellesseの広告モデルになる

7月 オンラインゲーム会社ネクソン専属モデルになる

12月 ユナがKBS演技大賞の女性新人賞とネチズン賞受賞

12月 テヨンが「聞こえますか」でゴールデンディスク賞人気賞を受賞

2009年

1月 ファーストミニアルバム『Gee』発売

2月 ソヒョンが女性歌手チュ・ヒョンミと共に「チャラジャチャ」を発表

2月 サニーが音楽番組『The M』のMCになる

世界が認めるスタイリッシュガール

イタリアのエレガントでスタイリッシュな"大人のスポーツスタイル"を提案しているスポーツブランドellesseの広告モデルに。関係者は「明るくてさわやかなイメージが、ellesseの高級なスポーツライフスタイルとマッチした」とコメント。

前代未聞！9週連続1位を達成

KBSの音楽番組『ミュージックバンク』のデジタル音楽チャートと視聴者チャート、音盤チャート、放送回数チャートを全て合わせた「K-チャート」で、「Gee」が2009年1月第3週から3月第2週までの9週連続1位という前人未踏の新記録を達成した。

2009年

3月	タイで開催されたパタヤ国際ミュージックフェスティバルに参加
3月	「Gee」がK-チャートで9週連続1位を達成
4月	ユリとティファニーが音楽番組『SHOW!音楽中心』のMCになる
5月	スヨンがクイズ番組『幻想の相棒』のMCになる
6月	セカンドミニアルバム『Genie-願いを言ってみて』発売
7月	女性グループとして初めてファッション誌『CeCi』の表紙を飾る
9月	ジェシカがミュージカル『キューティ・ブロンド』のヒロインになる
10月	ソウルで開かれたドリームコンサート2009に参加
12月	『2009メロンミュージックアワード』で合計6つもの賞を受賞
12月	

女性グループでは最大規模ソウルで単独コンサートを開催!

2009年12月20日ソウルで行われた初の単独コンサート「ザ・ファーストアジアツアーコンサート-イントゥ・ザ・ニューワールド」で1万3000人の観客を集めた。

上海、バンコクなどを回る彼女たち初のアジアツアーがソウルからスタート。

2ndアルバム『Oh!』発売日当日から絶好調

2010年1月28日に発売されたセカンドアルバム『Oh!』の予約注文数がオンラインで5万9500枚、オフラインで9万390枚、合計で14万9890枚にもなった。ファーストアルバム『少女時代』から3枚連続で10万枚を突破したが、このアルバムでその記録をさらに塗り替えた。



で女性グループ最大級の単独コンサートを開催

2010年

1月	セカンドアルバム『Oh!』発売
3月	セカンドリパッケージアルバム『Run Devil Run』発売
4月	上海を訪問。上海大舞台でコンサートを開催
8月	日本でDVD『少女時代到来～来日記念盤～』発売
8月	有明コロシアムで日本で初ライブ
9月	日本で初のシングル、日本語版の「GENIE」をリリース
10月	アジアツアーで台湾へ。台北アリーナでコンサート
10月	日本で、セカンドシングル「Gee」を発売

ついに来た！日本中が少女時代に注目

2010年8月11日にヒット曲7曲のミュージックビデオなどを収録したDVD『少女時代到来～来日記念盤～New Beginning of Girls' Generation』を日本でリリース。23日付のオリコンDVDランキングで4位となり、韓国女性グループとして史上初の総合TOP5入りを達成。

日本デビュー曲「GENIE」オリコン歴代記録を更新

2010年9月8日に、リリースされたシングル「GENIE」で日本でCDデビュー。20日付のオリコンシングルランキングで4位を獲得。ソロアーティストも含む海外女性アーティストのデビューシングルとしては歴代最高の初登場順位を記録した。

舞台衣裳からプライベートまで
少女時代のファッション＆メイクの秘密

おしゃれ時代

少女時代が人形に!?

少女時代はデビューした2007年の11月にアルバム『少女時代』をリリースしている。そのアルバムのジャケットが当時大きな話題を呼んだ。

ジャケットには9体のマネキン人形が並んでいる。しかし、それは人形ではなく、人形に扮した少女時代だった。9人それぞれがキャラクターにマッチしたファッションにかわいい小物を身につけていた。まるでバービー人形のようだ。MVの中でもマネキン人形に扮したメンバーは人形のような表情と動作でファンを魅了した。しかも、そんなカワイクておしゃれな人形姿が大好評で、後日、本物の少女時代人形まで発売された。



レインボーカラーで表紙をジャック!

少女時代がファンに影響を与えるのは、なにもダンスや歌だけではない。ファッションからライフスタイルまで、その影響力はすさまじいものがある。

2008年にイタリアのスポーツブランドelleesseは、少女時代を広告モデルに抜擢した。広告のコンセプトは「レインボーフレンズ」。9人のメンバーそれぞれにカラーテーマを決め、9種類の夢と友情のストーリーを広告を通して表現する。

elleesseの関係者は、「少女時代を通じて、10～20代の若者に今までとは違ったelleesseを知ってもらいたい」と語った。

少女時代VSワンダーガールズ!? ファッションでもライバル

ワンダーガールズと少女時代はK-POP界を代表するアイドルグループだ。そのため、ワンダーガールズと少女時代はいつも比較されている。2つのグループはファンションでも対称的で、野性的なセクシーさを売りにしているワンダーガールズに対し少女時代は清純派だ。

ファッション関係者は「全員がおそろいの衣裳を着る少女時代に対して、ワンダーガールズは5人のメンバーの衣裳はバラバラ。清純さをアピールする少女時代とセクシーさを強調するワンダーガールズ。まったく違って見えますが、ブランドの売上げや若者へ影響力の大きさは同じです」と語っている。

どんなジャンルもおまかせ！

少女時代の魅力のひとつがその衣裳だ。彼女たちが着たコスチュームが若者の間で大流行するのは、もう当たり前の現象になった。2009年1月にリリースしたミニアルバム『Gee』で、少女時代はパステルカラーのスキニージーンズを流行らせ、"少女時代Geeルック"という言葉を生んだ。同年6月に発売された2枚目のミニアルバム『Genie-願いを言ってみて』ではマリンガールに変身。キュートでセクシーなマリンルックが大流行した。

まさに少女時代はどんなジャンルのファッションも着こなせるファッションリーダーなのだ。

Tシャツ姿もCUTE！ トゥイーティーをアピール

2009年6月、これまで華やかな衣裳が多かった少女時代だが、この日はジーンズやショートパンツにTシャツというラフなスタイルで登場した。参加したメンバーがアピールしたのは、ワーナーブラザースのアニメ『ルーニー・テューンズ』に登場する人気キャラクターで、ファッションアイコンとしても注目されているトゥイーティーだ。

そんなトゥイーティーのキャラが入ったジュエリーやカバン、衣類、時計、ベルト、靴などを販売するマルチショップのオープニングイベントに、少女時代がイメージキャラクターとして登場し、キャラクターをアピールした。

20ページ独占！ ファッション界も注目

２００８年４月、イタリアのスポーツブランドｅｌｌｅｓｓｅの広告モデルに選ばれ、韓国の若い女性のファッションアイコンになった。少女時代が、ファッション誌の表紙をジャックした。２００９年に少女時代が韓国のトップ女性ファッション誌『ＣｅＣｉ』の表紙モデルに選ばれたのだ。アイドル女性グループのメンバー全員がファッション誌の表紙を飾るのは少女時代が初めてだった。

また、雑誌の中身の20ページを少女時代が独占し、ＣｅＣｉの歴代で最も多くのページに登場した表紙モデルになった。

小悪魔メイクで誘惑！ スモーキーアイで目力UP

２０１０年、少女時代が、可憐で清楚なイメージとは１８０度違うセクシーな女性に変身した。全員がタイトな黒の衣裳に、黒のニーハイブーツ姿だ。ファンは驚き、そして、新しい少女時代の姿に大喜びした。「Ｒｕｎ Ｄｅｖｉｌ Ｒｕｎ」は女性を弄ぶダメ男への警告をテーマにしたロック調の曲。彼女たちはその曲をイメージした黒くセクシーな衣裳で今までのイメージをガラリと変えたのだ。

変わったのは衣裳だけではない。黒で強調した目元、スモーキーアイが特徴の、小悪魔メイクも話題になった。

振り付け師から人形ダンスまで
少女時代のダンスの秘密

大ヒットダンスが生まれるまで

ユナのこだわり

デビュー前からとても仲が良かったという少女時代。「デビュー前からお互いのことは知っていたし、メンバーのことはよくわかっているつもりです」とユナ。そんな仲の良い少女時代だからこそ、息の合ったパフォーマンスをくり広げることができるのだ。しかし、ダンスの練習中はメンバー同士で衝突することもあるという。

「メンバー同士の仲はいいけれど、今でもダンスの振り付けに関しては意見がぶつかり合うこともあります。でも、みんながよかれと思ってこうしたらいいと意見を出すので、その意見をどうやって少女時代らしくまとめていくかが大切」とユナはこだわりを語っている。



ジェシカの思い

少女時代でダンスといったらヒョヨンの名前がまずあがる。「ニックネームがダンシングクィーンというだけあって、その実力は確かだ。しかし、ジェシカもヒョヨンに負けてはいない。ジェシカに負けないダンスパフォーマンスを見せるために、練習中もメンバーの意見を積極的に聞こうとする。

ジェシカは「この曲はどうやったら格好良く見えるかなど、少女時代のコンセプトについてメンバー同士で意見を出し合います。最初は戸惑いましたがメンバー同士で意見をすり合わせるのも慣れてきました」とメンバー全員でダンス作りに取り組んでいることを明かした。

辛い練習生時代があったからこそ

韓国のアイドルたちには厳しい練習生の期間があり、歌にダンスと、やらなければいけないことが山ほどある。少女時代も厳しい練習に耐えてきた。練習生の期間がメンバーの中で一番長いのがサニーで9年間、一番短いティファニーでも3年間という長い時間を練習に費やしてきたのだ。ダンスが苦手だと言っているテヨンは、トレーニングに耐えきれず、一度は実家に帰ってしまった過去を持っている。それに対し、ユリは練習生になる前に第1回ＳＭ青少年ベスト選抜大会ダンス部門本章を受賞するなどダンスが得意だった。

メンバーの練習生期間も、経験や能力も様々なのだ。

大ヒットの原点

２００７年の７月にシングル「また巡り逢えた世界」でデビューした当時、メンバーは全員が高校生だった。

今では脚線美を活かしたセクシーなダンスが人気だが、「また巡り逢えた世界」では10代らしい元気いっぱいの振り付けでファンにアピールした。

ファンの間では、「また巡り逢えた世界」の振り付けは少女時代の曲の中で一番激しく難しいと言われている。続いてリリースされた「少女時代」や「Ｏｈ！」のダンスも大流行した。彼女たちのかわいくてセクシーなダンスを真似したいというファンは今も増え続けている。

反抗ダンスにギターダンス？

２００７年11月にリリースされたアルバム『少女時代』には、9人のかわいくてセクシーなダンスの他にも様々な種類のダンスが取り入れられている。『少女時代』では、本物の人形のような動作と表情が可愛い人形ダンス、わがままを言って駄々をこねている子供のような動きの反抗ダンス、そしてまるでギターを演奏しているかのようなギターダンスなど、少女時代が見せる様々なダンスはファンを楽しませた。何種類ものダンスを踊った少女時代は、「『少女時代』の中でお見せしている80年代風のダンスは、これからも舞台ごとに少しずつ構成を変化させていく計画ですので期待していてください」と胸を張った。

振り付けで"g"の文字!?

2009年の1月にリリースされた『Gee』は、初めて恋に落ちた女の子のとまどいを歌った曲で、韓国で大ヒットし、Geeシンドロームを巻き起こした。

男心をくすぐるダンスは、ファンからも「かわいい」、「真似したい」と大好評だった。足を開いたり閉じたりしながら左右に移動するところが、カニのように見えるので、ファンの間ではカニダンスとも呼ばれた。また、「GeeGeeGeeGeeGee〜」と歌うサビの部分では、指で小文字の"g"を描いている。

CMでもダンス!

少女時代はCMでも大活躍している。

少女時代が登場するCMのひとつが三養食品の"三養ラーメン"のCMだ。「10〜20代の若年層に、三養ラーメンの魅力を知ってもらおうと少女時代をイメージキャラクターに採用した。少女時代の明るく元気なイメージと商品のコンセプトがぴったり一致した」と三養食品の関係者は話す。ラーメンを食べているイメージの振り付けは、いつものセクシーな振り付けとはひと味違う。そして、ファンはこのCMソングをくらくらソングと呼び、ダンスをくらくらダンスと呼んでいる。

少女時代の振り付け師は実は日本人だった！

『Genie-願いを言ってみて』は、2009年の6月にリリースされたミニアルバムだ。その振り付けを担当したのが日本人の仲宗根梨乃だ。

仲宗根梨乃は沖縄県出身の33歳。19歳で渡米し、現在はアメリカでダンサー兼ダンス講師として活躍中だ。他にも少女時代の先輩であるBoAや、f(x)の振り付けを担当した実力者でもある。振り付けは腕と足の動作がポイントで、少女時代の抜群なスタイルと息の合ったフォーメーションが際立っている。そして、その脚の動きから、ファンの間でチェギチャギダンス、脚線美ダンスなどと呼ばれている。

号令をかけているのは…テヨン！

ダンスをする時に、9人が息を合わせるのは大変難しい。そこで少女時代の息がぴったりのダンスにかかせないのが声かけだ。

少女時代はダンス中に声をかけることによって、9人の動きを合わせている。その号令をかけているのが、責任感の強いテヨンだ。テヨンは、2010年の1月にリリースされたアルバム『Oh!』のミュージックビデオで「1、2、3！」とメンバーに号令をかけている。

しかし、メンバーの中で一番年下のソヒョンが号令をかける時もある。年齢を気にせず、声をかけ合いながらダンスをする少女時代だ。

ダンスの練習風景配信！

2010年の1月にリリースされた『Oh!』のオンリーダンスバージョンの映像が動画専門サイトユーチューブに公開され、最多ヒット数を記録した。

この映像の、1日のヒット数はなんと27万3173。映像では、少女時代がおそろいのショートジャケットにエナメルピンクのニーハイブーツでダンスをしている。しかも、コンサートなどではなく、普段練習しているレッスン室で踊っているというレアなもの。気楽で和気あいあいとした雰囲気でダンスしている姿は、いつもステージで見せるダンスとはひと味違い新鮮だ。

ダンスで挑発！

2010年の3月にリリースされたアルバム『Run Devil Run』は、今までの少女時代のイメージを一新した。そして、セクシーな衣裳で、小悪魔に変身した少女時代のダンスが注目された。『Run Devil Run』のPVでは、黒い衣裳と白い衣裳に身を包んだ少女時代が、ロック調の曲に合わせてセクシーなダンスを披露している。

この曲は、ダメ男への警告がテーマのため、ダンスの振り付けにも工夫が見られる。ダンスの中に韓国のフィギュアスケート選手キム・ヨナの演技を取り入れているのだ。オリンピックで『007』のテーマに合わせて踊ったダンスがそれだ。

ライバルの存在

韓国のアイドルはみんなダンスを踊っていると言ってもいい。少女時代を始めＫＡＲＡやワンダーガールズなどのアイドルグループはダンスに力を入れている。いつも息がぴったりなダンスを見せる少女時代も、ライバルに負けないよう、日々努力を重ねている。

２０１０年４月にオンエアされたＭＢＣのバラエティ番組『スターダンス大激突』で、少女時代をはじめ２ＰＭなどのアイドルグループがダンス対決を行った。少女時代は、ユリ、ヒョヨン、ソヒョン、ユナがパワフルなセクシーダンスを披露したが、Ａｆｔｅｒ Ｓｃｈｏｏｌに敗れてしまった。



第4章

少女時代

少女時代キューティ発言録



テヨン

風邪は看護師さんがご飯を食べていない時にひかなきゃいけないんですか？

その日テヨンは体調を崩し、注射を射ってもらいに病院に行ったという。

しかし、昼休みだという理由で診察を断られたテヨンは、当日の夜のラジオの生放送で、その時のことを不満そうに語った。そして「そこの病院の名前を公開しましょうか？」という発言が、わがままだとリスナーを怒らせてしまった。テヨンにとっては本当に散々な一日だった。



テヨン

リーダーを辞めました

２００９年12月15日に放送されたバラエティ番組『強心臓』でこう告白。

責任感が強い彼女は、リーダーとしてのプレッシャーに耐えられないとメンバーに打ち明けた。そして、話し合いを続けた結果、少女時代にはリーダー役を置かないことが決定したのだ。その後、リーダーという肩書きはなくなったようだが、テヨンはやはり少女時代の中心だ。



サニー

下水のフタが開いているのかと思った

バラエティ『スターゴールデンベル』で、SUPER JUNIORのソンミンが「芸能人に見えない人は」という質問をされ、サニーの名をあげた。ソンミンは「徹夜明けのサニーの目に、目やにが付いていた」と暴露。サニーは負けじと「ソンミンさんの足はクサイ。下水のフタが…」と応酬。仲良しの2人だからこそできる暴露合戦に、スタジオは笑いに包まれた。

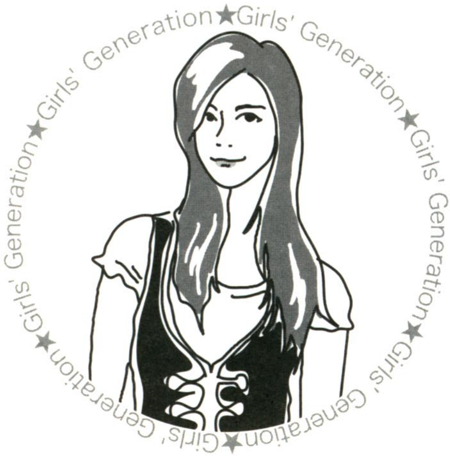


ソヒョン

真面目なことについて、文句を言われる筋合いはありません

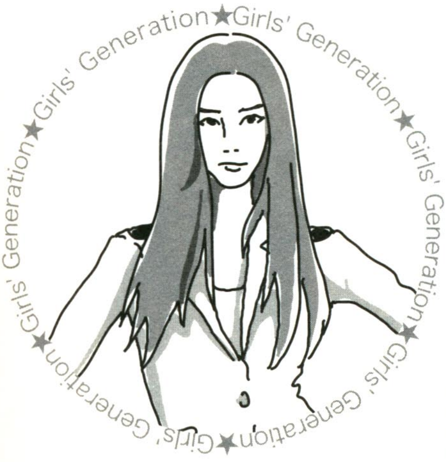
きちんと学校に通っていることをメンバーに感心されている、しっかり者の末っ子のソヒョン。そんな真面目エピソードには事欠かないソヒョンだが、ある日リーダーのテヨンに「真面目すぎる」とからかわれ、とっさに答えた一言がコレ。

確かにその通りだが、彼女の真面目エピソードがまたひとつ増えてしまった。



これ、持っているんです

少女時代がサイン会を開いた時の話。ファンがソヒョンに数学の参考書をプレゼントしようとすると、ソヒョンは一瞬考え、「これ、持っているんです」とていねいに返したという。ソヒョンの誠実さに、そのファンはいたく感動した。



ジェシカ

シャワーの後にタオルをまとった自分が一番キレイに見えるんです

シャワーの後はタオルを体に巻くだけで、服を着ないというジェシカ。何かこだわりがあるのだろうかと、メンバーは興味津々。

しかし、服を着ない理由を聞かれたジェシカは「なんとなく。でも、シャワーの後に…」。

たちまちメンバー全員からツッコミが入ったのはいうまでもない。



ティファニー

音楽は国籍や人種を問わず通じる言語です

2010年9月4日、所属するSMエンターテインメント主催のライブ、SMタウンライブ2010を目前に、KANTAやBoA、SUPER JUNIORなどと一緒に抱負を語ったティファニー。幼い頃にロサンゼルスで育った彼女ならではのグローバルな考え方だ。



ティファニー

私たちの名前、少女時代なんだって…

少女時代というユニット名を初めて聞いたメンバーたちは、心の底から落胆したという。ジェシカとティファニーは先輩歌手のイ・サクのもとへ駆けつけ、「お姉さん、私たちの名前、少女時代なんだって…」と涙ながらに報告したという。少女時代の名前がここまでメジャーになるとは、この時、誰が予想したであろうか。



スヨン

9人もいるグループでデビューすると聞いた時、失望した

バラエティ番組『夜心萬萬』での衝撃発言。もともと3人組グループで練習していたというスヨンは、「9人構成のガールズグループが成功するはずはない」と肩を落としたという。しかしその数ヵ月後に、大人数のガールズグループとして、韓国中から注目と期待を集めることになるとは、スヨンは知るよしもなかった。



ユナ

誰が一番カワイイのかは、その時期ごとに違います

バラエティ番組『夜心萬萬』で、「少女時代のメンバーで一番カワイイのは？」と聞かれ、「その時期ごとに違うんです。デビュー当時はテヨンとティファニー、そして私もたまにカワイイと言われたけど、最近はまた違いますね」と答えたユナ。一瞬、スタジオにどよめきが起こったという…。



ユナ

彼の話している言葉がわからなくて寂しい

日本のアイドル木村拓哉の大ファンだというユナ。しかしドラマを観ても、大好きな木村拓哉が何を言っているかチンプンカンプン。泣きながらメンバーに、「彼の話している言葉がわからなくて寂しい」とこぼしたこともあるという。





ユリ

「ちょっとだけ待ってて」

口ゲンカが苦手なユリ。頭に血が上った時は一度その場を離れ、自分が言いたいことをリストにしてから口ゲンカを始めるという。予想外のことを言い返された場合は「ちょっとだけ待ってて」と断って、新たにリストを作り直すために再びその場を離れるそうだ。



ユリ

目立つことができずにとても悩んでいた

バラエティ番組『夜心萬萬』で、「少女時代で自分が目立たないと思ったことはありますか?」と質問され、「デビュー前は、目立つことができずにとても悩んでいた」と打ち明けたユリ。今ではドラマやバラエティで大人気の彼女の告白に、共演者は驚きを隠せなかった。個性派揃いの少女時代では、目立つのは容易ではないということだろう。



ヒョヨン

少女時代のダンスは物足りなかった

ＢｏＡのバックダンサーを務めるなど、本格的なダンサーを目指していたヒョヨン。バラエティ番組『強心臓』でダンスが話題になった時、「最初の頃は、少女時代のダンスは手を回すだけだったので、物足りなかった」と告白した。さらには少女時代を辞めて、ダンスの勉強をしに海外に留学しようかと悩んだこともあると告白した。



移動中や生放送中に
メンバーに起きた驚きのトラブル集

少女時代事件簿

ティファニー、どっきりカメラで大泣き！

韓国のバラエティ番組『少年少女歌謡白書』でMCを担当しているキム・ヘソンが、ティファニーにどっきりカメラを仕掛けた。キム・ヘソンはまるで機嫌が悪いかのように振るまい、ティファニーに対して冷たい態度をとったり、プロデューサーにも反抗的な態度をとり、スタジオの雰囲気を悪くするよう演技をした。騙されているとは知らないティファニーは、キム・ヘソンの態度に困惑しつつ、不安を隠せずにいた。

あまりにもティファニーが困っていたので、早めにどっきりカメラだということを明かしたのだが、事実を知ったティファニーはその場に泣き崩れてしまった。

ドレスが…かぶっちゃった？

日本でヒットしたドラマ『花より男子～Boys Over Flowers～』で、主人公クム・ジャンディを演じたク・ヘソンとユナが同じドレスを着て現れ話題になった。

あるチャリティーオークションでまず、ク・ヘソンが黄色いシフォンドレスを着て登場し注目を集めたのだが、その後ユナが、ク・ヘソンと同じドレスを着て登場したのだ。「同じドレスのようだが、ク・ヘソンは黒を主体としたアップスタイルですっきりとまとめているし、ユナもウェービーなロングヘアーに、少女風のメイクでドレスをより引き立たせている」とテレビのコメンテーターたちは偶然の一致に驚きながら、2人のおしゃれをほめていた。

ユナがスカートめくり？　その真相は!?

ある歌番組で、ユナがティファニーのスカートをめくっている動画が公開された。ファンの間では、ユナがティファニーのスカートをめくって、ティファニーをいじめているという噂が流れた。

しかし、すぐに「あの時はユナに、アンダーパンツとスカートをピンで留めていないの？　と聞かれたんです。私が、留めていないけれどアンダーパンツははいているわよと答えたんです。それでユナが本当かどうか確かめようと私のスカートをめくったんです」とティファニーが説明した。その1ヵ月後、ユナも「ティファニーが言った通りです」と真相を明らかにした。

ハイヒールが脱げてしまい…

9人はいつでも全力で歌い踊っているが、いつも完璧というわけではない。かわいくてセクシーな彼女たちだが、実はおっちょこちょいな一面もみせる。

少女時代はどんなに激しいダンスの時でも、ハイヒールを履きながら華麗なダンスを見せてくれる。そんな少女時代にハプニングが。ソヒョンのハイヒールが脱げてしまったのだ。

テヨンは、手が滑ってマイクを落としてしまったこともある。「マイクを落としてしまった瞬間の、しまったという顔がかわいい！」とファンにとってはそれもまた魅力のひとつだ。たまにはドジな少女時代もいいかも!?

ヒョヨン交通事故で病院へ！

2009年の8月4日夜、少女時代がMBCのラジオ番組『夢見るラジオ　ユン・ゴンです』の放送を終え、帰宅途中に交通事故に遭遇した。

所属事務所SMエンターテインメントは、「少女時代のメンバーを乗せた車のうち1台が、並んで走っていた車と衝突した」と発表。

また、「車が傷ついただけで、幸いなことに大きな事故にはいたらなかった」とし、「負傷したメンバーはいないが、ヒョヨンが事故の衝撃で前の座席にぶつかった。念のため病院で検査を受けている」と発表、ファンを心配させた。

少女時代が乗った飛行機に落雷

２０１０年の９月に、日本に向かっていた少女時代が乗っていた飛行機に雷が落ちた。ティファニーは、「急に、ドンという音がしたの。みんな驚いていると、しばらくして飛行機が落雷に遭ったと機内にアナウンスが流れたの」と話し、日本で待っていた取材陣を驚かせた。

韓国では、歌手が事故に遭うのは「大ヒット」の兆しといわれているので、スヨンは「乗っていた飛行機に雷が落ちて驚いたけれど、日本での活動が上手くいくかもと思った」とにっこり笑った。

テヨン、ラジオでミス

２０１０年にテヨンがラジオの生放送中に不謹慎な態度をとったと非難された。テヨンは、MBCのラジオ番組『テヨンの親しい友人』で視聴者から届いた「弟が採用試験に落ちた。慰めて欲しい」というメッセージを読む途中で、笑ってしまったのだ。

テヨンは10秒ほど笑い続けて、メッセージに何のコメントもできなかった。その後、テヨンはすぐに謝罪した。番組側は「テヨンは採用試験に落ちたという内容のせいで笑っていたのではない。スタジオ内部にちょっとしたハプニングがあり、笑いをこらえることができなかったのだ」と釈明した。

ユナ、爆笑しすぎでウィッグが外れる!

ラジオ放送中に起きたユナの爆笑ハプニング映像が公開されてしまった!
それはユナがラジオでテヨンと仲良く談笑している時に起こった。談笑中、テヨンの話に大爆笑したユナが、頭をのけ反らしたため、ユナのウイッグの前髪が外れてしまったのだ。
公開された映像には、ユナが大爆笑して頭をのけ反らした瞬間や、外れてしまったウィッグを慌てて抑えつける姿が映し出されている。そんなハプニングにテヨンも大爆笑。この映像を見たファンは、「ユナはウィッグがひっくり返ってもかわいい」、「どれだけ笑ったらこんなにウイッグが外れるんだろう」などと様々な反応を見せた。

ソヒョンが生放送中に悲鳴!?

2010年の2月に放送された『ミュージックバンク』に、大ヒット中の『Oh!』を披露するため、少女時代が生出演した。しかし、ソヒョンに思わぬハプニングが…。
曲の冒頭でソヒョンが自身のソロパートを歌い終わり、移動しようとしたその時、つまずいて転びそうになり、思わず悲鳴を上げてしまったのだ。番組は生放送だったため、ソヒョンの悲鳴はオンエアされてしまった。
「かわいそうだったけれど、かわいかった」というのが大多数のファンの反応。メンバーで一番年下のソヒョンのハプニングはおとがめなしということになった。

メンバーたちの恋愛観は？
みんなが気になる少女時代の恋の秘密

私たちこんな男の人が好きなんです！

ユリ"恋愛経験ゼロ"発言

清楚な外見で多くの人気を集めているユリが、恋愛経験がないことを告白し、周りを驚かせた。SBSで放送されたバラエティ番組『恋愛時代』に出演した。ユリが「今まで一度も恋愛経験がないんです」と打ち明けたのだ。そんなユリに対し、イ・ミンギ、イ・チョンヒなどモデル出身の俳優たちがラブコール送った。

MBCで放送されたあるバラエティ番組では、イ・ミンギとイ・チョンヒが「どこに住んでるの？」、「一緒にどこかデートに行かない？」などユリに積極的なアプローチをしたこともある。恋愛経験はゼロでも、言い寄ってくる男性はたくさんいるのだ。

ジェシカVSスヨン、夢で取り合い

KBSで放送されたバラエティ番組『甘い夜』に出演した少女時代は、メンバーそれぞれが好みの男性芸能人を告白した。少女時代は交際相手がかぶらないように好きな人ができたらメンバーに知らせるという決めごとを作っている。しかし、夢の中ではかぶっても仕方がないと思うがそうではないらしい。

ジェシカが「最近、夢に俳優のコ・スさんが出てきたんです。それをスヨンに話したら、スヨンと少し言い合いになっちゃいました」と打ち明けた。スヨンもコ・スのファンなのだ。例え夢の中であろうと、お気に入りの男性は譲れないらしい…。そして、ユリが「好みの男性は夢の中でもかぶっちゃダメなんです」と断言し、笑いを誘った。

激戦を勝ち抜き、ユナに選ばれたのは誰？

2009年に放送されたバラエティ番組『シン・ドンヨプ、シン・ボンソンのシャンパン』で、少女時代が理想の共演者ワールドカップを行った。トーナメント形式で好みの共演者を選んでいくというこの企画。好みの共演者を選んだのはユナだ。

そしてついに決勝の時がきた。決勝はチョ・インソンVSヨン・ジョンフンの対決だ。ユナは「理想のタイプです」と公言しているヨン・ジョンフンを選び、会場は大いに盛り上がった。

テヨン〝熊みたいな人〟がタイプ

SBSで放送された音楽番組『キム・ジョンウンのチョコレート』に出演したテヨンは、番組内で「熊のようにふくよかで温かい、年上の男性が理想です」と告白。

「例えばハリウッド俳優のヒュー・ジャックマンのような人」と21歳も年が離れている男性の名を挙げ、「ずいぶん年上だけど好きです」と恋愛に年齢は関係ないと主張した。

さらに、テヨンは「積極的でユーモアのある人もタイプです」と理想の男性像を打ち明けた。また、サニーは「性格が穏やかで優しい人、しかも私だけを大切にしてくれる男性がタイプです」とほおを染めた。

少女時代が共演したい男優は？

MBCで放送されたバラエティ番組『日曜日、日曜日の夜』の「少女時代が選ぶ一緒に共演したい男性俳優は誰？」というコーナーに少女時代が登場し注目を集めた。

ジェシカは、「英語が得意で一緒に演技もできる」という理由でダニエル・ヘニーの名前を挙げ、ヒョヨンは独特のオーラを持つチョ・ジェヒョンと共演したいと打ち明けた。

また、ユリは、映画『チェイサー／追撃者』が印象的だったという理由でハ・ジョンウの名を挙げ、サニーはファン・ジョンミンと共演したいと話した。

スヨンとユナの理想のタイプはイ・スンギ

ＫＢＳで放送されたバラエティ番組『少女時代のＨｅｌｌｏ　Ｂａｂｙ』で、ユナとスヨンが理想の男性としてイ・スンギの名前を挙げた。この回の放送は、少女時代が秘密をひとつひとつ暴露していくという企画だった。

ゲストに招いたイ・スンギの前で、スヨンが自身の理想のタイプがイ・スンギだと明らかにすると、ユナも「イ・スンギさんは私の理想のタイプなの」と対抗。火花を散らせた。

しかし、イ・スンギの出演はこの回だけだったため、スヨンとユナは撮影が終わった後も別れたくないと番組関係者に漏らしていたという。

少女時代に選ばれたのはソン・スンホン

少女時代が出演したシン・ドンヨプ司会のバラエティ番組『甘い夜』で、少女時代全員が参加し理想の男性ワールドカップが行われた。少女時代は全員で９人なので多数決で理想のタイプを選ぶことになった。

そして、最終候補に上った２ＰＭのテギョンとソン・スンホンの対決で、ソン・スンホンが６票を獲得。少女時代の理想のタイプに選ばれたのだ。

少女時代を代表して、スヨンが優勝したソン・スンホンに対し「少女時代をたくさん愛してください」とメッセージを送った。

第5章

少女時代

少女時代新聞



少女たちの姿を見ない日は1日もない！

アイドルの人気はＣＭの出演数と比例する。そんなアイドルのステータスでもあるＣＭでも少女時代は大活躍中だ。そして、今や携帯電話、化粧品、金融機関、飲料水、食品など様々なジャンルのＣＭを制覇、韓国でＣＭクィーンの名をほしいままにしている。

その理由について広告業界関係者は「若年層の認知度と好感度が高く、9人のメンバーがそれぞれ魅力的なので多様なイメージをアピールできるという理由で、クライアントは彼女たちを選ぶ」と説明している。

また、少女時代としてだけでなくメンバー1人ひとりにもオファーが殺到している。

例えば、ユナはコスメブランド・イニスフリーのモデルに抜擢され、ユリとティファニー、そしてスヨンはスキンケアブランド・ビオテルムとイメージモデルの契約を結び、ソヒョンもヘルスケア関連製品を取り扱うジョンソン＆ジョンソンのクリーン＆クリアの専属モデルに選ばれている。

特に、イニスフリーのＣＭは評判が良く「ユナがモデルになって約6ヵ月で、ブランドイメージはもちろん販売高も確実に増えた」とメーカーの広報担当者はその効果を絶賛した。

ファッションショーもお手の物 少女たちの華麗な姿

モデル顔負けのプロポーションを持つ彼女たち。そんな美貌をファッション業界が放っておくわけがない。

ユナとユリ、ジェシカ、ヒョヨン、サニーは2010年9月にソウルで開催されたグッチの秋冬物コレクションにモデルとして参加した。彼女たちは新作を見事にまとって、来場者の視線をひきつけた。

中でも、ファンの注目を集めたのは、「まるで人形のよう」と絶賛されたヒョヨン。少女時代のファッションリーダーを自認する彼女のセンスは、「ファッションテロリスト」と言われるほど鮮烈なのだ。

また、ファッションショーといえば、少女時代は2010年9月18日に国立代々木第一体育館で開かれたファッションイベント「Girls Award JAPAN 2010 AUTUMN/WINTER」にゲスト出演。彼女たちのVTRが流れ出すと客席から大きな歓声が聞こえた。ステージでデビューシングル「Genie-願いを言ってみて」など全3曲をセクシーなパフォーマンスとともに披露。1万5000人の観客を熱狂させた。

圧倒的反響！「彼女たちの素顔をぜひ見たい」

アイドルの仕事といえば、なにを思い浮かべるだろうか？　コンサートや握手会、テレビ番組に出演などいろいろな仕事があるが、「写真集撮影のための海外ロケ」も重要な仕事だ。

少女時代も海外ロケを行った写真集を出しており、その発売時はものすごい反響を呼んだ。

２０１０年にリリースされた『少女 ｉｎ Ｔｏｋｙｏ』と題したファースト写真集はタイトルどおり、東京がロケ地。彼女たちの舞台の上とは異なった、旅行やスポーツ、パーティーなど日常生活を楽しむリラックスした自然な姿が３５４ページ分ぎっしり詰まっており、撮影のビハインドストーリーを収めたメイキングフィルムＤＶＤもバンドルされた豪華版。

その上、インターネットを通じて早くから発売予告をしたため、先行予約分だけで約３万５０００冊も注文があった。業界関係者も「こんな数は韓国では前代未聞だ」と少女時代の人気に驚いた。

ちなみに、この写真集の前にも少女時代は「放課後5：00ＰＭ」という、メンバーを３人づつ３組に分けた３冊の写真集シリーズを出しており、こちらもベストセラーになった。

関係者も絶賛！ミュージカルでみせた輝き

少女時代としてのグループでの活動はもちろん、メンバー個人個人のソロ活動も絶好調。CMやドラマ、映画に吹き替えと様々な仕事に引っ張りだこの彼女たちだが、テヨンとジェシカはミュージカルにも挑戦している。

テヨンが挑戦したのはミュージカル『タイヨウのうた』の主人公カオル役。天川彩の小説をもとに、日本では歌手YUIと塚本高史の主演で映画化され、山田孝之と沢尻エリカのコンビでテレビドラマ化もされた作品のリメイクで、話題を呼んだ。

一方、ジェシカが出演したのは『キューティブロンド』でヒロインのエル・ウッズ役を演じた。これが予想以上の人気で、普段はミュージカルに興味のない10代の彼女のファンたちが劇場へ足を運んだ。

「ジェシカのおかげで観客の平均年齢が若くなった」という喜びの声が関係者から上がり、制作会社PMCプロダクションは「配役とぴったり合った最高のキャスティングだった。ジェシカは忙しい中、歌と演技を完璧にマスターした」と絶賛。ジェシカはミュージカル女優としての大きな可能性を見せた。

ファッションセンスを活かし少女時代が編集長に？

今やおしゃれの代名詞になった少女時代が、そのファッションセンスをバラエティで存分に発揮した。

その番組とはリアリティ職業体験番組『ファクトリーガール』。9人はファッション誌『ＥＬＬＥ ｇｉｒｌ』の編集員となり、化粧品の撮影や、雑誌のイベントの企画などに挑戦した。その中でも好評だったのが、チームに分かれてのファッションモデル撮影対決だ。

ティファニー、スヨン、ソヒョン、ヒョヨンがドリームガールチーム。テヨン、ユナ、ソニ、ジェシカ、ユリがキャンディーガールチームに分かれ、「フェアリーテイルルック」と「ゴスルック」というコンセプトのもと、衣裳、メイク、ヘアスタイルなど全てを自分たちで決定。衣裳を選ぶために直接ショップを訪れるなど、一切手を抜かないガチンコ勝負を展開した。

２チームともモデルの良さを引き出す見事なコーディネートを見せ、その仕事ぶりに、ファッション誌の編集者も感心していた。

番組収録後、9人は「直接衣裳を選んでモデルに着てもらうのは楽しかった。本当にファッションエディターになったようで面白かった」と喜んだ。

笑いのために頑張る彼女たちの勇姿をみよ!

熱湯をかけられる、お尻を思い切り蹴られる、わさびたっぷりのお寿司を食べさせられるなど、現在のバラエティではお笑い芸人だけでなく、アイドルでさえも体を張って笑いをとっている。

少女時代も、笑いをとるために体を張り、ファンはもちろん共演者や一般視聴者からも「おもしろい」と評判だ。

そんな彼女たちの頑張りの中でも、記憶に残っているのがテヨン、ユリ、サニーがバラエティの罰ゲームでバンジージャンプをしたことだ。

2009年に、ヴァーチャル結婚バラエティ『私たち結婚しました』でテヨンはコメディアンのチョン・ヒョンドンと共演した。

その番組内でデートした2人にジェシカ、ユリ、サニーが合流し、ヒョンドン1人対少女時代4人でバトミントン勝負をして、負けた方が45メートルの高さからバンジージャンプをすることになったのだ。

そして、バンジージャンプすることになったのは少女時代チーム。テヨン、ユリ、サニーは見事なジャンプを見せた。しかし、ジェシカは飛ばずに逃げ出した。

ラジオにも引っ張りだこ！ぶっちゃけトークが聞きどころ

テレビやライブでユニークな発言を連発し、ユーモアのセンスも抜群の少女時代は、ラジオでもその話術の上手さを発揮している。ラジオでの赤裸々トークは彼女たちにはたくさんあるが、その中からラジオ番組『Sweet Sorrowのテンテンクラブ』でのエピソードを紹介しよう。

「Gee」のプロモーションが終わり、次はフルアルバムだと期待したファンも多かったが、すぐにミニアルバムを出した少女時代。その理由について聞かれ、サニーが代表で「準備していた曲は多かったけど、早くファンに会いたいという思いもあり、いい曲を厳選してミニアルバムを出すことにしました。「Gee」が発売された時は、前回のアルバム発売から9ヵ月も待たせてしまったというのもあったので今回は早く出したかったんです」と胸のうちを明かし、ファンへの愛情を伝えた。

他にも、「ライバルだとされている女性グループ、ワンダーガールズとは本当に仲良いの？」と聞かれ、「ワンダーガールズだけじゃなく、KARAとも仲いいですよ。朝ごはんも一緒に食べに行ったりします」といつもの本音トークを繰り広げた。

私生活も隠しません！親しみやすさが人気の秘訣

テレビで華麗な姿をみせるアイドルは多くの人に憧れられ、「かっこいい」、「おしゃれ」、「おもしろい」といった好意的なイメージを持たれるものだ。

少女時代も同様だが、彼女たちの場合、イメージと異なった、年相応のエピソードもファンの間で知られている。というのも、彼女たち自ら、テレビ番組や雑誌のインタビューなどで自分たちのそんな一面を隠すことなく口にしているからだ。

例えばテヨンは寝言がひどいことや、普段は無口なソヒョンが合宿所では他のメンバーに対してズバズバものを言うこと、メンバー内ではサニーが一番ステージ上でミスをすることなどが有名だ。中でも、赤面してしまうような爆弾発言の被害によく遭うのがスヨンだ。

例えば、バラエティ番組SBS『スタージュニアショー　プオンパン』でスヨンは彼女のお母さんに「普段は大ざっぱで部屋も汚い。まるでゴミ箱のよう。合宿所で同じ部屋の子には本当に申し訳ないです」と言われたり、ティファニーには「酒癖が悪くて、酔うと怒りやすくなるんです」と暴露されている。

そんな話もあっさり打ち明けてしまうざっくばらんさも彼女たちの人気の理由なのだ。

赤裸々な姿を見せる『私たち結婚しました』

韓国の人気テレビ番組に数多く出演している少女時代だが、その中でもぜひ少女時代ファン、特にソヒョンが好きなら注目してもらいたい番組がある。

それが、『日曜日、日曜日の夜に』の人気コーナー『私たち結婚しました』だ。ヴァーチャル結婚バラエティと銘打たれ、名前の通り人気芸能人の男女が結婚したという設定で共同生活をともにする様子を数回に分けて放送する番組の看板コーナーだ。

2010年10月現在、男嫌いで有名なソヒョンは、その番組のレギュラーだ。韓国の4人組バンドCNBLUEのギターとヴォーカルを担当するジョン・ヨンファと、ソヒョンの新婚生活は非常に新鮮だった。また一緒に生活するにあたり、女性タレントの食事の好みや何をするのかが好きかなどを相手役の男性タレントはあらかじめ知ることができるが、これはファンにとっても、ぜひ知りたい情報だ。彼女たちの素顔を知ることができるからだ。例えば、理想の結婚相手の条件は、掃除と料理ができること、お互いに助け合えること、毎朝健康的な食事とリンゴを食べることなど男性ファンが知りたいことが分かる。

ちなみに視聴者からは「2人のやり取りがほほえましくて、かわいらしい」と好評だ。

芸人顔負けのグループ芸！ 人気番組でも大活躍

少女時代はバラエティ番組でも大活躍中だ。多くの番組で観客を笑わせたり、視聴者の関心を集めている。そんな中から『スターゴールデンベル』という韓国でも人気のクイズ番組でのエピソードを紹介しよう。

まず、ティファニー、ユリ、スヨン、ジェシカの3人で出演した時、トロット歌手のパク・ヒョンビンがティファニーを抱きしめるハプニングでファンたちを驚かせた。その後、『スターゴールデンベル』の200回記念に、ユリ、ティファニー、スヨンの3人がゲスト出演した際に、「ゴールデンベルに出て残念だった点は？」と聞かれたユリは「ティファニーだけひいきされてずるい！　私だって魅力あるのに…」と不満そうに打ち明けた。

少女時代全員で出演した時は、「9人だけで、どこか誰もいないところに旅行に行きたい」とヒョヨンが発言、MCのキム・ジェドンが「運転手やガイドは必要じゃない？」と言うというと、みんなで「ケンチャナヨ～(大丈夫です)」と声を合わせた。さらに、ユナが好きだという俳優のキム・ヒョンボムが「ユナと結婚したい」というと、再び9人は「ケンチャナヨ～」。息がぴったりの9人に、会場に詰めかけたファンは大笑いした。

800匹の犬に踊りながら突入 バラエティでも伝説を作る

韓国には「チェギチャギ」という遊びがある。それは日本で言う「けまり」のような伝統的な遊びで、小銭を紙で巻いて作った「羽根(チェギ)」を地面に落とさないように蹴り続けるというものだ。

そのチェギチャギをしているかのような「チェギチャギダンス」は少女時代の代名詞で、長い脚を大きく上げ激しくしならせるというものだ。

そして、そのダンスに関する有名なエピソードがある。犬の群にユリがチェギチャギダンスをしながら突撃したのだ。

人気バラエティ『日曜日、日曜日の夜に』のロケで、スヨンは韓国安城の豊山犬村を訪問。ところが、そこで待ち受けていたのは、天然記念物にされている豊山犬800匹!

この大量の犬に驚いた番組出演者はすっかり萎縮してしまったが、一番か弱そうに見えるスヨンがチェギチャギダンスを踊りながら犬たちの中に入っていったというのだ。

これを見たタレントのキム・ジェドンは「犬のうんこを踏んだ時に踊るダンスだ」と驚き、現場は笑い声に包まれたという。

本当のユリを知りたいならこのバラエティを見るべし！

日本でも韓国でもバラエティ番組の種類は多い。トーク中心のものから、クイズを交えたもの、コント形式のものなど視聴者に飽きられないよう斬新な番組が次々と登場する。
そんな中、人気を集めているのがバラエティの『青春不敗』だ。ユリとサニーが出演していたこの番組は、山奥の村での農業を体験し共同生活を行なうといったもの。彼女たちは汗まみれになりながら一生懸命働いて、視聴者の心をつかんだ。
特に、ユリのイメージはこの番組を通して大きく変わった。ファンから「今までのユリを返して！」という声が出るほどの弾けぶりをみせた。例えば、「ヨガ教室」のコーナーでは開脚や、フラフープ、顔の筋肉をほぐす変てこなライオンのポーズなどアイドルとは思えない恥ずかしすぎる姿を見せ、畑で転び泥まみれになりながらも畑に残ったお尻の跡を指差して「化石にして保存しなきゃ！」と言うなど、まるでお笑い芸人のようだった。
ユリとサニーは2010年の6月にレギュラーを降板したが、ユリは「舞台で見せることのできなかった私の全てを見せることができた番組でした。またいつかこの番組に戻りたい」というほど、この番組に力を入れていた。

氷姫が見せる女の子らしさ 出産バラエティで見せた素顔

世間から注目され多くのファンを持つ人気アイドルもいつかは結婚し、子どもを産んで家庭を築いていく。そして、アイドルと言えども、ひとりの女性としては結婚や出産についていろいろと思うところがあるはずだ。

ファンとしても自分の大好きなアイドルが結婚についてどう考えているかが気になるだろう。そんな思いに応えてくれる番組が韓国にある。

それが出産奨励バラエティ『ハッピーバースデイ』だ。これにジェシカも出演し、自らの結婚観を語った。

「女優ハン・ガインさんが23歳で結婚する姿を見て、とても綺麗だと思いました。それで私も23歳に結婚しようと思ったのですが、もう22歳になってしまったので26歳には結婚したいです」と笑い、「結婚してもずっとラブラブでいたいです。旅行も料理もパートナーと一緒にできればいいな」と自分の結婚観を打ち明けた。

さらに「まだ妊娠や出産などには現実味がないです。つわりや出産を考えると少し怖いです」と、少女らしい本音も漏らした。

ソロでも大人気 心に残るメロディたち

韓国はもちろん、タイ、上海、台湾などアジア各地の音楽チャートを賑わせ、そのキュートな歌声でアジアを代表するガールズグループのひとつとなった少女時代だが、ソロでも多くの歌を発表している。

テヨンは2008年にドラマ『快刀ホン・ギルドン』オリジナルサウンドトラック「もしも」とドラマ『ベートーベン・ウィルス　愛と情熱のシンフォニー』のオリジナルサウンドトラック「聞こえますか」を担当し、「もしも」はゴールデンディスク大賞人気賞を受賞した。また、ジェシカはコメディアンのパク・ミョンスと一緒に人気バラエティ番組『無限挑戦』内の第1回オリンピック大路デュエット歌謡祭で「冷面」を熱唱した。

メンバーそれぞれが個性ある歌声の持ち主なので、今後ソロ活動がますます増えていくだろう。



将来は女優転向？演技派アイドル・ユナ

他を圧倒するダンスパフォーマンスとキャッチーな歌で音楽シーンを沸かせている少女時代は、ライブ活動や音楽番組への出演以外にも様々な分野で活躍中だ。

特に、ユナは日本ではテレビ東京で放送された『シンデレラマン』などのドラマに出演し、その演技で2008年にはKBS演技大賞で女性新人賞とネチズン賞を、2009年百想芸術大賞で女性新人賞と人気賞を受賞している。

そんな彼女のドラマ出世作であり、最高視聴率が41・5％をマークした人気ドラマ『君は僕の運命』の裏番組の『チュンジャさんちはお祝いね』に同じ事務所に所属し、仲の良い人気グループSUPER JUNIORのキボムが出演し、2人は視聴率競争を繰り広げたことがある。

そして、先輩のキボムよりユナのドラマの方が高い視聴率をマークしたと、韓国のメディアは大きく報道したのだった。しかし、キボムは「そのことについては全く気にしていないよ。一緒に演技のレッスンを受けたんだけど、ユナは演技が上手いと思った」と彼女の演技力を賞賛した。

得意技はモノマネです！少女たちの爆笑特技

例えば、コンパや宴会で急に「なんかおもしろいことをやって」と言われたら、どうするだろうか。そんな場合は、有名人のモノマネなどの一発芸が無難だ。

　この一発芸を得意とするのがテヨン、スヨン、ユナの3人だ。彼女たちのモノマネレパートリーは、テヨンはベテラン女優オム・エンランとテニスプレーヤーのシャラポワ、スヨンがトロット歌手ヒョンスク、ユナはコメディ番組『ギャグコンサート』のコーナー「メーキャップ室のカン先生」に出演している時の人気女性コメディアンのアン・ヨンミと、女優カン・ヘジョンなどだ。

　ファンたちからは「あまり似てはいないが、なぜか笑ってしまう」、「一生懸命物まねをしている姿がかわいくて、ますます好きになった」など好評だ。



涙、感動、笑い…
本誌が選んだ少女時代の5つの物語

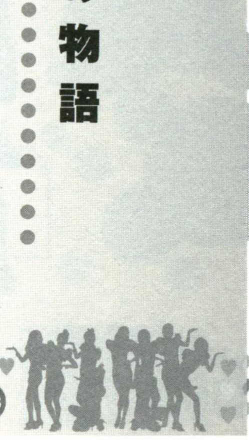
絆を深めたエピソード

サニーのトラウマ

幼い頃のサニーはクウェートで暮らしていた。そして1991年1月、サニーがまだ1歳の頃に始まった湾岸戦争を経験している。

現在もサニーは、その湾岸戦争のトラウマで、ステージでの爆竹の音や大きな爆発音を聞くと、怖くて足がすくんでしまうという。ライブに足を運ぶと、ステージ上で大きな音に怯えるサニーを今でもたまに見かけることがある。

怖がるサニーはかわいそうだが、サニーの耳をふさいであげているメンバーを見ていると微笑ましくなる。9人のメンバーがお互いに思い合っていることが伝わってくるからだ。



歌手活動のために大学進学を断念

受験を控えた韓国の高校生は朝から晩まで勉強をする。韓国では日本以上に学歴が重視されるからだ。

2007年11月、少女時代のメンバーは、大学入学に必要な「大学就学能力試験」を受けないことを発表した。アルバム『少女時代』をリリースして間もない頃で、歌手活動に専念するためだと報じられた。

これは事務所の意向ではなく、メンバー全員が出した答えだった。メンバーは大学進学よりも少女時代というグループでの活動を優先したのだ。

記者会見でテヨンが「私たちは何年も準備をして、ようやく歌手になるという夢が叶い始めました。大学受験も重要ですが、それに負けないくらい充実した歌手活動を続けるのも、夢を叶えるために大切だと思います」と語った。

「ひとりも欠けることなく、このメンバーで世界に羽ばたきたい」と全員が強く思っていたからこそ、今こうして9人でステージに立っているのだ。

現在、ユナ、スヨン、ユリ、ソヒョンは大学に進学している。絶対に夢をあきらめない彼女たちなら、学業と芸能活動は両立できるはずだ。

少女時代がトップに立っている理由

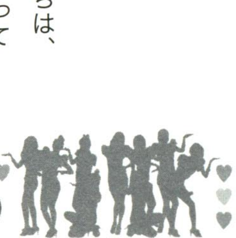
デビューしてたちまち、韓国ポップス界のトップに立った少女時代。いったい彼女たちは、自分たちの人気をどのように考えているのだろうか。また、メンバーとの関係をどう思っているのだろうか。

KBSの音楽番組『ストーリーショー楽』に出演した時のこと。司会を務めるアナウンサーのイ・ジエに「少女時代の人気が、この最高の状態で、いつまで続くか不安になることはありませんか?」と質問された。

スヨンは「1位になるたび、舞い落ちる紙吹雪を見ながら、"私たちはいつまでこの紙吹雪を浴びることができるのかな"と考えます。しかし、今を一生懸命に頑張っていれば、たとえ人気が落ちてしまっても、悔いはありません」と答えた。

またテヨンは、「いつまでと決めているわけじゃないですが、少女時代というお仕事の関係が終わっても、私たちは長く付き合っていくと思います。たとえば結婚しても、子どもを連れてカフェで会ったり…。だって少女時代は、家族みたいな存在ですから」と、グループの絆について語った。

この謙虚さと団結力が、少女時代がトップに立っている理由のひとつに違いない。



「私たちはずっと少女時代です」

韓国相撲の元横綱、カン・ホドンが司会を務めるバラエティ番組『カン・ホドンのスターバトル～黄金漁場～』の人気コーナー「Ｒａｄｉｏ Ｓｔａｒ」に、ジェシカ、サニー、ティファニー、スヨンが登場した時のこと。

「ファンレターをゴミ箱に捨てたという噂は本当？」、「サニーは少女時代にコネで入ったの？」、「スヨンのお父さんはどのくらい大金持ち？」、「ジェシカはスキャンダルが多いけど、実際はどうなの？」といったカン・ホドンの意地悪な質問に、笑顔で答えていた４人。

しかし、「いつまでも少女時代じゃいられないだろう」という質問に、スヨンの表情は一変する。そして、「別々に活動をしていても、それはその時だけの話で、私たちはずっと一緒です。たとえ少女時代が解散しても、私たちはずっと少女時代です」と答えた。

スヨンの力強いコメントを聞きながら、ジェシカ、サニー、ティファニーは、静かに何度もうなずいていた。

盗撮も許す、メンバーの絆？

少女時代のメンバーは、全員20代になったにもかかわらず、おしゃべりで「ボーイフレンド」や「デート」、「キス」といった単語が登場するだけで盛り上がるそうだ。

バラエティ番組『強心臓』にジェシカとサニーが出演した時に、サニーがジェシカのちょっと変わった変態的（？）な一面について語った。

メンバー全員で、ロケバスで移動していた時のこと。路上でカップルが抱き合いキスをしていたのを目撃したジェシカは、「あれ見てよ！」とメンバーに報告。メンバーは恥ずかしがって見ようとしなかったが、ジェシカだけは大はしゃぎしていた。

しかし、ジェシカの変態エピソードはこれだけではない。

ある日サニーが控え室で着替えていると、カシャっとシャッター音が聞こえた。なんとジェシカがサニーの着替えを盗撮していたのだ。

サニーは慌ててジェシカに「データを消しなさい」と詰め寄ったが、「大事な思い出なので消せないわ」とジェシカは消そうとはしない。

「大事な思い出」とまで言われたサニーは、これ以上ジェシカを責めることができなかったという。メンバー同士の絆の深さがよくわかる（？）、ちょっと不思議で、心温まるエピソードだ。

第6章

少女時代

彼女たちにまつわるエトセトラ



ビギナー必見!

少女時代にまつわるエトセトラ

ここでは、知ってるようで知らない少女時代にまつわる逸話を紹介。彼女たちのことをもっと知れば、応援にも熱が入るはず。知らないファンがいたら教えてあげよう!

LIVE ショーケースライブって何?

少女時代は、2010年の8月25日にDVDの初回限定盤購入者を対象とした1万人規模のショーケースライブを東京・有明コロシアムで開催した。ライブは大成功に終わったが、このショーケースライブとはいったいどういうものなのだろう。

ショーケースとは陳列棚を意味している。そしてその名の通り、見本市のようなプロモーション目的のライブのことをショーケースライブという。

すでにファンが定着しているアーティストの通常のライブとは違い、実際の演奏を見てもらうことによってアーティスト自身を売り込むために行われるライブだ。

通常はアマチュアアーティストを何組も集め、レコード会社のスタッフの前で演奏することを指す。レコード会社が気に入ればその場で契約、というようなオーディション用のライブのことだ。2010年の少女時代のショーケースライブは、そうしたライブとは異なるものの彼女たちの魅力を多くの人に知ってもらう最高の機会となった。

LIVE グッバイ・ステージとカムバック・ステージの仕組み

韓国の芸能界では、カムバック・ステージやグッバイ・ステージという言葉をよく使う。韓国では、時には1年以上もの間活動を控えるアーティストもいる。そんな場合、日本では活動休止ととらえられても不思議ではない。しかし、韓国の場合は日本とは少し違っている。

韓国のアイドルは半年くらい盛んに活動をした後、また半年くらい準備期間を設けるスタイルが一般的なのだ。その準備期間を取る前に行われるのが、グッバイ・ステージだ。

少女時代も準備期間に入ると宣言し、その後戻ってくるまで時間がかかったが、２００９年１月に行われた少女時代のカムバック・ステージは多くのファンの注目を集めた。

LIVE 少女時代のオッパとオンニ

２０１０年の８月29日に開かれた仁川コリアンミュージックウェーブ２０１０に少女時代が登場した。この日の舞台では少女時代は、黄色いジャンパーに大胆なショートパンツで、ヒット曲「Ｏｈ！」を歌った。

そして少女時代は会場に詰めかけた多くの〝おじさま〟ファンたちに向かって「オッパ愛してる！」と叫んだ。

少女時代は、事務所の先輩の東方神起に対してもこの言葉を使うこともある。ちなみに、少女時代はお姉さんとしてＢｏＡをオンニと呼ぶ。

LOVE

SUPER JUNIORイトゥクとの恋愛説は誤解

2010年の9月23日、SUPER JUNIORのイトゥクはMBCラジオの『ラジオスタースーパーショー』に出演してテヨンとの熱愛説は誤解だと語った。イトゥクとテヨンが、おそろいのピアスをしていると話題になり、熱愛説が浮上していたのだ。

イトゥクは、「同じ形のピアスですが、買ったところは違います。テヨンより僕が先に買いました」と弁明した。「テヨンがイトゥクの真似をしてわざとおそろいにしたんじゃないか」という意地悪な質問にもイトゥクは、「僕が先に買ったのをテヨンが知らずに買ってきたようです。同じものを着けているのを見てお互いびっくりしました」と真相を明らかにした。

LOVE

韓国は恋愛放任主義？

韓国では女性アイドルが他の男性アイドルグループと共演したり、バラエティで仮想の夫婦を演じたりする。日本人以上に男性アイドルとの距離が近いようだ。

ファンに対しての距離感も日本とは異なる。日本では男性芸能人が好きな女性タレント名を公表するとファンの反発を買う。しかし、韓国のファンは、あまり気にしないようだ。

2010年の9月に放送されたSBSのバラエティ番組『ヤン・ヒウンの料理ショー』で、チョン・ヒチョルは自身の理想のタイプが少女時代のジェシカであることを告白したが、そうしたことはよくあることなのだ。

SNSD

合宿所はソウル市内の高級マンション！

現在少女時代は9人全員が同じ場所で暮らしている。少女時代が住む合宿所は、ソウル市内にある高級マンションだ。部屋は全部で5つに振り分けられている。

部屋の割り当ては、ユリとユナ、ヒョヨンとソヒョン、サニーとテヨン、ジェシカとスヨンが2人で1部屋。そしてティファニーのみが1人部屋だ。ファンは、ジェシカとスヨンが同室だが「2人とも気が強い性格なので仲良くやっているのだろうか」と心配している。また、ティファニーだけが1人部屋だが、彼女は韓国系アメリカ人で実家が韓国にないため、いろいろなものを実家にあずけることができないだろうからとメンバーが配慮したのだという。

SNSD

9人のメンバーは、みんな仲良し！

少女時代のパフォーマンスは、ため息が出るほど美しく息もぴったり合っている。あれほど息が合うのは、メンバー同士の仲が良いからに違いない。

2009年4月、少女時代がバラエティ番組『日曜日、日曜日の夜に』の新コーナー『少女時代の恐怖映画製作所』のPRのために記者会見に出席した。黒を基調としたカジュアルな服装で登場した9人は、メンバー同士で腕を絡めたり、手をつないだりと仲の良さをアピールした。女の子同士が手をつなぐのは韓国では珍しくないが、9人が手をつなぐとなかなか壮観で9人の強い絆を表しているように見えた。

SNSD

少女時代の一番乗りはユナ！ 最後に決まったのは…？

少女時代は全員で9名。練習生時代から仲の良かった彼女たちだが、メンバーは一勢に発表されたわけではない。

メンバーはそれぞれ厳しい練習生期間を終え、ひとりひとり順番に少女時代に入ったのだ。

まず一番最初に少女時代に入ったのは、いたずら好きなユナ。続いてパニの愛称で知られるティファニー、明るいユリ、ダンスが上手なヒョヨン、日本語が得意なスヨン、末っ子ソヒョン、真面目なテヨン、英語が上手いジェシカと続いた。そして最後に少女時代に入ったのが努力家サニーだ。

SNSD

あまりの人気に企業だけでなく各団体も注目

有名人をイメージキャラクターに使用し、知名度を高めようというのは韓国でも日本でも同じである。少女時代も多くのCMに出演してきたが、それと同時に様々な”大使“にも任命されている。

２００７年にはソウル市ボランティアセンター広報大使、２００８年にはガールスカウト広報大使と第13回釜山国際映画祭の広報大使に任命された。２００９年は大韓赤十字社献血広報大使、京畿国際ボートショー広報大使、仁川世界都市祝典広報大使、デジタル転換広報大使などを務め、２０１０年も仁川空港税関広報大使になっている。

NET 事実無根の盗作疑惑！ ネット上で大炎上

数々のＣＭに出演している少女時代だが、その内のひとつ"三養ラーメン"のＣＭで歌った歌が盗作ではないかと疑われたことがあった。

そのＣＭソングはゲーム会社タイトーが発売した人気ゲーム『バブルボブル』の主題歌のライセンスを正式に購入してリメイクした曲だったが、事情を知らない日本のゲームファンたちが盗作だと勘違い。アメリカの有名ゲームウェブマガジン『Ｋｏｔａｋｕ』もゲームの主題歌とＣＭソング2曲の比較をした後、「偶然の一致なのか、盗作なのかはあなたが判断して欲しい」と書き、大騒ぎになった。

NET メンバーの嘆願書のおかげで、92人が不起訴処分

２０１０年、少女時代のメンバーのアイコラ（アイドルの顔と女性の裸を組み合わせた合成写真）がインターネット上に出回り、インターネットに画像を流した容疑で92人が書類送検された。しかし、92人中75人が未成年で、残りの17人が初犯であったこと、そして少女時代が被疑者たちを不起訴にしてほしいという嘆願書を提出したことで、92人全員が不起訴処分になった。

メンバーの「反省してほしい」という気持ちをムダにしないためにも、二度とこのような事件が起こらないことを願うばかりだ。

FAN

男性ファンの層の厚さが少女時代の特徴

アイドルのファンといえば、日本では10代後半～30代までと幅広いが、AKB48のファンのように購買力のある社会人のファンも多い。

しかし、韓国では20代、30代のアイドルファンは少ない。そのため、ガールズグループ単独でのコンサートはあまり開かれることはなかった。

だが、少女時代は例外だ。韓国の男性の多くが彼女たちのファンであり、ファン層は40代にまで及ぶ。そんな厚いファン層が少女時代を韓国のトップアイドルの座に押し上げたのだ。

FAN

デビュー1000日目の感謝！

2010年4月30日、少女時代はデビューしてから1000日目を迎えた。

テヨンは「デビュー1000日を迎えましたが、これは私たちにとって新たな始まりだと思っています。これまで長い道のりでしたが、ソウォン（ファンクラブ名）と一緒に過ごせて幸せでいっぱいでした」と語った。サニーは「ファンのみなさんには言葉で表現できない気持ちでいっぱいです。これから少しずつ恩返しをしていきたいです」とファンに対し感謝した。

ユリも「3年という時間をメンバーと共に歩んできて、うれしかったり、大変なこともたくさんあったけれど、一緒に苦しみを乗り越えられました。感謝しています」と笑顔で語った。

FAN

ファンクラブ&ファンレターの宛先

少女時代の公式ファンクラブのソウォンはデビュー当時から彼女たちを支えてきた。韓国に続き、日本でも少女時代は旋風を巻き起こし、応援する日本人ファンはたくさんいるのに、日本の公式ファンクラブは2010年10月現在、まだない。

しかし、少女時代のファンはファンクラブに加入していなくてもソウォンと呼ばれる。さらに国の壁などファンにとっては全く関係ない。ファンクラブに入れなくても、ファンレターを書くなどし、少しでも少女時代の支えになりたいと情熱を燃やしている日本のファンも彼女たちを支え続けるだろう。

ファンレターの宛先
ソウル特別市
江南区押鴎亭洞521番地

APGUJYUNG-DONG 521,
GANGNAM-GU,
SEOUL , KOREA

SM ENTERTAINMENT Co,.Ltd

少女時代のこれから

数年間の下積み時代を経て、2007年8月2日に華々しいデビューを飾った9人の少女たちは、とうとう海を越えて活躍する人気者となった。
もともと海外進出を視野に入れて結成されたガールズグループだったために、現在の活躍はまさに予定通りと言えなくもない。しかしここで終わらないのが彼女たちである。
2010年9月、SMタウンライブ2010でロサンゼルス公演を成功させた彼女たちは、この年から本格的に日本で活動を始めた。有明コロシアムで行った日本初イベントには、約2万2000人ものファンが殺到。日本語版のシングル「GENIE」は、女性海外アーティストのデビューシングルのセールス記録を塗り替えた。
今後、日本でも歌とダンスで音楽番組の常連になるのは、まず間違いないだろう。コンサートの数も増えるはずだ。また、韓国にいた時と同じように、バラエティ番組やドラマでも、彼女たちは活躍するだろう。
日本で成功を収めた後、彼女たちは韓国に戻ってしまうのだろうか。それとも日本で活動を続けるのだろうか。それとも、もっと大きな舞台へと旅立っていくのだろうか…。

ユナ

女優としてのユナにも期待大！

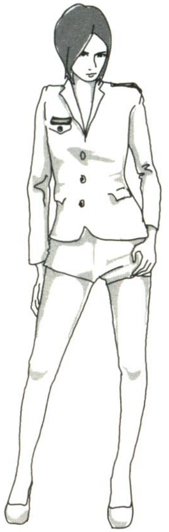
「チームワークこそが私たちの強さです。今まで団結してやってきたことを、日本でも見せていきたい」と、日本進出の意気込みを語ったユナ。常に彼女はグループのことを考え、グループを優先して行動してきた。誰よりも少女時代を愛する彼女だからこそ、この発言には重みがある。

ユナは「ドキドキよりも、ワクワクの気持ちの方が強いです」としながらも、「言葉が心配。もっと日本語の勉強を頑張らなくちゃ」と不安を口にする。

韓国では『君は僕の運命』、『シンデレラマン』などのドラマで主演したユナ。その実績と度胸は、メンバーでもトップクラスだ。

はたしてユナは、言葉の壁を乗り越えて、日本のドラマでも活躍することはできるのだろうか。

日本のファンは、歌とダンスだけでなく、女優としてのユナの活躍にも心から期待している。



スヨン

バラエティ進出のトップバッターに？

日本でアーティスト活動をしていた経験のあるスヨンは、他のメンバーよりも日本でデビューすることへの思い入れが強いという。

韓国では少女時代としての活動の他、トーク番組のＭＣやラジオのＤＪとして活動しており、鍛えられたトークセンスと得意の日本語で、日本でも韓国にいた頃と同様に、マルチタレントとして活躍できるだろう。

これからの少女時代は音楽番組だけでなく、バラエティ番組など様々な番組で活躍するに違いない。その先陣を切るのは、やはり彼女しかいない。

日本での目標についてスヨンは「有明コロシアムでのショーケースよりも、もっとたくさんの人に会いたい。そして日本全国で公演したい」とインタビューで語っている。

得意な日本語と磨き上げた話術を活かしてマルチタレントになる日も、そう遠くはないはずだ。



ユリ

様々なメディアでの活躍に期待

「メンバーと一緒なので、不安より期待が大きいです」と、日本進出の意気込みを語っていたユリ。韓国ではノリが良く、いたずら好きで知られている彼女は、持ち前の明るいキャラクターで楽しませてくれるに違いない。

バラエティアイドルとしての活躍以外にも、ファンは多くの期待を寄せている。例えば抜群のプロポーションを武器に、モデルとしても活躍してほしい。健康マニアというイメージを生かし、広告業界での活躍も期待できる。

「できるだけ長く日本で活躍したい」とインタビューに答えていたユリ。日本の活動に少しずつなれてくれれば多彩な才能をテレビだけでなく雑誌や広告など、様々なメディアで発揮することができるだろう。

そして「できるだけ長く日本で活躍してほしい」というファンの願いは、必ず叶えられるはずだ。



ソヒョン

後に引けない負けず嫌いのマンネ

真面目で勉強熱心なソヒョン。仕事や学校の勉強に限らず、何にでも全力で取り組むのが彼女のポリシーだ。

厳格な両親は少女時代の日本進出を聞いて、「日本でもきちんとみんなに知られたアーティストになるよう頑張りなさい」と、ひとり娘のソヒョンを励ましたという。

清純派アイドルとしてイメージが定着しているソヒョンには、韓国でも日本でも、熱心なファンが多い。

メンバーからもファンからも愛される彼女は、甘えた気持ちはないか尋ねられ、「"ちょっと日本で頑張って、うまくいかないから帰る"…なんて言えませんからね」と、日本進出の意気込みを語っている。

9人姉妹のマンネは、8人のオンニたちに負けない気の強さで、きっと日本でも活躍してくれるだろう。末っ子の底力に期待したい。



ジェシカ

愛される個性的なアイドルに

「少女時代はメンバーそれぞれに個性があって、これほどユニークな顔ぶれが揃った女性グループは日本でも珍しいと思います」とインタビューで語っていたジェシカ。

たしかに彼女の言うように、日本では同じようなキャラクターを集めたアイドルグループが多いかもしれない。

韓国ではツンとした雰囲気とクールな言動で人気者だった彼女は、草食系男子の多い日本で一番注目されるのではという意見も多い。

そして彼女は音楽やバラエティだけでなく、キュートなルックスを活かして、ファッションモデルや広告のイメージキャラクターなど、様々なステージで活躍するだろう。

好きな日本語は「愛される」と「ちょっとずつ」というジェシカ。

きっと彼女は日本でもアイドルとして愛されて、ちょっとずつ活躍の場を増やしていくに違いない。



テヨン

目標だったBoAに近づいた！

抜群の人気とタレント性を兼ね備えたテヨン。

所属事務所の先輩ＢｏＡに憧れていた彼女は、ＢｏＡと同じように日本デビューできることに運命を感じたという。ＢｏＡに近づくことを目標にしていた彼女の日本進出に賭ける思いは、並々ならぬものがある。

韓国ではソロでも歌やバラエティなどで大成功を収めている。

「いよいよこの時がきた」とテヨンが言うように、日本で大ブレイクする条件は十分に整った。「世界を見据えて活動してほしい」という両親の言葉を胸に、「今のありのままの少女時代の姿を伝えたい。国境を越え、もっといろいろな人たちから愛してもらえるように頑張ります」と、永遠のリーダーは誓う。

中学生の時から日本の文化に興味を持ち、日本語の勉強もしていたというテヨン。彼女がＢｏＡを超える日は、そう遠くないだろう。



サニー

ファンとみんなで一緒に日本進出

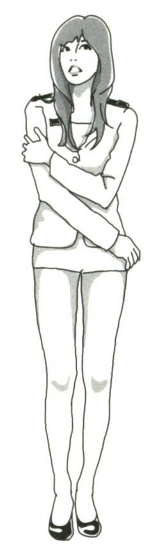
韓国ではバラエティ番組の常連だった元気でピュアなイメージのサニー。日本進出についてのインタビューでも「プレッシャーというよりも、逆にこういう機会に巡り会えて、楽しんでいます」と、前向きに答えていたのが印象的だった。

サニーはメンバーの中で、最も長い練習生時代を過ごしている。

「"ちょっと日本に行ってくる"というような軽い気持ちは全くないです」と話す彼女は、メンバーの誰よりも、チャンスの大切さを知っているのだ。

「韓国メディアの取材を受けていても、ネットでの盛り上がりを見ていても、ファンは少女時代が日本デビューすることを応援してくれています。みんなで一緒に日本に行くんだという気持ちです」といつもファンのことを一番に考え、ファンの気持ちに応えようとするサニー。

韓国のファンも、日本のファンも、彼女を応援し続けてほしい。



ヒョヨン

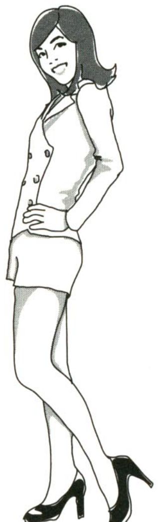
目標はなんと『紅白歌合戦』！

男子に負けない力強いダンスが、日本でも注目を浴びているヒョヨン。「期待してもらえてすごくうれしいです。きっと日本のファンはダンスを見る目も肥え鍛えられているので、私も思いきって挑戦していくつもりです」と日本での意気込みを語っている。そして彼女は『レコード大賞』や『紅白歌合戦』も目標にしている。

さらに彼女は、音楽番組以外にも興味を持っている。「日本のバラエティ番組はとても面白いらしいので、ぜひ出演してみたいです」と積極的だ。

また、「日本語は難しいけれど、いつかは日本語でおしゃべりしたり演技をしたりしたいんです。そのために頑張ります」という彼女は、J-POPを聴いたりドラマを観たりして、日本語を猛勉強中だ。

彼女が「今は幅広く何にでもチャレンジしたい」と語るように、もうすぐ日本のテレビ番組で、彼女の活躍を目にすることになるだろう。



ティファニー

SMAPのように息の長いグループに

Ｊ-ＰＯＰが大好なティファニーも、日本デビューに大きな思い入れを持っている。ティファニーはスヨンから日本のエンターテイメントについて教えてもらったのをきっかけに、日本に興味を持つようになったのだ。

日本での目標は、ＢｏＡや東方神起のように全国ツアーを行うことだ。全国のファンの前で、誰でも楽しめるコンサートを開きたいという。

そして、韓国でも人気のＳＭＡＰのように、息の長いアイドルグループになることを目指している。

インタビューで「日本で成功することは私たちにとってまだまだ夢だけど、目標に向かって走っていきます。いつになるかは分からないけど、なるべく最短で達成したい」と誓ったティファニー。

彼女たちが一歩ずつその大きな夢に近づいているのは間違いない。



みんな大好き少女時代

とっておき豆知識からファン用語まで

願いが叶った！少女時代のマネージャーに

『Genie-願いを言ってみて』の発売を記念して、ファンの願いが叶えられた。抽選で選ばれた幸運なファンの男性は、1日マネージャーとなった。

少女時代の関連検索語が4倍増加！

活動を控えていた少女時代が2009年1月にカムバックすると話題になった。音楽サイトでは少女時代に関連する検索が以前より4倍に増加した。

抽選で少女時代と1日デート！

2009年8月28日、少女時代と1日デート体験できるイベントを開催。抽選で選ばれた18名のファンが少女時代とデートを楽しんだ。

ケーブルチャンネルで視聴率1位

2009年1月、バラエティ番組『少女時代のHello Baby』が、視聴率1.56%を記録。ケーブルチャンネルとしては異例の高視聴率だ。

S♥ENの※合い言葉

少女時代＝ソニョシデ＝SNSD

韓国では少女時代のハングル読みの「ソニョシデ」を略し「ソシ」と言うが、それ以外の国ではイニシャルだけを取ってSNSDと呼ぶ。

お互いにニックネームで呼び合う

ティファニーはティパ、サニーはソニ、テヨンはテング、ソヒョンは末っ子という意味のマンネなど、お互いをあだ名で呼び合っている。

※「ソウォン」と読む。少女時代のファンのこと。



ユナとサニー大人の初体験をする

2010年6月2日、第5回全国一勢地方選挙に投票するためユナとサニーが投票所を訪れて話題に。2人にとって初めての選挙権の行使だった。

人類滅亡の危機守ってあげたいグループは？

「地球が滅亡の危機に陥った時、守ってあげたい女性アイドルグループは誰？」のアンケートで、少女時代は39%の支持を集め1位に。

メンバーのユニホーム姿にメロメロ

2009年11月19日、バレーボール大会のオープニングイベントに参加。ユナはユニホーム姿でサーブを打ち、ファンを大喜びさせた。

ティファニーのハチミツのような太ももが話題

韓国では最近、「クルボクチ」というネット用語が浸透している。"ハチミツのような太もも"という意味で、ティファニーの脚がよく例にあげられている。

少女時代の電話番号が流出！？

2010年4月、少女時代メンバーたちの携帯電話番号が載った文書が出回ったとされたが、所属事務所は「メンバーの番号ではない」と否定。

1日の摂取カロリーが800kcal？

バラエティ番組『VJ特急ビハインドストーリー』でメンバーの食事を公開。なんと1日で合計800kcalしか摂取していないことが明らかに。

日本語と韓国語の掛け声を猛練習

ファンは少女時代の歌に合わせて掛け声を入れるため、韓国語バージョンと日本語バージョンの2つの掛け声を練習している。

日韓のファンの違いはコスプレ！

少女時代は日本での初ライブ後に、「私たちのコスプレをしているファンがいた。韓国のファンにはいないので珍しかった」と話した。

テーマカラーはパステルローズピンク

少女時代のテーマカラーはパステルローズピンクで、この色のグッズを身に着けて応援するのがファンの常識になっている。

私たち、皆ソウォンです！

少女時代のファンクラブの名前は「ソウォン」というが、ファンクラブに入っていないファンも同じ様にソウォンと呼ばれている。

参考文献

女性セブン／週刊女性／女性自身／韓流ファン
イッツコリアル／日経エンタテインメント！
コリア エンタテインメント ジャーナル／K-POPgirls
スポーツソウル／中央日報／スポーツ朝鮮

少女時代見聞録



2010年11月15日　初版発行

編　者　少女時代研究会
イラスト　竹井 遠
発行人　廣瀬和二
編集人　宮下和彦

発行所　株式会社蒼竜社
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-15-14　辰巳ビル
TEL　03-5360-8064（販売部）
　　　03-5360-8977（編集部）
URL　http://www.TG-NET.co.jp

印刷・製本　図書印刷株式会社

Printed in Japan　ISBN978-4-88386-387-7

9784883863877

1920095010000007

ISBN978-4-88386-387-7
C0095 ¥1000E

定価：本体1000円＋税
蒼竜社



Girls' Generation MEMOIRS

書籍

少女時代見聞録

少女時代研究会・編

ISBN978-4-88386-387-7
C0095 ¥1000E

BBBN4-88386-387-5 C0095 ¥1000E

定価
1,050円(5%税込)
(本体1,000円+税5%)

蒼竜社
〒160-0022
東京都新宿区新宿2-15-14
TEL 03-5360-8064(販売)
FAX 03-5360-8951

定価
1050円
(5%税込)

補充注文カード

書店名・帖合印

年　月　日

注文数　冊

書名	発行所
少女時代見聞録	蒼竜社
	◎少女時代研究会・編

9784883863877

ISBN978-4-88386-387-7
C0095 ¥1000E

書籍

定価
1,050円(5%税込)
(本体1,000円+税5%)

少女時代見聞録

Girls' Generation MEMOIRS

少女時代研究会【編】

蒼竜社